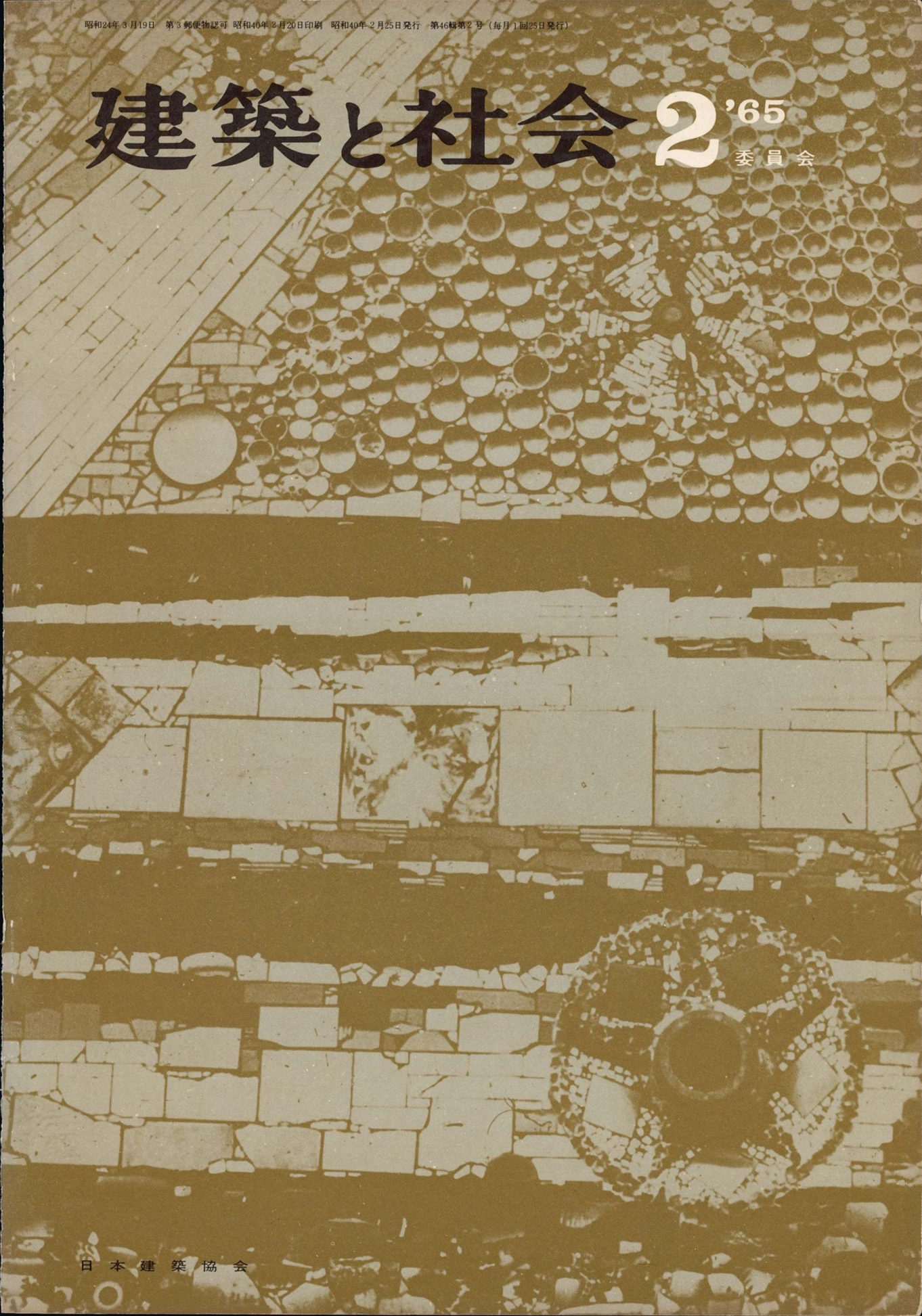
昭和24年3月19日　第3郵便物認可　昭和40年2月20日印刷　昭和40年2月25日発行　第46巻第2号（毎月1回25日発行）

建築と社会

2 '65

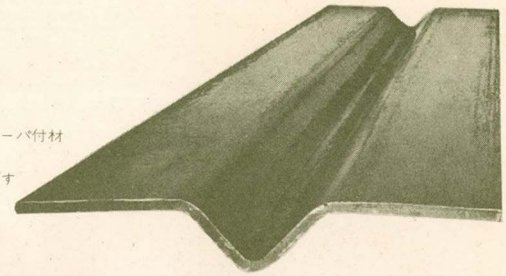
委員会



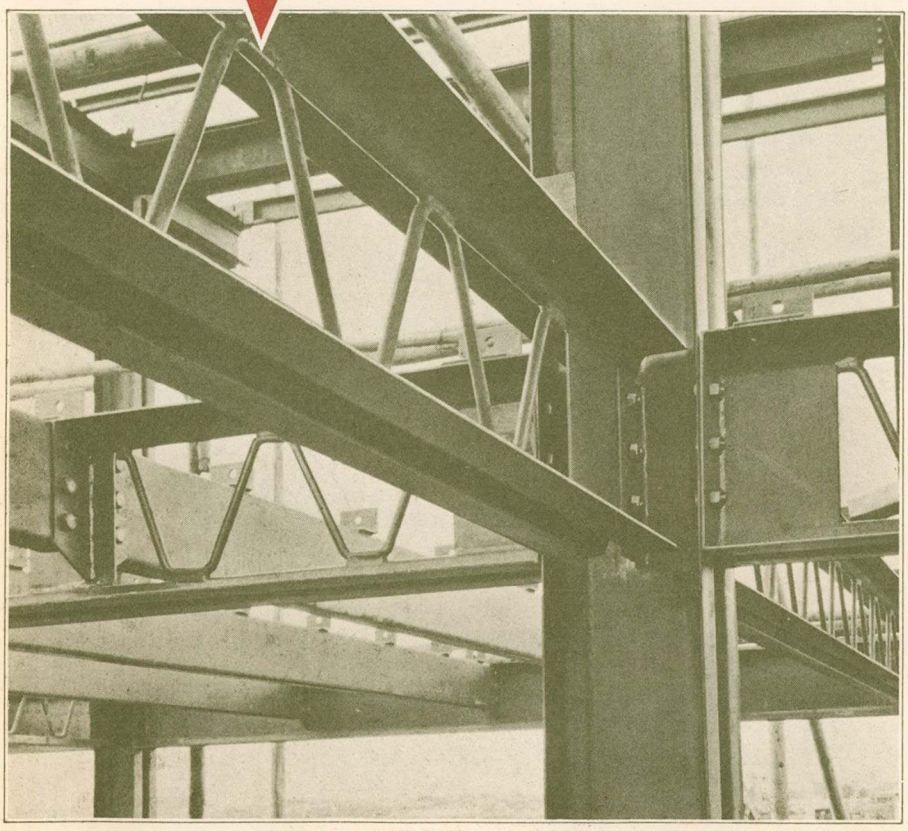
日本建築協会

適材が、適所に使われているでしょうか

■溶接で、オープンウェブ材　フルウェブ材、テーパ付材
　パンチ付材など自由に造れます
■フランジが広くリベット・ボルト結合が容易です



ジュニアV形鋼は中型構造物の適材です—



店舗や倉庫は何でお建てになっていましたか

大型形鋼では不経済、軽量形鋼では不安定、やはり中間を埋める素材が必要でした。新しく生まれた《ジュニアV形鋼》はそのための中型専用形鋼です。冷間成型されて良質これで適所に適材をおすすめできます。

溶接に適していることも　現代派の条件です

中央にV状の溝を持つため、溶接が簡単で、歪みも少なく、柱や梁に最適。溶接時代にふさわしい中型構造の素材です。また《ジュニアV形鋼》は面外座屈に強く、鋼も良質でなめらかな表面です。使い勝手の悪い部分でも効果的にはたらきます。

住友金属　住友金属工業株式会社
大阪—大阪市東区北浜5の15(新住友ビル)
東京—東京都千代田区丸の内1(新住友ビル)
営業所—福岡・広島・高松・名古屋
静岡・新潟・仙台・札幌

床材のハイファッション マチコ カラー…

●美しいファッションの色
米国連邦規格合格の丈夫さ

美しい色でがぜん注目されたマチコカラー！きびしい規格にも余裕の合格をした丈夫さアメリカはもちろんドイツやイタリヤでも定評のあるマチコタイルは松屋など有名ビルに続々採用されています。……

美しい色が20種 まねのできない国際的なファッションの色です。 オートメ工場で量産していますからいついかなるご注文にもOKです。

■床材のハイ ファッション

マチコV

ビニール アスベスト タイル®

リノリユーム・リノタイル・ビニラートタイル・マチコタイル・ナイアンリノタイル総発売元

東洋リノリユーム株式会社

床材の総合メーカー

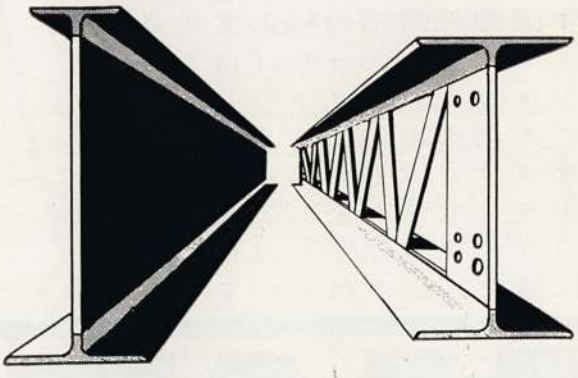
大阪市南区鰻屋町通り4の25三和ビル ■TEL大 阪 (252) 2921
東京都中央区銀座4丁目三和ビル ■TEL東 京 (567) 8341
名古屋市中区貴神町2の11名古屋センタービル ■TEL名古屋 (2) 3153380
福岡市今泉町4丁目126の12 ■TEL福 岡 (7) 304125
広島市東観音町10の2067 ■TEL広 島 (3) 116139

MATICO



新時代の建設には新時代の形鋼

NKK-T形鋼



用途
- 各種I，H，T形鋼用
- 各種オープンウエブ材用
- 非対称断面形鋼用

特長
- 溶接が容易
- サイズが豊富

NKK

日本鋼管

本社　東京都千代田区大手町
大阪営業所　大阪市東区今橋5の23　TEL(203)2371(大代)

二〇〇〇余基の実績

コンスタントの効率

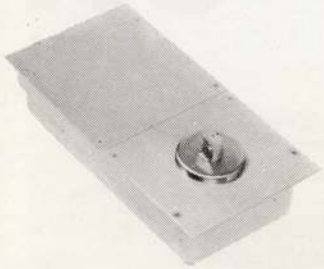
世界に誇る！



株式会社 平川鐵工所

本社・工場　大阪市大淀区大淀町北1の11　TEL (458) 8681(代)
東京　名古屋　九州　滋賀工場

NHN
ドア金具は善意のマーク



ニッカナ フロアヒンジ

販売元 株式会社 ニッカナ
東京都中央区日本橋本町3～7（新みやこビル内） TEL (241)6821～3（市外局番）03

製造元 ダイハツ工業株式會社

〈雑誌名記入の上、カタログご請求下さい〉

新発売の
遅れた理由が
わかった！



フロアヒンジの限界を越えた超薄型……市場に出揃ったこのタイプ・両開用ダブルシリンダー型では最も薄い。業界随一の超薄型に、驚くべき耐久力をそなえ、画期的な性能と機能をもっている。埋込み作業、据付作業も簡単に出来た！ニッカナ製品を見て、使って見て新発売の遅れた理由がわかった。

この優れた製品に要した研究期間の成果が、新発売の遅れを取り戻すことであろう。待っていた超薄型！フロアヒンジも矢張りニッカナである。

たな・棚組





完全なフリーサイズのアングル シェブロン

●時間をはぶく●切端まで有効に
●自由に組立と解体●せまい場所をひろく

1．切断
V型穴にこだわる必要はありません。専用の道具で簡単に切れます。

2．ネジ
どんな組合せでもボルトが通ります。専用ボルトはよく締まります。

3．残端
短い残りもジョイントその他に全部むだなく使えます



住生活の改善
四ツ橋 カモイ
生きる近代建築に

大阪・四ツ橋 株式会社 山本建材社
電・(541) 1861－5・2131 7060 2233 7170

GOAL® ユニロック UH SERIES



UH 53-KS

日本で始めて ヘビーデューティー誕生!!

外国品と絶対に遜色のない製品、近代建築にぴったりの優美なデザイン、内部にはゴール高級六本ピンシリンダーを装置し、精密堅牢な構造に設計しました。
ホテル・ビル・銀行・学校から高級住宅に至るまで各重量扉に最適です。

鍵をつくって50年!!

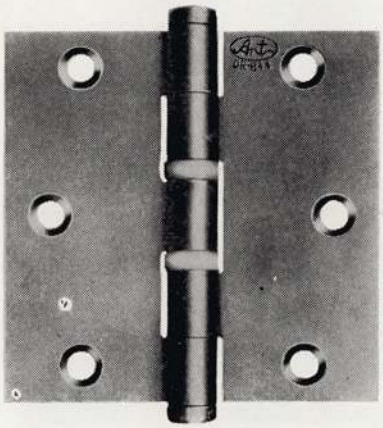
GOOD DESIGN GOOD FUNCTION

株式会社 ゴール

本社・工場 大阪市東淀川区三津屋北通四丁三〇 電話 大阪(922)代表 一七七一~五番
営業所 東京・名古屋・福岡・札幌・広島・仙台

アート ドアーヒンジ

●ドアーを大切にするヒンジ

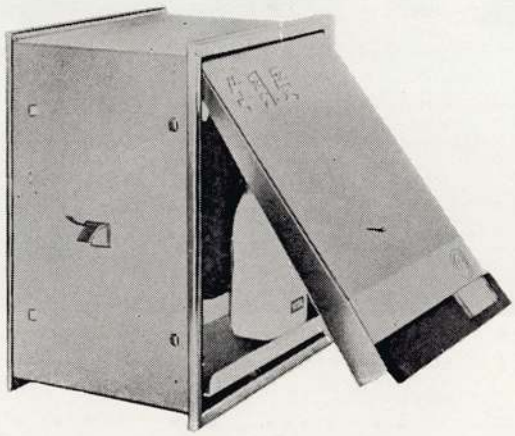


●耐蝕性・耐熱性にすぐれ、錆びたり変色したりすることはありません
●高精度を誇り●音を立てない●磨耗がない●注油がいらない●衝撃に強い……など数多くの特長をもっています

●鉄筋住宅・アパート・マンションにマッチする機械性
――牛乳の安全と盗難防止の

ミルク チェスト

近代建築にふさわしいスタイル！ステンレスにヘヤーライン・ラッカー焼付加工し内部は完全防錆下地メラミン焼付塗装



■牛乳の安全性…盗難を防止します
■牛乳が配達される場合…表蓋が自動的に施錠されます
■牛乳を取出す場所…裏蓋はかんたんに開きます（表蓋は施錠されたままです）
■空瓶を入れる場合…空瓶を受台に置くと、表蓋が自由に開けられるようになります
■受台には 180cc瓶 3本が置けます
■取付けはかんたんです
■ミルクチェストの壁厚は 100㎜、150㎜、180㎜ の3種があり、ご要求に応じて製作しております

●JIS規格表示許可工場　日本住宅公団指定メーカー

Art

永和工業株式会社

本　社　大阪市生野区巽矢柄町128　TEL代表(741)1627
工　場　大阪府枚岡市布市町50　TEL枚岡 4810
東　京　東京都千代田区外神田3－15－4　TEL東京(255)4831
営業所　（日商会館ビル 113号）

規格化と量産による安くて安全な

クマリフト

押釦全自動式小型昇降機



■つねに新しいアイデアで業界をリードする クマリフトは生産量でも断然業界第1位です

◆工場生産される配線工事

業界初のコンセント方式を採用しましたので、機械据付工事が終ると同時に運転が出来ます。従って工期が30%方短縮されました。

◆コンベヤーラインに乗る完全塗装

パーカー処理装置およびコンベヤー式赤外線焼付炉等、一連の最新式塗装工場が完成しましたので、製品は一層優美完全になりました。

クマリフトは一貫メーカーとしてすぐれたアイデアと量産により、規模、価格、納期などすべてに御満足いただける様、日夜努力いたしております。人手不足の折柄、材料・小荷物・書類等の運搬用として、あらゆる職場に御採用下さい。

機種	積載量	毎分速度	カゴ寸法 間口×奥行×高
T－30	30kg	20m	500×500×600
M－50	50〃	30〃	600×600×750
M－100	100〃	30〃	750×750×900
M－200	200〃	30〃	900×900×1,050
M－300	300〃	30〃	1,000×1,000×1,200

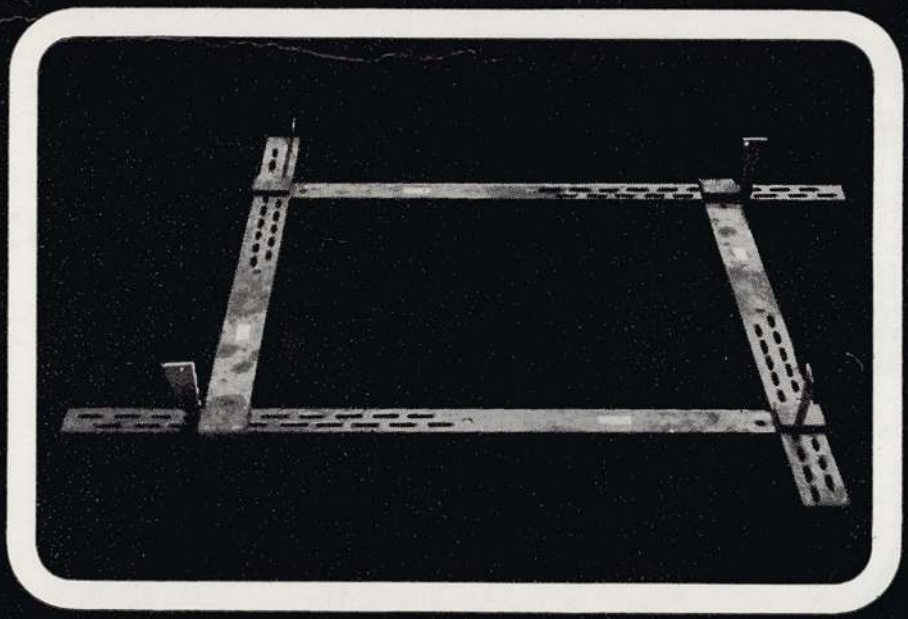
電源はJ－30B・M－50Bは交流100V
J－30A・M－50Aを含むその他は交流200Vです

KUMA クマガイ工業株式会社

大阪市西区京町堀2－30 電話 大阪(443)3421～5／東京都北区岸町1－9 電話 東京(913)3146～8／名古屋市中区東陽町7－2 電話 名古屋(24)0372・(25)9041
京都市上京区智恵光院通り丸太町上ル 電話 京都(84)3404・5986 ／ 福岡市清川町3－26 電話 福岡(2)4777 ／ 広島市小網町39 電話 広島(31)1250

コラムクランプ

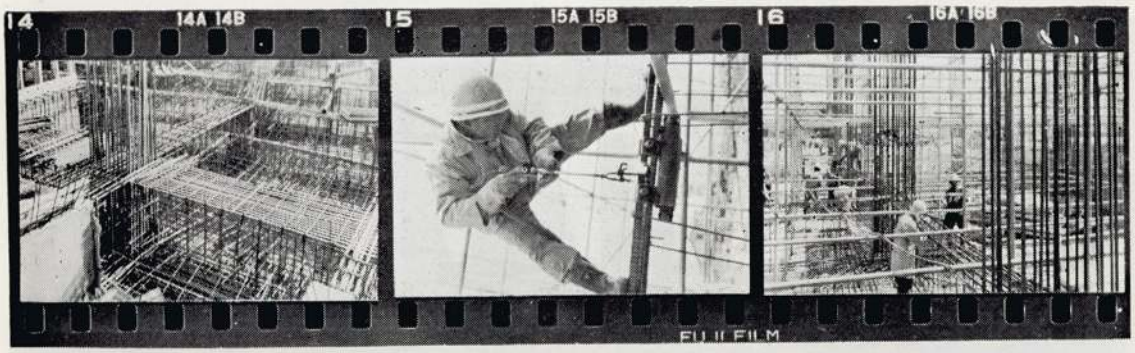
コンクリート工事の柱型枠の締付には　最高の精密度を誇り充分な安全性を保ち　而も取付操作が簡易で経済的な“フコク式特許コラムクランプ”が最高です。
独立柱用のコラムクランプ《フラット》　《チャンネル》
壁付柱用のコラムクランプ《フラット》は全国の工事現場で有意義に活躍し栄え行く国土の建設に貢献しています。柱型枠の締付にはぜひコラムクランプをご使用下さい。



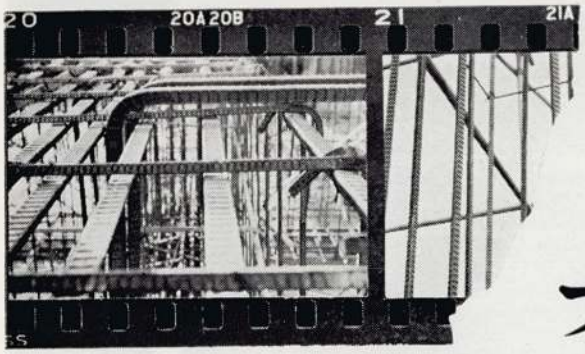
特許フコク式　コンクリート柱型枠締付金具

富国交易株式会社

東京都千代田区内幸町２の２　富国ビル５０２号室
電話　東京（591）６８５４　６８５９　７９７７番







これからがブームの本番

ホテル、ビル、工場、学校…　この一年半、忙しく働き続けた**トリコン**北は札幌から南は指宿まで、日本国中に施工例がひろがりました。性能が高く経済的な**トリコン**。海外からも技術導入の希望が寄せられました。建設ブームといわれる中でも、**トリコン**の伸びは格別。まさに**トリコン**ブームです。○工事の大小は問いません。あなたもぜひお使い下さい。



新しい鉄筋
TRICON
トリコン
神戸製鋼所

トリコンのカタログ・資料請求は……
東京都千代田区丸ノ内1丁目1（鉄鋼ビル）
（株）神戸製鋼所═══東京支社
大阪市東区北浜3丁目（大阪神鋼ビル）
（株）神戸製鋼所═══大阪事務所

建設大臣の特別認定　トリコンはその高性能を認められ、建築基準法に基づく特別認定を得ております

ハイウェイからあなたのお庭まで…

GS 水銀灯

光とともに大きく伸びる！

ハイウェイの決定版!!
最高技術を誇る
“カットオフ„

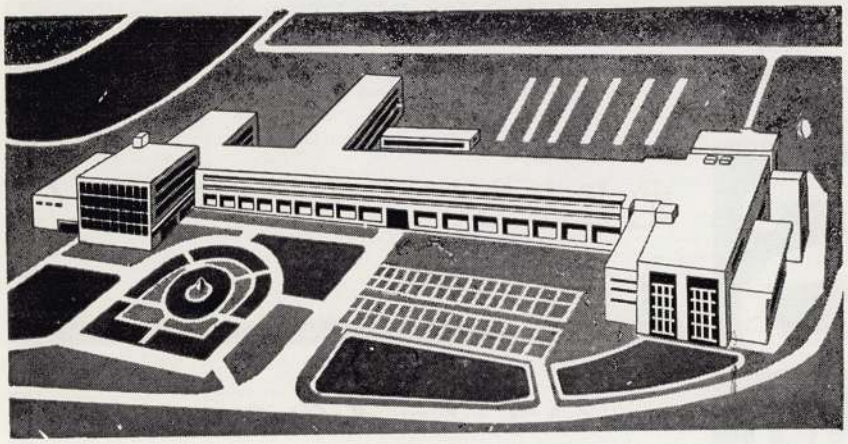
ハイウェイ灯 →
MR—301T



（GS水銀灯輝く名神高速道路…栗東・彦根インターチェンジ）

日本電池株式會社

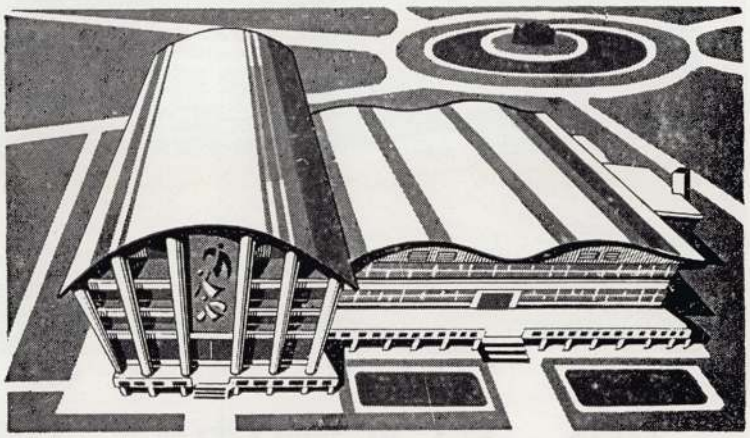
本　社　京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町３－２
支　店　東京・大阪・名古屋・福岡・札幌
営業所　仙台・高松・金沢・広島　駐在所　岡山・静岡



軽量.緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

日泝スーパーアルソイド
日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーギング材　サッシール



日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL（271）7000・5463～5
名古屋営業所　名古屋市港区南十一番町2—6
　　TEL（66）8251～5

大阪営業所及大阪工場
大阪市東淀川区堀上通り3—39
TEL（392）0051～6

セメント混和剤
コーキング材には
オートリ製品を!!

＊ 建材部門

トリベースM-1	モルタル防水剤
トリベースM-3	接着性モルタル防水剤
トリベースH-1	セメント表面硬化剤
トリベースS-5	セメント凝結遅緩剤
トリタイト#7	油性コーキング材
トリタイト#10	硬化型高級コーキング材
トリタイト#100	液状皮膜型防水剤
トリタイト#300	接着・防水剤
トリタイト#500/トリタイト#510	タイル接着剤
トリタイト#1000	2液性高級シーリング材

＊ 工事部門

トリタイトコーキング充填工事
トリタイト高級シーリング材充填工事
トリタイト防水工事
床張り工事一式
アスファルト応用防水工事
モルタル防水工事



（資料送呈）
製造・販売・施工

鳳工業株式會社

本社 東京都品川区五反田3－120（東商ビル） TEL（443）1721代表
大阪支店 大阪市福島区今開町2の12（大島ビル4階） TEL（461）4774代表
名古屋営業所 名古屋市中区東陽町5の11 TEL（24）3363
福岡営業所 福岡市志免町大字別府鉄田619（日東工業KK内） TEL（65）3540
札幌営業所 札幌市北二条東一丁目 TEL（25）9313
工場研究所 大阪・名古屋

社団法人

日本サッシ協会

関西支部長 和田村太郎

関西支部
賛助会員

スチールシャッター
小俣シャッター工業㈱大阪支店
三和シャッター工業㈱大阪支店
㈱鈴木シヤッタア商会
東洋シャッター株式会社
㈱日本シャッター製作所
日本文化シャッター株式会社
本田工業株式会社

錠前
昭和金属工業株式会社
㈱ゴール

サッシ・ドアー附属その他建築金物
石倉金属株式会社
永和工業株式会社
株式会社ダイケン
大鳥機工株式会社
近松金物株式会社
株式会社熊本商店
渋谷金属産業株式会社
敷島金物株式会社
日本ドアーチェック製造㈱
平安伸銅工業株式会社
増田産業株式会社
株式会社満点製作所

サッシバー
加納鉄鋼株式会社大阪支店
トピー実業㈱大阪支店
東鋼商事株式会社大阪営業所

サッシ・ドアー製造用諸機械
㈱関西鉄工所

パーカー
日本パーカライジング
株式会社大阪営業所

サッシ販売
大阪三機窓枠販売株式会社
近畿工業株式会社
（五十音順）

きんきの サッシ



＊営業品目
■スチールサッシ・ドア・アルミサッシ・ドア
ステンレスサッシ・ドア・カーテンウオール
■冷暖房・給排水・衛生設備工事
■電気設備工事
■建設用機械

発売元
近畿工業株式会社

本　　社　大阪市北区梅ヶ枝町１０８（新梅ヶ枝町ビル）
電話大阪（341）１８５６・５８３１（代表）
東京支店　東京都千代田区神田岩本町２（共同ビル）
電話東京（254）２０５１（代表）
名古屋支店　名古屋市中村区平池町４丁目４８の２
電話名古屋（55）２５２２・８６５５番

製造元　近畿車輛株式会社

コーキングパテ



柏原瀝青株式会社

本社工場　大阪市西淀川区御幣島東２／５　電話大阪（471）1494～４
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西３／99　電話大阪（471）０４２６

パテタイル

世界に誇る驚異的建材！

ガスにも熱にもビクともしない！

40年の厂史と最新技術の産物

特許---耐酸・耐アルカリひふく鉄板

オリエンタルメタル

永久建材・超ひふく鉄板

スーパーオリエンタルメタル

新時代にマッチした

各種のカラー製品が有ります

美しいアルミ箔ひふく鉄板

オリエンタル アルシート

型錄送呈

責任施工

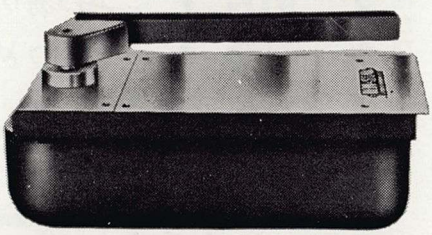
オリエンタルメタル製造株式会社

本社工場 尼崎市大物北口 電話 大阪(481)4947～9
大阪支店 尼崎市北新町4-41(古川ビル) 電話大阪(401) 9745～6
東京支店並工場 埼玉県戸市大字塚越1620 電話 蕨(32) 3115～7
支店・出張所 郡山・八幡・名古屋・川崎・岩国・宇部・延岡・敦賀・三原・徳島・徳山

ドア を閉めるのは
ボクの役目です

NEW★STAR

●建築様式の著しい発達に伴いフロア ヒンヂも、これに適応したものを要求されます。
創立40余年を誇る最古の経験と、最新の特殊専用機設備から次々と生れるニュースター・フロア ヒンヂは、取扱いが簡単で、耐久力があり、建築設計業者の皆様から信頼ある理想的な製品として広範囲にご使用いただいています。





ニュースター製品

●フロア ヒンジ	●ピボット ヒンジ
●ドア チェック横型	●ラバトリ ヒンジ
● 〃 壺型	●押板 メラミン樹脂
● 〃 隠蔽式	●押板 クリスタル硝子

日本ドアーチエック製造株式會社

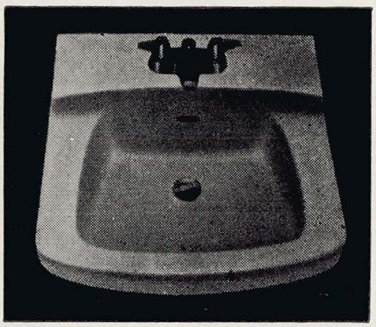
本社工場 大阪市生野区巽矢柄町222 電話(716) 2231～6
東京支店 東京都千代田区神田小川町2－12 信愛ビル 電話(291)1920・4920
福岡出張所 福岡市天神4丁目4－24 電話(74) 2372・3312
名古屋出張所 名古屋市東区高岳町1丁目11 電話(94) 4627～8
札幌出張所 札幌市月寒中央通314－1 電話(86) 8052・8433

あなたのセンスがそのまゝ生きる！

伝統と技術にはぐくまれた美しい3つのデザイン







●ダイナミックタッチ	●やわらかい甘いムード	●端正な感触・・・・
ジュピター　L1305	ヴイナス　L1223	アポロ　L1306
陶器・金具セット	陶器・金具セット	陶器・金具セット
1級 16,590　並級 15,090	1級 16,170　並級 14,730	1級 15,210　並級 13,710

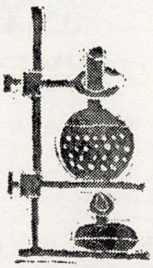
Toyotoki 東洋陶器株式会社

本社/小倉　工場/小倉、茅ヶ崎、滋賀
大阪営業所/大阪市東区高麗橋 Tel (231) 4518～9 1424

現場の声をあつめました!!



ソフトタッチ——足音があたまにひびかず　立ちっぱなしのところでも足がつかれない——



つぎ目がないから——耐水、耐薬品性は完ぺき、つぎ目なしでいっぱいにひろがった美しさは格別



手入れが簡単——ワックスがけの心配なし。いつも水拭きでつややか——



置きじきができる——特にご家庭で気軽に使えると好評。ぬれてもいいので、屋外でもOK——



摩耗しない——何年たっても地下鉄車両の床はいまだ健在。キズの心配いっさい無用——

病院・オフィス・工場・商店・車輌でもっとも多く使われている塩ビ系床材

●巾=183cm●長さ=27.45 m●厚さ=2.5mm●色=15色

Ⓚ ロンリウム　川口ゴム工業株式会社

東京営業所■東京都千代田区神田松永町13　川口ビル (253)代表4941
大阪営業所■大阪市南区北炭屋町33 (271)4358→4359

郵便はがき

5円切手を貼ってご投函下さい

大阪市東区北浜三丁目三七

社団法人 日本建築協会

会長 東畑謙三 殿

昭和40年度

監事及び本部所属評議員投票用紙

投票期限　通常総会開会時刻迄に到着のものを有効と致しますが，なるべく23日迄に到着するようご送付下さい。

注　意　1，支部所属の会員は監事のみ投票して下さい。
2，会費口数2口以上の団体会員には加入口数に応じ本票差引の上，投票用紙を別送致します。
3，取扱いなど推薦委員にご一任の向きは投票用紙をこの儘お送り下さい。(○印をつけないこと)

監　事　1名

山邑　励二君	

本部所属評議員　56名 (28名に○印をつけて下さい)

今西祥郎君	蔵内幸雄君	山川義夫君
八木常美君	端野庄平君	尾亀清四郎君
西川幸之輔君	五十嵐芳雄君	清水愛明君
村永和生君	井上鴻太朗君	須賀栄一君
結城仁君	大野勝三郎君	仙田四郎君
金本賢治君	鎌田幸二郎君	竹中清君
椎原毅君	佐藤栄市君	南長吉君
田中裕君	坂本秀雄君	秋元興一君
広瀬修三君	志賀修一君	加納敏生君
川上貢君	白井周二君	慶田政二君
林野全孝君	土井二郎君	下条源一君
斉藤暢君	今西寿雄君	寺井一勇君
牧原敬典君	岡三郎君	中村正作君
佐塚治久君	木村謹二君	早野暲君
豊辺弘也君	中積治一君	原精一君
松本嘉行君	浅海正雄君	別府常琴君
大辻真喜夫君	今村騰君	
池保君	柏岡十三介君	
藤本昇君	栗原信英君	
西田隆雄君	西村庄市君	

補選　本部所属評議員　3名

助野信三君	大島俊雄君	横田泰助君

通常総会開催

通常総会開催通知

本年度通常総会を下記の通り開催致します。ご多忙のところ，まことに恐縮ながら何卒ご出席下さいますようお願い申し上げます。

以上会告申し上げます。

昭和40年2月10日

社団法人　日本建築協会

会長　東畑謙三

記

と　き　昭和40年2月25日（木）午後4時

ところ　近畿建築会館4階集会室（東区北浜3）

選　挙　1．監事1名選挙

1．本部所属評議員56名選挙

1．補選　〃　3名　〃

追　記　1．選挙は添付の投票用ハガキをご使用下さい。

2．監事の選挙は准会員を除く会員全員の投票によって行ないます。

3．本部所属評議員の選挙は本部および支部に所属しない地方の会員（地方会員）の投票によって行ないます。ただし准会員は投票できません。

4．当日出席できない方は，投票用紙をなるべく23日までに到着するようご送付下さい。

5．取扱など推薦委員にご一任の向きはお手数ながら同日までに投票用紙をそのままご送付下さい。（印をつけないこと）

6．各支部所属の会員は監事の投票のみご送付願い，本部所属評議員の投票欄は斜線で消して下さい。支部選出評議員の選挙についてはその所属支部の定めるところによって選出して下さい。

〔註〕監事および評議員の任務

1．監事の任務（定款第26条）

常時会務および財産の状況を監査する。

特別の事由のあるときは，総会または評議員会を招集することができる。

理事会に出席して意見を述べることができる。

ただし，議決には加わらない。

1．評議員の任務（定款第20条第27条第35条）

評議員は，評議員会を組織してつぎの任務を行なう。

会長，副会長および理事の選任

総会に代って収支予算を議決

その他重要会務の議決

昭和40年度　留任，退任，監事，評議員氏名

（敬称略・部門別五十音順）

留任		退任	
監事			
中原　茂（近畿地建）		稲垣　皎三（大林組）	
評議員			
（技術）	青山　賢信（大工高専）	中間廉之助（市総合計画）	青木　健一（倉敷レイヨン）
	荒木兵一郎（阪大）	野中　三郎（安井事務所）	石浦　英郎（大阪市）
	板垣精治郎（板垣事務所）	藤沢　達雄（近畿地建）	大久保昌一（住宅公団）
	市川　宏（東畑事務所）	三好敏之進（大成建設）	大島　伸雄
	上田　正治（近畿電通局）	森　堅（府指導課）	奥山清治郎（都島工高）
	大久保博一（大阪工事局）	森　粛（布施工高）	金子勇次郎（建設省）
	木村　博巳（郵政局）	山本　晃（市営繕部）	木村　喬夫（大阪建築事務所）
	木村　康彦（清水建設）	脇本　啓一（大工大高）	倉石　秀夫（竹中工務店）
	小林　得志（小林事務所）	渡辺　清治（大林組）	坂内　幾男（坂内事務所）
	高木　幹祐（八幡エコン）		白井　和成（電通局）
（総合）	伊丹　久吉（藤木工務店）	山本　義樹（銭高組）	五十嵐芳雄（大林組）
	片岡　敏夫（奥村組）	吉本　一夫（間組）	大野勝三郎（鹿島建設）
	神谷　新一（竹中工務店）	上野　義一（共立建設）	岡　幸夫（安藤建設）
	佐久間勇二（戸田建設）	小坂井正夫（小坂井組）	小林　清周（大工大）
	浜口幹三郎（浅沼組）	山本　末男（大末組）	白井　周二（清水建設）
	増井　敬（新工務所）		土居　二郎（大成建設）
（電気）	猪飼幸次郎（江東電気）	鳴尾　源蔵（大阪電気暖房）	浅海　正雄（浅海電気）
	嘉納　伝三（三宝電気）	山上　孟男（星屋電気）	今村　騰（中央電気）
			柏岡十三介（阪急電気）
（管工）	井薬　政市（日邦工業）	日景　一郎（高砂熱学）	浅野重太郎（第一工業）
	久野　三一（東洋空気調和）		上西　圭治（建材社）
（建材）	市田　久策（灰久建材）	武部　勇三（三和商工）	井上　定雄（井上定）
	植田　博巳（淀川製鋼）	永谷　光男（大日本硝子）	内海　栄造（日宝鉱石）
	尾北　嘉吉（丸尾建材）	水谷小一郎（水谷ペイント）	清水　実（清水興業）
	海堀　常夫（朝日特殊合板）	渡辺幸太郎（伊奈製陶）	白井　俊男（日新工業）
			高田　和夫（三井金属）
兵庫	伊藤　一郎（明和工務店）	景山　正明（大建木材）	加藤　太郎（加藤事務所）
	置塩　光（置塩事務所）		早良　俊夫（竹中工務店）
京都	佐藤　四郎（大仏）	芳山　保蔵（京都市）	築柴善治郎（平安建材）
和歌山	瀬村　禎二（代行社）	薮本　芳一（藪本事務所）	貴志　満二（貴志工業）
中国	坂井　康美（広島市）	田中　元夫（防府市）	内輪善四郎（永島工高）
九州	欠　員		
東海	欠　員		西村　勝（文部省）

退任
寺岡　真（建設業協会）
寺川　敏雄（大阪防衛局）
西村喜代末（豊中住宅協会）
原田　弘（近鉄）
日比与太郎（近畿地建）
広瀬　勇（今宮工高（定））
前川　陽一（村野森事務所）
山田　幸一（大市大）
若林　季雄（鹿島建設）
西松　一男（西松建設）
政岡　基次（政岡土地）
井上　福蔵（井上組）
長谷川武彦（長谷川工務店）
藤本　久次（藤本組）
古川　卯七（富士工務店）
栗原　信英（栗原工業）
西村　庄市（工藤電気）
山川　義夫（山川工業所）
中山　敏正（栄興商会）
伴　秀雄（西原衛生）
南　長吉（斎久工業）
福田　慶治（福田源）
安田　誠一（安田レール）
山口　武雄（淡陶）
渡辺　恵（東洋シャッター）
森口　清（兵庫県）
八田　実（生産開発科研）
山下　宗一（山下建築）
奥井忠太郎（奥井藪中事務所）
水野　金市

拝啓　愈々ご清祥慶賀に存じます。さて日本建築協会昭和40年度役員選挙に際し，われわれ退任者一同は下記各位を推せん致したいと存じます。（各支部選出の評議員を除く）

つきましては何卒ご賛同の上ご投票下さいますようお願い申し上げます。

退任監事，評議員一同

監事候補者　1名

山邑励二君（鹿島建設専務取締役）

本部所属評議員候補者　56名（部門別）

（技術部門）

今西　祥郎君（大阪府企業局宅地開発部企画課主幹）
八木　常美君（大阪府建築部営繕課）
西川幸之輔君（大阪市建築局審査課西方面係長）
村永　和生君（大阪市建築局営繕部計画課検査係長）
結城　仁君（大阪市総合計画局公害対策部技術課主査）
金本　賢治君（大阪建築事務所設計第三課長代理）
椎原　毅君（池上建築設計事務所々員）
田中　裕君（村野・森建築事務所主任技師）
広瀬　修三君（小笠原浜田建築事務所構造主任）
川上　貢君（京都大学工学部助教授）
林野　全孝君（大阪市立大学工学部講師）
斉藤　暢君（大阪市立工芸高校教諭）
牧原　敬典君（大阪府立西野田工業高校教諭）
佐塚　治久君（関西電力KK建築課長）
豊辺　弘也君（倉敷レイヨンKK建築技術研究室）
松本　嘉行君（近鉄天王寺区営業局技術部土木課）
大辻真喜夫君（竹中工務店本店設計部設計課長）
池　保君（藤田組大阪支店建築課長）
藤本　昇君（鹿島建設KK大阪支店梅ヶ枝町工事主任）
西田　隆雄君（日本住宅公団大阪支所住宅企画課）
薮内　幸雄君（日本住宅公団大阪支所宅地管理課）
端野　庄平君（大阪防衛施設局国有財産管理係長）

（総合部門）

五十嵐芳雄君（大林組取締役副社長）
井上鴻太朗君（鴻池組常務取締役）
大野勝三郎君（鹿島建設KK大阪支店技師長）
鎌田幸二郎君（安藤建設KK大阪支店長）
佐藤　栄市君（西松建設KK関西支店次長）
坂本　秀雄君（松村組専務取締役）
志賀　修一君（藤田組大阪支店建築次長）
白井　周二君（清水建設KK大阪支店長）
土井　二郎君（大成建設KK大阪支店建築部長）
今西　寿雄君（今西組社長）
岡　三郎君（岡組社長）
木村　謹次君（木村工務所社長）
中積　治一君（栗本建設工業KK社長）

（電気部門）

浅海　正雄君（浅海電気KK社長）
今村　騰君（中央電気工業KK社長）
柏岡十三介君（阪急電気工事KK専務取締役）
栗原　信英君（栗原工業KK社長）
西村　庄市君（工藤電気KK社長）
山川　義夫君（山川工業所社長）

（管工部門）

尾亀清四郎君（三晃商会々長）
清水　愛明君（清水工業所社長）
須賀　栄一君（須賀工業KK営業部長）
仙田　四郎君（関西煖房工業KK社長）
竹中　清君（大阪電気暖房KK常務取締役）
南　長吉君（斎久工業KK大阪支店長）

（建材部門）

秋元　興一君（秋元調理機器KK大阪支店長）
加納　敏生君（ナニワ工機KK営業課長）
慶田　政二君（日新工業KK大阪支店長代理）
下条　源一君（シモゲン社長）
寺井　一勇君（大和工業KK社長）
中村　正作君（紅中商会社長）
早野　暐君（有田タイルKK大阪事務所長）
原　精一君（甲南建材興業KK社長）
別府　常琴君（久保田建材工業KK大阪支店長）

補選本部所属評議員候補者3名

助野　信三君（三和電気土木工事KK社長）
大島　俊雄君（日立工事KK大阪営業所長）
横田　泰助君（栄興商会専務取締役）

第3回　海外建築事情
視察団募集

第3回 日本建築協会・海外建築事情視察団募集

（ヨーロッパ――23日旅行）

本会では，第1回昭和35年10月（欧米），第2回昭和38年6月（欧州）の海外建築事情視察団を編成し参加者各位の好評を得ました。

今回は，前2回の実績と参加者のご意見などをとりいれて，ありきたりな視察旅行ではなく，本会独自な企画を盛り込んでおります。各訪問都市共団体旅行の便利さ，自由時間の気楽さに，半日ないし1日の自由行動を設けてあります。その上に懇切な案内により存分に視察の醍醐味を味わっていただけるものと信じます。始めて海外旅行をなさる方，再度訪問しようとなさる方々お誘い合せの上奮ってご参加下さるようご案内申しあげます。（次頁の日程表を参照下さい）

□ 募 集 要 項 □

総経費　758,000円　（総経費に含まれるものはつぎのとおりです）

1. 航空運賃　全行程エコノミークラス航空運賃
2. 鉄道運賃　鉄道区間の1等運賃
3. 送迎バス運賃　空港または鉄道駅とホテル間の特別バス運賃
4. 観光バス料金　特別バス料金，ガイド料金，入場料金
5. ホテル料金　各地における1級ホテルの2人室（原則として浴室付）に2人づつの宿泊料および税金・サービス料
6. 食事料金　毎日3食の食事料金，航空機上の食事も含む。
7. 手荷物運搬料金　1人につきスーツケース2個程度の手荷物の全行程の運搬料金（重量制限は20キロ）
8. 空港税　各地における空港税

（ただし，超過手荷物料金，洗濯代，電話料，酒，果物類その他個人的性質の費用およびサービス料などは総経費の中に含まれておりません。）

定員　15名

申込方法　3月31日までに「氏名」「住所」「勤務先」「職名」「連絡先」を明記した書面で**日本建築協会事業委員会・宛にて**お願いいたします。

日本学術会議有権者の登録について

本年11月25日に日本学術会議第7期会員選挙が行なわれますが，その会員選挙において，選挙し，選挙されるには有権者の登録をしなければなりません。登録希望者は下記要項で手続きをして下さい。

1．登録カードの提出について

すでに前回登録されている方で日本学術会議中央選挙管理会から特別の通知のない方は，あらためて登録用カードを提出する必要はありません。新たに今回登録を求める場合は，中央選挙管理会に登録用カード用紙を請求入手のうえ，きたる3月31日までに提出して下さい。

2．登録用カード用紙の請求について

大学，研究機関等には登録用カード用紙を一括して送付してありますが，個人でカード用紙を請求させる方は，氏名（ふりかな）㊞，住所，勤務機関を記入した「登録用カード用紙請求書」を直接中央選挙管理会あて提出して下さい。

3．有権者等の異動届

氏名，住所，本籍，勤務機関および職名，勤務地のいずれかに異動があったとき博士を取得された場合は，そのつど，「有権者異動届」を提出して下さい。

なお，日本学術会議中央選挙管理会の住所はつぎのとおりです。
東京都（下谷局区内）台東区上野公園（電駒込82―3571）。

第3回　日本建築協会欧州建築事情視察団日程

(自　昭和40年6月5日
至　昭和40年6月27日　23日間)

日次	月　日	地　名	現地時刻	交通機関	摘　要	宿泊地
1	6月5日(土)	東京発	10:30	AF 187		機中泊
2	6月6日(日)	アテネ着	04:00		午前中　休養 午後，アクロポリス見学 夜のアテネ観光	アテネ
3	6月7日(月)	アテネ発 ローマ着	13:00 13:50	BE 267		ローマ
4	6月8日(火)	ローマ			午前中，ヴアチカン宮，博物館見学 午後，ローマ市内，コロシアム，パンテオンなど古代建築物見学	ローマ
5	6月9日(水)	ローマ			午前中，エウルの新都市計画に基く官庁街，モンテマリオ地区，新住宅現場など見学 午後，自由行動	ローマ
6	6月10日(木)	ローマ発 フローレンス着	08:40 12:28	列車 No.16	午後，ルフイテイ美術館を含む市内見学	フローレンス
7	6月11日(金)	フローレンス発 ミラノ着	17:20 20:45	列車 No.R30	午前中，サンタマリアデルフイオレなどゴシツク建築物見学	ミラノ
8	6月12日(土)	ミラノ発 ジユネーブ着	15:02 20:36	列車 No.208	午前中，ドウオモ，近代建築物ピエリービルなど見学	ジユネーブ
9	6月13日(日)	ジユネーブ			モンブラン観光	ジユネーブ
10	6月14日(月)	ジユネーブ発 パリー着	17:20 18:15	SR 146	午前，ジユネーブ市内および団地アパート見学	パリー
11	6月15日(火)	パリー			午前，近代パリー観光 午後，ルーブル博物館，ノートルダム寺院著名建築物見学 夜のパリー観光	パリー
12	6月16日(水)	パリー			午前中，自由行動 午後，ヴエルサイユ宮殿ユネスコ本部，博覧会々場など見学	パリー
13	6月17日(木)	パリー発 ロンドン着	13:00 13:00	BE 345		ロンドン
14	6月18日(金)	ロンドン			終日，ロンドン塔，ウエスト・ミンスター寺院など見学	ロンドン
15	6月19日(土)	ロンドン発 アムステルダム着	10:10 12:10	KL 122	午後，運河めぐり	アムステルダム
16	6月20日(日)	アムステルダム発 コペンハーゲン着	13:10 14:30	KL 173	着後市郊外アパートなどを含め市内見学	コペンハーゲン
17	6月21日(月)	コペンハーゲン発 ストツクホルム着	13:40 14:50	AF 794		ストツクホルム
18	6月22日(火)	ストツクホルム			市庁舎， 郊外新都市など見学	ストツクホルム
19	6月23日(水)	ストツクホルム発 コペンハーゲン着 コペンハーゲン発 ハンブルグ着 ハンブルグ発 ベルリン着	09:50 11:00 11:40 12:50 14:30 15:20	SK 565 LH 203 BE 1152		ベルリン
20	6月24日(木)	ベルリン			午前，東ベルリン見学 午後，ハンザ地区アパート，国際会議場他西ベルリン見学	ベルリン
21	6月25日(金)	ベルリン発 ハンブルグ着	13:00 13:55	BE 1147		ハンブルグ
22	6月26日(土)	ハンブルグ発	17:05	AF 272	午前中市内見学	機中泊
23	6月27日(日)	東京着	18:55			

黄桜酒造（株）三栖蔵醸造工場見学会

日　時　2月27日（土）出発・午後1時→解散5時30分

集合所　大阪駅西口バス駐車場・京阪観光バス・目標会旗

申　込　20日までに到着する往復はがきに限ります，定員50名を越えた際は抽せんの上参加証を送附します。

建物概要

設計監理　小林得志建築事務所

施　工　新菱建設株式会社

所在地　京都市伏見区横大路下三栖梶原町53

敷地面積　15,593m²

建築面積　醸造工場　1,246m²　事務所　163m²

延建築面積　〃　4,825m²　〃　487m²

構　造　RC造・一部R造，地上6階，塔屋1階　軒高　20m　最高部 27.4m

工　期　着工・39年5月→竣功・40年1月末

※　貸切バスは，新菱建設株式会社のご提供です。

伏見の酒蔵見学会

第7回若い会員の集い“人”と建築シリーズ「地域開発と空間計画」

日　時　3月6日（土）開会・午後1時30分〜閉会・3時30分

会　場　本会4階集会室

ゲスト　田辺員人（スペスモデールコンサルタント）

申　込　2月27日までに電話で願います。

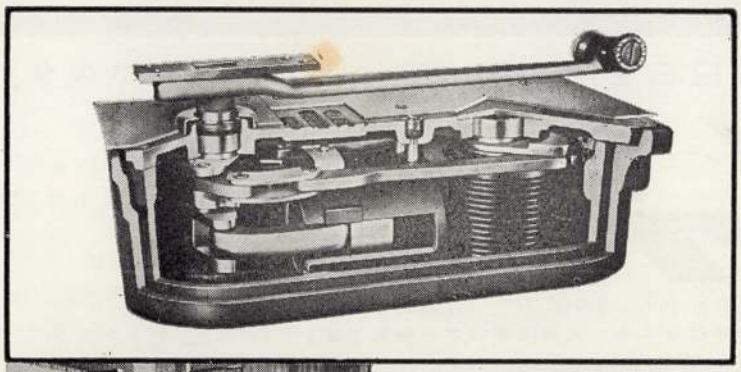
地域開発と空間計画（話題）　田辺員人

1．地域開発の目的と方策とが，ますますわけのわからぬものになってきています。価値測定の単位を何によって構成するかということが大切だと思います。

2．空間の「大きな秩序」と，空間の「ディテール」との相互関係に対して，どちらかを偏重したり，静的な一体性を考えすぎたりすることが多かったように思います。

3．対象の位置と規模の如何を問わず，開発の行なわれるすべての場合に，関係するもののすべてが「活性化」された状態にならなければ，それらの開発の集大成されたものが良くなる道理がありません。では，でのようなことが私たちに出来るでしようか。

第7回　若い会員の集い

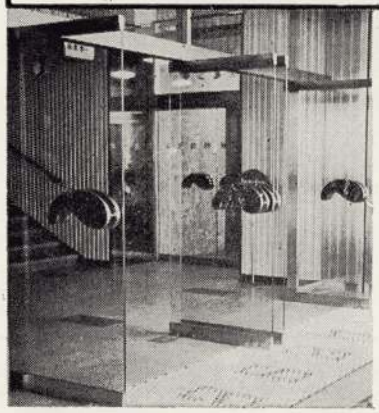


ユートピア印

S.K UTOPIA

フロアヒンジ

ピボットヒンジ



専門家が推奨する

金属製扉、木製扉、強化硝子扉
合成樹脂扉、何れの扉にも使用出来ます。

諸官庁御指定品　旭硝子御採用品

製造元

敷島金物株式会社

大阪府布施市横沼町1の46
電話　布施　(721) 7713～4
東京都千代田区神田三崎町2の26
電話　東京　(262) 5310・0403

三星の床材

ソフトンタイル

株式会社　木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話(441) 5408・5486(443) 2700

株式会社　久保商店
大阪市北区真砂町5
電話(341) 0207～8・4836～7

三友工業株式会社大阪支店
大阪市西区南堀江大通1の19 電話(541) 6161～4

合名会社　利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20(道頓堀電停前)
電話(211) 6923・0575
京都営業所　京都市中京区河原町夷川下ル (23) 3277・3279

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話(632) 0121～4

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話 ⑤ 2697・2140・9151

株式会社　タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル
電話 (81) 0871～2

岡田建材株式会社
名古屋市西区桜木町3－8
電話 (57) 7461～3・8589

株式会社　名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2
電話 (24) 1329・2106・2817

日東物産株式会社
本社・名古屋市中区東瓦町39　電話(24)6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27　電話③2201・2360

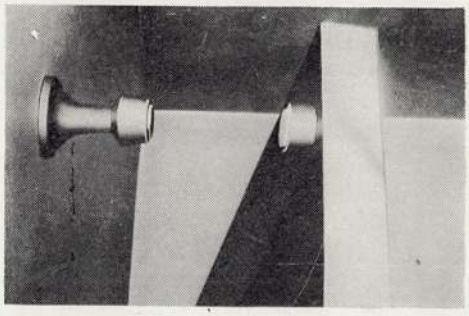
青盛建材株式会社
本社・広島市鉄砲町108　電話代表(21)2281
岡山・岡山市東田町3　電話代表(23)8285
福岡・福岡市万行寺前町14　電話代表(2)5668
松江・松江市西津田町258　電話 ② 6796

関西三星タイル会員

住友の永久磁石を使った〈新しいドアー・ホルダー〉

サンエイ マグダー

従来のゴム製戸当りなどの〈くいこみ〉〈かみ合わせ〉構造と違い近代的特色をもち、大量生産により廉価です。



＊半永久的な保持力
永久磁石（5kgに耐える能力）を使用していますから、保持力は半永久的です。

＊美しい合成樹脂外装
合成樹脂の外装は錆びることなく変色することのない近代色が、ドアーのポイントになります。

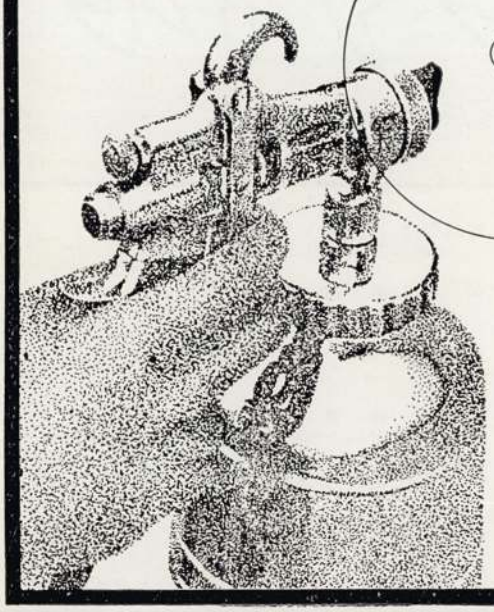
＊軽快なワンタッチ
従来のゴム戸当りと違って、ワンタッチで軽く接触するだけで、ホールドします。

＊強い磁気力
磁気力が強力なため、風力などにあふられて離れるようなことは、全然ありません。

＊床用デザインのものもあります。

大阪市生野区巽矢柄町一五一番地
大阪（741）4655（716）0188～9

■ 三榮建材工業株式会社



Soft

新発売

New Type

室内や廊下をソフトな感覚で包む新タイプのゾラコートソフトを新設計にご採用下さいソフトタッチの落着いた環境をつくりだします

ゾラコート ソフト

関西ペイント株式会社
大阪市東区伏見町5・東京都中央区宝町3
● 色見本付型録ご希望の方は当社宣伝課乙係まで

建築と社会

1965年・第46集・2月号・目次

ARCHITECTURE & COMMUNITY ©　委員会特集 2

作品作風　洲本商工会議所……設計監理 兵庫県建築部営繕課 施工 淡路土建株式会社……11
建築の眼　担当：池保・本郷聰・片寄俊秀・水島恒子……14
委員会特集
事業委員会　事業委員会の概要……増井敏克……16
会員の声座談会……星野二郎・岩本尚三……18
5カ年間の事業委員会関係事業一覧表……20
出版委員会　これからの「出版委員会」……田中良太郎……22
住宅委員会　住宅委員会活動のあれこれ……海上静一……24
住宅よろず相談所開設の成果……山本茂……25
教育委員会　教育委員会の事業概況報告……橋本忠保……27
法規委員会　法規委員会……佐野正一……30
建築基準法改正に関する要望……30
編集委員会　編集委員会のこと……片山光生……32
建材委員会　建材委員会について……岡本弘……33
近代建築調査委員会
解散の辞を兼ねて……滝沢真弓……35
近代建築調査委員会発表建造物・件名目録……35

近代建築調査委員会報告 62（終）
細部特集 6. 小屋組・窓，扉金具
7. 壁隅の手法・扉・切妻……近藤豊……37
技術の頁 30. 原論部門：地下鉄の温湿度測定について……赤松義夫……39
北京科学シンポジウム参加のため訪中して 3
大学の教育・研究について……松井昭光……42
職人シリーズ　第29回・畳職（岩脇松次郎氏）……長谷川哲之助……43
書評　新刊紹介……堀口甚吉……44
会員の頁……46
会合記録　建築協会忘年懇親会……47
第1回日本建築祭の概況……48
会報　（12月分）……51

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 菅谷淳
売価 1部180円・送料共
昭和40年2月20日印刷　昭和40年2月25日発行
編集人 松井昭光
発行所 社団法人日本建築協会 大阪市東区北浜3丁目37
電話大阪㊃9648・9649・9640番　振替口座大阪39975番
発行人 手島政男
印刷所 株式会社研文社 大阪市北区堂山町66 電話㊃2091～3番
印刷者 綱野栄

建物の洗ひと管理の店

住宅美素工事の創始者

- ビルディングの洗浄工事
- 木造建築洗浄・美素仕上工事
- ビルディングの清掃・一般管理

（登録商標）

美素工業所(株)
美素建物管理(株)

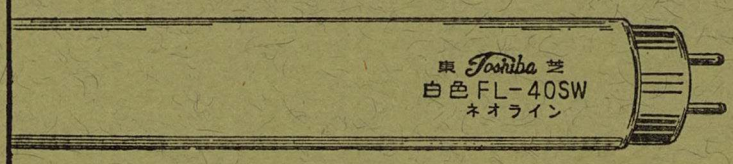
本　社　大阪市東区瓦町三和ビル
電話(231)5888・4938
営業所　大阪市東区本町二丁目五
電話(261)4070・4079・617

東芝技術の成果！　新製品誕生

明るさ3,200ルーメンを超えたスマートな32㎜管

従来の安定器および灯具がそのまま使用できる

東芝蛍光ランプ ネオライン

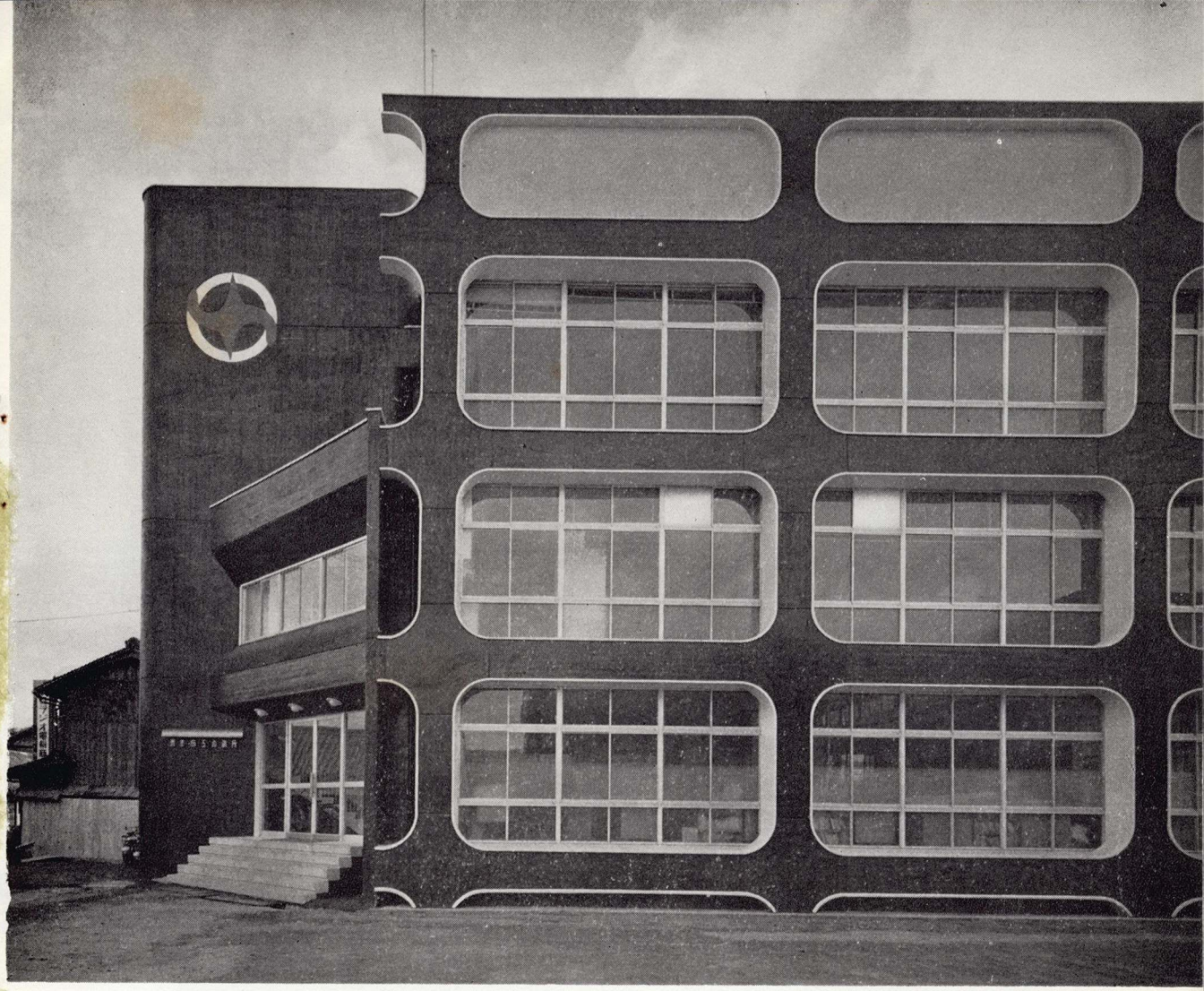


定価も従来品と変りません

現金定価

FL-40SW　480円

FL-40SD　480円



外　観

洲本商工会議所

設計監理　兵庫県建築部営繕課
施　工　淡路土建株式会社

■ 設計者のことば

この会議所は，洲本市の中心部に建っている。北側は巾員９ｍの主要道路をへだてて市庁舎と相対し，南側は隣地境界線一ぱいまでぎっしりと住家の建こんだ，長方形の場所である。市街地の真中にやっと求められた，この狭く細長い高価な土地に，法規の許すかぎり有効なスペースをとらなければならず，この建物を利用する人々のために，気持よくスペースのさかれた豊かな環境を造り出すということは望めなかった。この建物では，ややもすれば画一的無表情になりがちな市街地に建つビルとして，周囲の環境に対し，積極的に個性を主張し，対立的に調和を求め，生々とした街の表情を造り出す一助となるべく努めた。

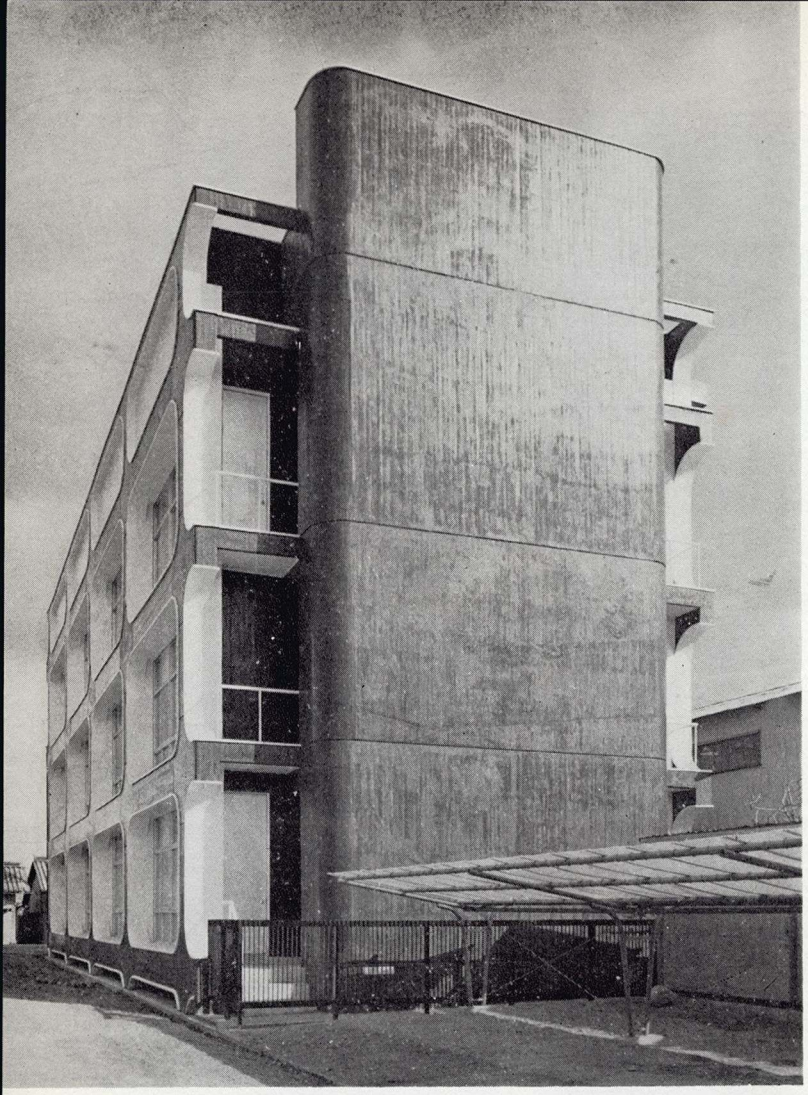
１階の床高を路盤面より 1.2m 高くしたのは，台風時における海水の浸水をさけるためである。

外部壁面をコンクリート打放しとし，その上に塗装をしたのは，コンクリートに一応の精度を出すことと，よごれやあくが出て薄よごれた感じになるのをさけるためである。

（兵庫県建築部営繕課　堀　照男）

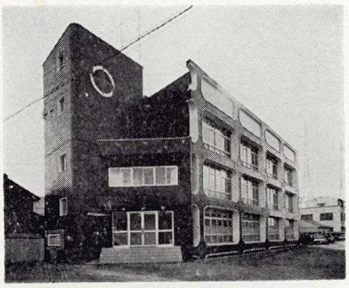
所在地	洲本市船場町
敷地面積	353.m²43
建築面積	267.m²40
延床面積	812.m²10
構造	鉄筋コンクリート造 地上３階，塔屋１階
工期	着工　昭和39年４月 竣工　昭和39年11月

外部屋根　合成樹脂（ペトロック）防水
AR—KP工法，モルタル押え
外部壁面　コンクリート打放しの上，メタ
ーラックC塗装
外部建具　アルミニウムサッシ



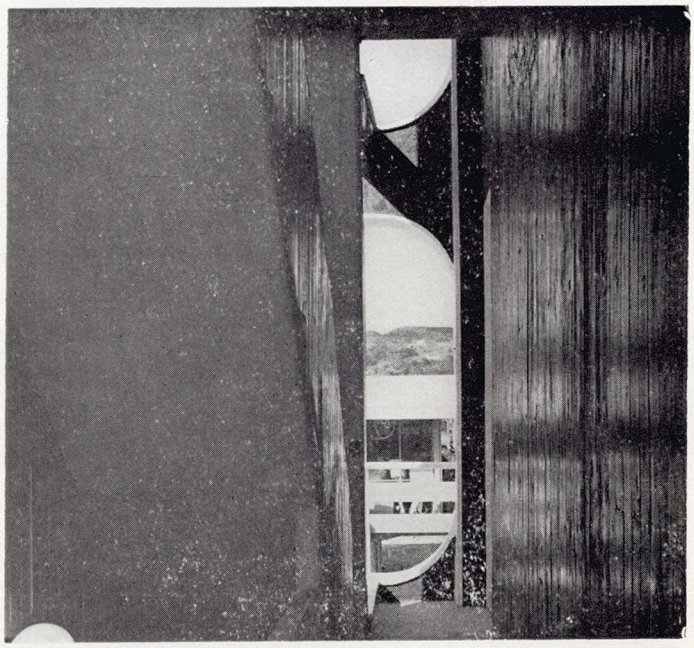
外　観

正面入口

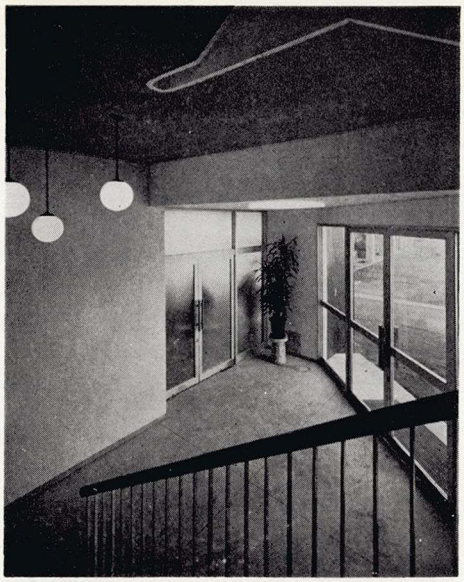


洲本商工会議所

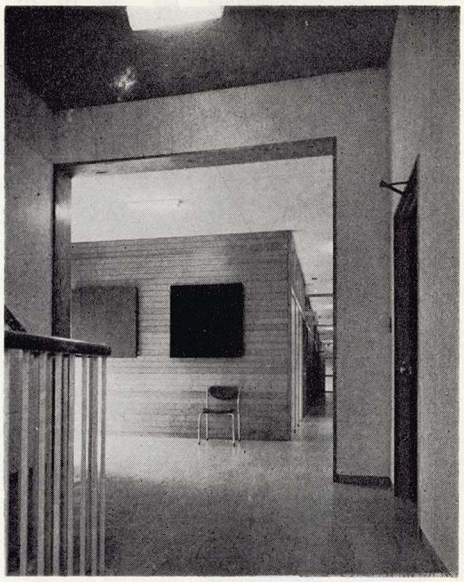
設計監理　兵庫県建築部営繕課
施　工　淡路土建株式会社



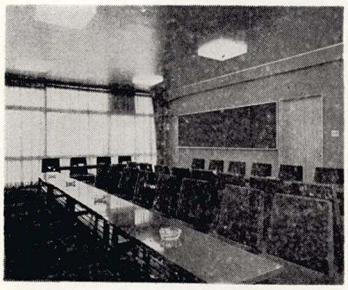
屋外階段より



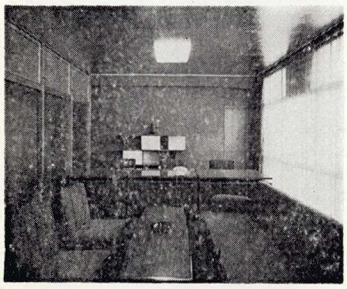
エントランスホール



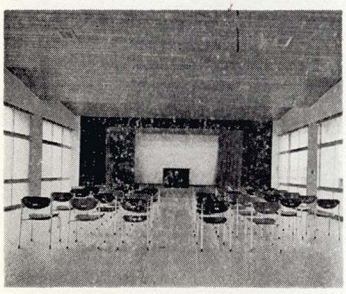
二階ホール



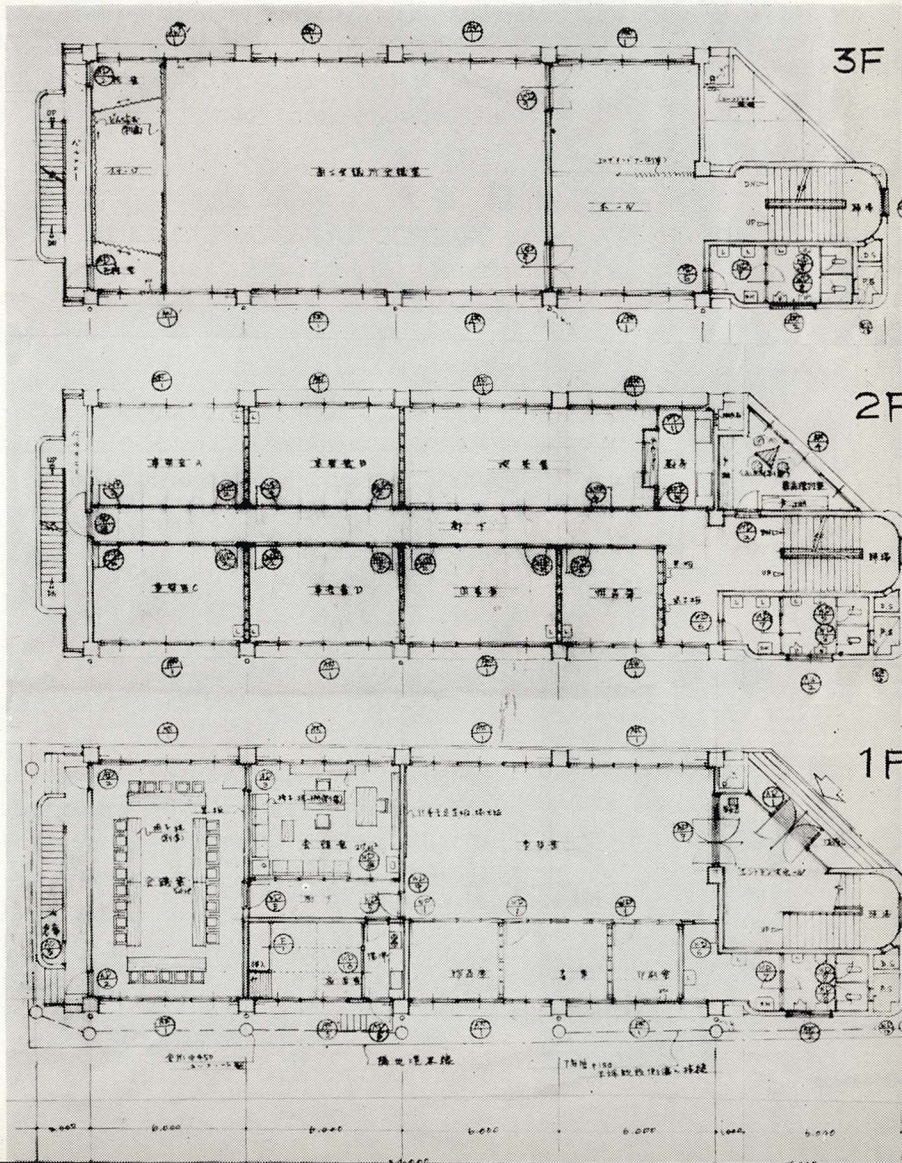
一階会議室

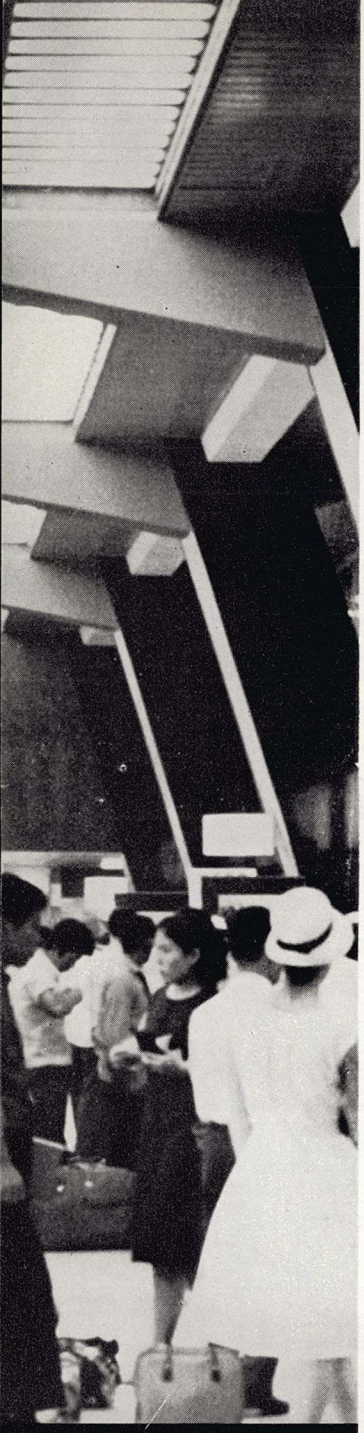


会頭室（一階）



集会ホール（三階）





建築の眼

担当　池　保
　　本郷　聡
　　片寄　俊秀
　　水島　恒子

■ 現場技術者

「建築屋が一人前になるには，学校を出てから，まず8年はかかる。所長がつとまるのは，さらに5年くらいたってからでしょう。」

「一人前というのはどの程度ですか。」

「まとまった現場の係として，木工事なり鉄骨工事なりを担当し，対施主，対下請および部内の接衝をまかしておける程度です。」

これは昭和33年ごろ清水建設の方と話した会話です。

ところがうちの会社では，できれば3年くらいで所長のつとまる人を教育しろという。3年といえば内勤の精算や設計にいる日数も考えなければいけないから，最大3現場くらいしか廻っていないことになる。それで所長級がつとまるような特別の教育法が案出されれば，その教育法は絶対秘密にしておくことはできないから真似されるにきまっている。

そうすれば今の土建屋は皆つぶされて，財閥系の大商事会社が直接大きな仕事を何でもやれるようになる。こんな話をすると皆笑う。　(IT)

■ 建物の使われかたについて

建物が設計時の条件と異なった使われかたをしているのを，ときどき見かける。それが構造耐力上のことになると問題が大きい。例えば，ある営業用倉庫において，仮定をはるかに超えた重量物を積んだため，下の鉄筋コンクリート梁に大きな亀裂を生じたことがある。一般には，建物，殊に鉄骨造，鉄筋コンクリート造というと甚だしく丈夫なものと思われているらしい。そこに設計者の考えと相当のへだたりがあるようである。だから事故が起った場合，建物所有者に何か割り切れないものを残したりすることにもなる。

しかしこの場合，例えば制限積載量を建物に表示するなどにより，事故を未然に防止できたかも知れないのである。何も構造耐力上のことには限らないが，設計者が積極的にその建物の使われかたについての指導を行なうことは，もっとなされて良いと思う。

(HM)

■ 事務机の配置

事務室の机の配置で近頃流行しているのは，課長の席を一番うしろにして，係員がみんな彼に背中をみせるという方式なのだそうである。こういう配置が係員にどういう心理的な影響を与えるか，事務機のメーカーは説明で少しもふれないが，とにかく能率はかなり上るのだそうだ。管理者の目がよくいきとどくこと，それと課長への来客に係員がディスターブされぬことがその理由だという。

この配置は，たしかに管理する側からは好都合であろう。しかし四六時中背後からの監視をあびていて気持のいい人がいるだろうか。武士道は背後からの攻撃をひきょうだとした。背中はその人の一番大事なもの，つまりプライバシーを象徴しているとは言えないだろうか。みんなが自ら進んで仕事をしようというのではなく，こういう配置でしか仕事を能率的に進めることが出来ないというところに不幸な状態があるのを知らねばならないと思う。　(KT)

■ 不良住宅

最近，不良住宅地区の調査をした。

雨が降れば雨もりし，風が吹けばトタン屋根がとぶ。壁はくずれおち，畳はすりきれたまま。

どんな暖かい日射しもさしこまないし，どんな涼しい風も入ってこない。

昼間でも電灯なしでは暮せないのに，夜は電灯は暗い。

炊事も洗濯も便所も，雨にぬれたり風にふきさらされたりしながら，家から外へ出ていかねばならない。

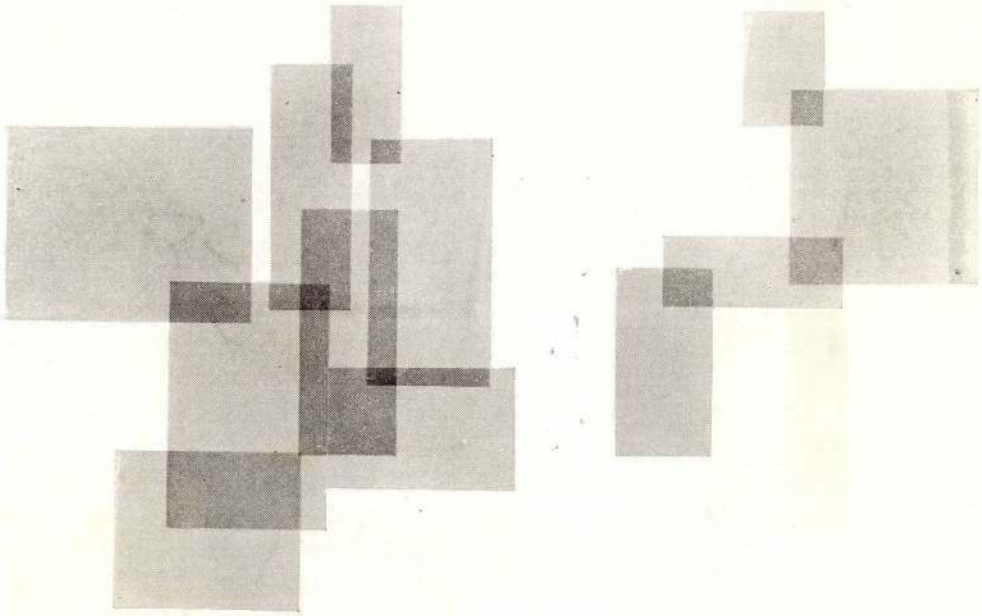
それらすべてにもまして絶対的に狭い。3帖1間に9人住んでいるところもある。

考朽住宅にもたれてバラックが建ち，そのバラックから庇がでたかと思うと一室になる。

終戦直後でもあるまいにとお考えになるかもわからないが，こんな住宅がぎっしり建てつまっている地区もあるのです。　(MT)

次号は新しい執筆者が担当します。

委員会特集



日本建築協会の委員会構成

日本建築協会には，会の目的事業をはたすため，各種の委員会が設けられている。大きく分けて，常設委員会と特別委員会とがある。常設委員会には，事業委員会・編集委員会・法規委員会・住宅委員会・出版委員会・災害委員会・教育委員会・建材委員会の８委員会がある。特別委員会としては，企画委員会（運営審議会の延長）・近代建築調査委員会・表彰候補詮衡委員会・会館運営委員会がある。この特別委員会は，特定の目的を果すために設けられたものであるが，今回はとくに報告しなかった（ただし，近代建築調査委員会はシリーズとして毎号報告しているが，今回で終結したもの）。また常設委員会のうち，災害委員会報告は本年度は開催されていないので割愛した。

事業委員会

事業委員会の概要

事業委員長　**増井敏克**



今回委員会特集号が発行されるにあたり，事業委員会の活動振りの概要につき誌面を借りてご報告させていただきます。

本会会員には，学校・官公庁・諸会社の建築部門担当者をはじめ，建築事務所・施工業界・設備業界あるいは資材関係の方々も含めて，建築界のあらゆる部門の方がお入りになっているので，会員層の巾が階層的にも，年令的にも非常に広範囲にわたっております。

そして，これらの会員の方々がお互いの親睦と研磨を計り，協力して建築界全体の向上を期すというのが，本会の存在主旨であると思われます。

したがって，これらの主旨の実行にあたって，本会内には種々の委員会がもうけられ，各委員各位には，建築界全体に対する奉仕の意味で忙中にもかかわらず世話人として活動していただいているのであります，中でも事業委員会は委員会の内でもとくに大きい部門を受持ち，新建築・工場・古建築見学，種々の展示会，講演会，研究会および，青年建築家を対象に若い会員の集い，新材料，新工法の説明会などの固い面と，懇親会のような軟い面を担任するなどの多くの小委員会（分科会）にわかれておりまして，それぞれ大きな足跡を残しております。

とくに申しあげたいことは，各小委員会(分科会)の委員の方々が，建築界の各部門の中堅であり，最も活動力のある方によって構成されていることであり，そして，なかなかの談論風発，不肖，委員長の私も時々は弱らされることもある位であります。しかしながら，この風潮は今後もますます活発であってもらいたく，さらにこれから後も，新鋭の若手陣に本委員会にご参加，ご活躍を願って，本会に新しい血を絶えずそそぎ入れていただきたく思っております。

各小委員会の紹介に先立ちまして，委員会としての概要をお伝えして，P.R. の責を果させていただきます。

事業委員会の誕生から現在の小委員会活動まで

昭和31年4月，従来事業活動を担当していた「会勢委員会」が，その性格，事業内容について検討された結果，発展的解消をすることになり，よりよき事業活動をはかる目的で「事業委員会」が新設された。

事業委員会は，見学会・講演会・映画会・展示会，懇親会およびほかの委員会が所管しないすべての事業を包括して，それが企画と実施を担任することになった。初代の委員長　鷲尾健三氏　副委員長　岩崎甚太郎氏の外16名の委員で編成された。新しい事業の企画，実施をはかるため，委員会のうちに小委員会をもうけて活動の中核とした。

「若い会員の集い」「建築写真コンクール」など新しい事業の企画はそれら小委員会編成がきっかけにもなった。

昭和34年事業委員長に岩崎甚太郎氏が就任した。委員は20名に増員して，精力的に事業の拡張につとめた。

昭和38年には事業委員長に増井敏克氏が選任され，委員の構成員も各職域から40余名の多数となり，先輩委員の礎かれた事業企画を中心に，新しい事業も活発に実施されていった。それらの事業が，会員各位の実務にいかされることを目標に，一層会員の声を反映させることにつとめた。昭和39年は51名の委員を擁して，小委員会の整理統合などを手初めとして，本会独自の事業企画と実施は小委員会を中心に進められた。事業企画が発表されるまでのプロセスは，小委員会で検討，研究された事業企画が事業委員会に提出され，委員の熱心な討議と審議を経て，実施企画が決定され，会誌で発表する。実施については，それぞれの担当小委員会が担任する。小委員会，委員会は，それぞれ本務に忙殺されている委員の勤務終了の夜間に開催することが多い。真摯に事業にとりくんでいる委員の姿が事業活動の成果に反映されているといっても過言ではないと思う。

本委員会に設置されている小委員会を紹介してそれぞれの事業企画の抱負を併せて記載する。

【昭和39年度事業委員会】　（氏名・五十音順）

委員長　増井敏克

副委員長　岡本弘／樫根英郎／政岡基次／矢野豊作／山本義樹

【新建築見学会小委員会】

主　査　道田泰治郎

委　員　田森信夫／水本　稔／村島　彰

見学地域を近郊および地方都市（工場見学会と合同）にも足を延ばす。住宅，工場も対象に採り入れる。竣工の建物はもちろん，工事中の現場・新工法の現場見学を多く織込んでいくなど一段と特色のある事業にするための研究を重ねたい。

【古建築見学会小委員会】

主　査　岩下久哉

委　員　佐孝義治／森田孝雄

いままでの見学対象を再検討していきたい。新しい企画としては「民家を訪ねるシリーズ」など研究していきたい。庭園なども見学にいれて特色のあるのにしたい。また地方の古建築も企画対象としてその土地のよき風物にも接するように一層の努力をしていきたい。

【工場見学会小委員会】

主　査　中村信夫

委　員　審　忠夫／木村博己／村井健三

見学は建築実務に関係のある工場を重点的にするが，社会人としての啓発の対象になる工場もとりあげていく。毎年実施している地方での宿泊をともなう見学会も，新建築，古建築見学と併せておこない，地方会員との交歓をも図れるよう企画の充実に力を注ぎたい。

【各種説明会小委員会】

主　査　藤沢達夫

委　員　池田　博／大久保博一／岡本行善／能勢藤蔵／畑　靖夫／広瀬修三／山本　茂／渡辺英秋

38年より新しい企画で説明会を実施した。39年末までに9回開催して26社の新製品を紹介してきたが，その間小委員会では開催毎に反省会を催すなど，より実務に結びついた説明会とするため検討を重ねた結果，40年からは，建築工事別にそれぞれの，新しい工法・材料・設備・機械などを紹介することになった。企画としては，「基礎抗関係」「地下工法関係」「仮設工事関係」が決定しているが，一層内容の充実を図るため会員各位からのご意見，ご希望をとりいれていきたい。

【映画，講演会小委員会】

主　査　佐塚治久

委　員　坂内幾男／鈴木洋也／八木常美

予算に縛られては，なかなか実施がむつかしい面があるが，昨年の2回の講演会（地震と超高層建築・武藤清氏，建築と色彩・山崎勝弘氏）は，いずれも盛会で特徴あるものとなった。こんごも建築技術の向上，啓蒙に資する，特色あるテーマと講師により企画の独自性を図って特徴のある事業を活発に催したい。

【展示会小委員会】

主　査　星野二郎

委　員　井上　滉／駒日出男／内藤一真／中野孝治／西川幸之輔／松村慶三

例年，写真展とか，会員余技作品展を行っているのが，この展示小委員会の行事の一つであるが，昨年からは，会員相互の交流，親睦のみでなく，一般社会人に対して，建築の啓蒙をし，また建築技術の紹介などを行い，大いに公共的な，分野迄，発展するべく，その始めとして時期的に，新潟地震を取り上げ“地震と建築の常識展”を企画，内容案を作成，作業開始の段階にて，経費の厚き壁に突き当り，断念せざるを得なかった。今後もこのような企画のもとに，協会の公共的な事業となるべくその可能性を追求して行きたい。

【若い会員の集い小委員会】

主　査　岩本尚三

委　員　太田隆信／角橋徹也／佐々木良一／千葉春海／中根芳一／堀江哲郎／宮後　健

若い会員の集いは，着実な活動を8年も続けてまいりました。企業の壁などセクショナリズムを越えて若い会員の交歓の場として収獲の多い集いになってきました。

こんごは若い会員がより積極的に建築創造にむかえるよう相互の連繋の集いとしてすすめていきたいと思います。

【懇親会小委員会】

主　査　尾亀清四郎

委　員　谷川丈夫／萩野　敬／原田守蔵／平田作太郎／三宅昭栄

建築界の名物行事となった忘年懇親会をはじめ，創立記念パーティ・夏の懇親会などの企画のお世話をしておりますが，毎年新しいアイディアを注入して一層よろこばれ，たのしい交歓の場になるようつとめております。また新しい懇親の場をつくるよう研究していきます。

会員の声・座談会

■事業委員会では，現在の行事を通じ，今後の事業運営の反省と参考とするため会員の声をきく座談会をつぎのように催した。

日　時　昭和39年10月1日
場　所　日本建築協会　3階会議室
出席者　司会　岩佐　直則・岩佐建築事務所
上出　秀雄・藤木工務店
木葉　卓夫・大阪建築事務所
小島　弘・三田建築事務所
徳永　義文・鹿島建設
松田　郎三・マツダ工業
村上　恒彦・住宅公団
森　粛・布施工高
山本耕一郎・大阪工大学生
柳田癸巳夫・大阪生コンクリート
和田　克朗・大阪府
委員　山本　茂

■議題　□事業でよかったもの，□悪かったもの
□事業に対する希望，注文
□建築協会に対する希望，注文

以下，座談会の内容の要旨を上げると

＜現在の各行事について＞

・どの会をとり上げてみても，よい事業ばかりで楽しく参加できるが，実務に反映し，すぐ役立った企画は，参加人員も多く集い，好評ではないか。
・勤人として，実務と直接関係あるもの，および講習会は上司に対して，許可がうけやすく，いきやすい。
・開催日についても同様に，平日より，土曜，日曜の方がいきやすい。
・学生も参加したいが，遠慮勝ちになる。将来会員となる若い人に何かの印象となるような学生相手の見学会などを催してほしい。
・参加人員について，制限される苦情。
・見学会などの説明資料は，先にほしい，また見流しにならぬよう説明などをよく，滲透するよう考慮してほしい。

＜若い会員の集いについて＞

・若い会員としてあっても，中年のものも参加したい。
・参加してみて発言しなくても，きくだけで教えられることが多いが，何かむつかしい理論的なものばかりであろうと，尻込みするのが現状である。
・標題があまり理論的で関心は技術的な方にあるように考えられる。また発言しやすいように，指導，誘導する人がおれば。
・参加定員が30名と制限になっているので，申込んでも断わられることが多いだろうという気持がある。

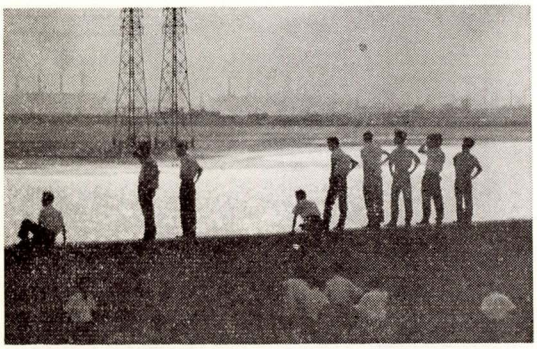
＜その他の要望，注文として＞

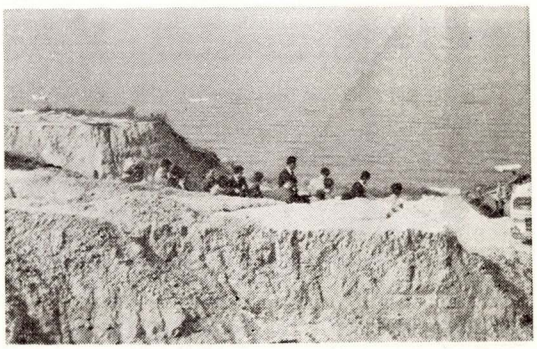
・庭園見学，石像美術見学などを繰り入れてほしい。
・異った職種の人の建築に対する批判や，話をきく機会を設けられてはどうか。
・工事途中の見学会などは半日か1日位開放して自由に見学するようにならぬか。

以上，活潑な意見，そして協会を盛り上げて行なうという発言が多く，その他議題にもあるように他の部門についても，種々の要望があったが，一応事業委員会関係にとどめておき，その要望はそれぞれ各委員会に伝えておきます。

＜座談会をまとめて＞

■この企画は，委員会特集号の記事の一環として，事業委員会の各行事が会員の間でどのようにうけとられ，参加していただいてるか，また今後の行事について，どのように企画していくか，ということを各小委のご苦労がどのように実っているか，ということで行なったもので





あります。

実際に，事業委員会は，協会の地道な活動の中にあって一番華やかに，そして，会員相互の親睦の実をあげ，見立った存在であることはいうまでもないことと思います。この座談会を通じてみますに，多数の会員に満足のいくような企画を立て，実行していくことのむつかしさが，しみじみわかります。事業委も，この点について各種，見学会，講演会，説明会を催し，会員の参加機会均等を願っているわけでありますが，これとて相手があっての行事で会員の都合ばかりでは，解決のできないことが多々あります。この点は，会員のよき理解が必要でありましょう。

そして，これらの行事が活潑に行なわれ参加人員の多くなることにおいて，歴史のある本会の存在が目立ち，会員が増大してくることになると考えられます。このことは，風吹けば桶屋がもうかる，というような廻り遠い説明をしなくても，協会の隆盛に通じ，またますます行事の充実化が促進されることが明確なことであります。またこれらの行事は会員のものであります故，企画者にまかさずどしどし意見を述べられ，よりよき事業にしたいと思っております。座談会の中にありました，開催日の件と人員制限の点について，やはりこれら行事を行なうについて一番頭を悩ます点であります。

会員は過半数が勤人であり，これらの行事に参加するには土曜，日曜が一番よいと考えられ勝ちであります。いままでの例でも，平日が土・日曜と比較してみて，参加人員がとくに差を見出されることはなく，かえって逆の現象さえみえます。また，見学先が工場とか現場であれば，休日で稼動しなくて，見学価値が半減したり，また，説明者が休みであったり，参加人員についても，見学先のご好意により，バスをだしてもらった場合，無制限というわけにはいかず，場所に収容することができなかったり，いろいろの都合があることをよく理解していただき，大いに参加していただきたいと思います。

この会を通じ，各種行事は会員の関心の的であることは事業委員会として，心強いものがあります。そしてよき批判をいただいたことを感謝して筆をおきます。

（委員会特集号原稿作成小委員会主査　**星野二郎**）

■座談会の話題の中心が「若い会員の集い」になっているのをみて，おおいに責任を感じます。

①若い会員の集いは，スタートしてから8年間，着実な活動を続けてまいりました。とかく閉鎖的な建築界にあって“企業のカベ”その他あらゆるセクショナリズムを超越して，若い新鮮なエネルギーを交歓してまいりました。

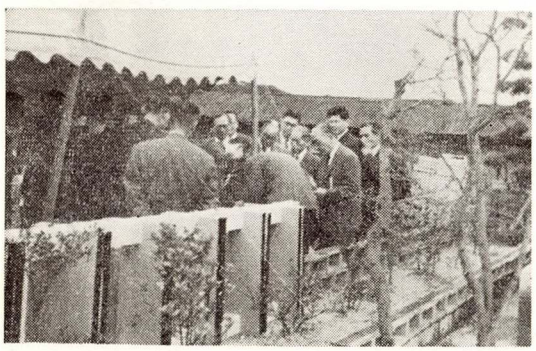
②会の運営の原則は，どれほどの人数を集めるかでなく，どれほど内容を充実させるかに重点をおいていますもちろん，より多くの会員にそういう有意義な機会に接していただこうとして，魅力的なテーマ，ゲストを選定しています。

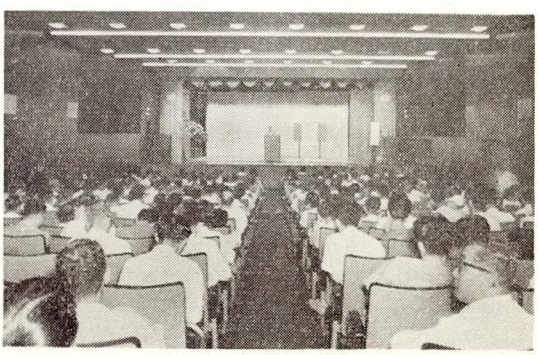
③指導・誘導者をおいてはというお話ですが，むしろ常連出席者の増加を企図しています。最近は毎回数人の積極的発言者が参加しており，収獲の多い集いが続いています。

④理論的なテーマばかりで，参加したいが尻込みされているそうですが，発言したい人が討論するわけですから，ただきいていてもおもしろいものです。しかし，いつまでも実務的，即物的な話だけに興味を限定していては“前向き”の建築技術者とはいえないと思います。こういう機会を通じて“建築と社会のつながり”を感覚して下さい。

⑤そういう意味で**異る職域の話**を昭和37年度「現代の探険」昭和38年度「建築からの起点」の両シリーズのなかでできました。なお，昭和39年度は「人と建築」シリーズを続けております。

（若い会員の集い小委員会主査　**岩本尚三**）



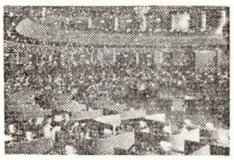


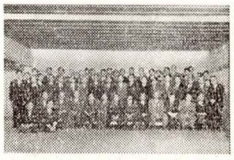
5ヵ年間の事業委員会関係事業一覧表

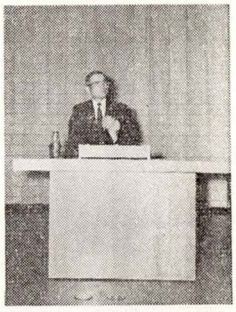
（昭和35年4月⟶昭和39年12月）

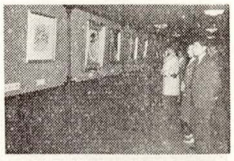
	委員会	幹事会 小委員会 打合せ会
35.4→36.3	12回	48回
36.4→37.3	12回	36回
37.4→38.3	11回	17回
38.4→39.3	10回	69回
39.4→39.12	8回	42回













【35年】

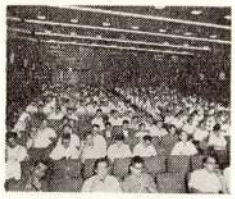
■4月—陸屋根の防水説明会・産経会館4階／信楽の製陶見学会／関電ビル見学会／新阪急ビル竹中式深礎工法見学会／明るい生活と建築展・神戸王子体育館 ■5月—住宅公団天神橋分譲住宅見学会 ■6月—高砂コンクリート工場と鶴林寺見学会／京都会館と都ホテル佳水園見学会／勧銀ビル竹中式潜函工法見学会／高麗橋ビル見学会 ■7月—見学と夏の懇親会・ワールド／合成樹脂防水剤の工場と紡績工場見学会／修学院離宮見学会／桂離宮見学会／ハリス博士の建築と音響講演会・関電会館 ■8月— *若い会員の集い夏の見学と懇親会・奈良／アサヒビール吹田工場見学会／神戸の明治建築見学会／住宅公団瓦屋町分譲住宅見学会 ■9月—大阪第3市外電話局外見学会／関西電力大阪火力発電所見学会／大阪富士銀行ビル見学会／ドームとシヤーレの映画会／ *いろいろなデザイナーと話し合う会 ■10月—名古屋の建材工場と新建築見学会・1泊／南禅寺の茶室見学会／第1回海外建築事情視察（欧米） ■11月—神鋼ビル・大井ビル見学会／ニッカウイスキ西宮工場／日本民家聚落博物館見学会／ル・コルビュジェ大阪展・大阪市立美術館／海に築く製鉄所映画会・建設会館／＊見学と批評の会・近鉄登美ケ丘分譲住宅 ■12月—忘年懇親会・阪神百貨店大食堂／桂離宮見学会／修学院離宮見学会

【36年】

■1月—建築団体合同新年交礼会・建設会館／新年午さん会・建設会館／＊西山卯三氏に中国の話しを聞く会・北ミューヘン別館／輸出繊維会館見学会 ■2月—大関寿蔵見学会／コンクリート打放し建築見学会／都ホテルと妙心寺花園会館見学会 ■3月—創立記念・講演と映画会・会員余技作品展・関電ホール／創立記念ビールパーティ・関電会館／＊在日留学生と話し合う会／東本願寺難波別院見学会／岡山の建材工場と倉敷の新建築見学会・1泊／三菱電機伊丹製作所見学会 ■4月—＊アルミサッシの研究会／野沢セメント工場彦根城見学会／大和文華館見学会 ■5月—東邦商事本町ビル見学会／北浜ビル竹中式深礎工法見学会／日本板硝子本社ビル見学会／鋼管構造講演会・於産経会館 ■6月—淀屋橋勧銀ビル見学会／興銀ビル見学会／関西ペイント尼崎工場見学会／桂離宮見学会／修学院離宮見学会／＊プレジデントクリーブランド号を見る会・神戸港埠頭 ■7月—内外木材工業本社工場見学会／日本ビール大阪工場見学会／建設記録映画を見る会・建設会館／夏の懇親会・滋賀観光文化会館 ■8月—これからのパーキング施設説明会・関電ホール／＊見学と夏の懇親会・クラブOTA ■9月—毎日テレビ千里山総合社屋と千里丘呉羽紡寮見学会／日本生命中之島ビル見学会／気泡コンクリート説明会・千代田生命ホール ■10月—大阪ガス総合研究所と教習所見学会／慈光院の茶室を見る会／＊新しいオフイスビルのインテリヤ ■11月—＊欧米の施工技術とソ連の建築／京都中央郵便局見学会／旭硝子尼崎工場と特殊硝子工場見学会／武者小路千家外茶室見学会 ■12月—忘年懇親会・味園

【37年】

■1月—建築団体合同新年交礼会・建設会館／新年午さん会・建設会館／＊新春若い会員の集い・郵政会館／新阪急ビル見学会 ■2月—日本盛酒蔵見学会／＊フランス美術展の観賞と講演会・京都会館 ■3月—ダイハツ工業池田第二工場見学会 ■4月—H形鋼建築講演会・ガスビルホール／川崎重工業加古川工場見学会 ■5月—グリーンビルと藤浪ビル見学会／日本生命本館と東海ビル見学会／汽車製造大阪製作所見学会 ■6月—新住友ビル見学会 ■7月—クラブ千扇見学会／宝酒蔵京都ビール工場見学会 ■8月—六甲山ホテル新館見学会 ■9月—天王寺民衆駅見学会／日本陶管とトヨタ自動車工場見学会・1泊 ■10月—第5回建築写真コンクール・主題・屋根・壁・インテリヤ／平川鉄工所滋賀工場と日本電気硝子大津工場見学会／豊中市庁舎と住宅公団緑ケ丘



団地見学会／＊企業内における工業デザイン／防錆に関する講演会・千代田生命ホール／欧州のプレハブ講演会・建設会館 ■11月—大阪屋証券ビルと平和ビル見学会／三井信託ビル見学会／日本板硝子舞鶴工場見学会／＊現代の広告産業最近のマーケティング／秋の嵯峨野の古建築を訪ねる会 ■12月—千里ニュータウン見学会／忘年懇親会・太閤園

【38年】



■1月—建築団体合同新年交礼会・コクサイホテル／建築・遺跡と現在のスライドと講演会・日本板硝子会議室 ■2月—関西鉄鋼短期大学見学会／＊ヨーロッパの街・広場・ひとびと ■3月—尼崎市庁舎見学会／相馬邸見学会／大関酒蔵見学会／新しいエポキシ樹脂の建築への応用説明会・千代田生命ホール／＊新しい街づくり・地下街の企業と公共性をめぐって／創立記念講演と映画会・関電ホール／創立記念ビールパーティ・関電会館 ■5月—小原流家元教場見学会 ■6月—三神ビル全溶接構造見学会・神戸／大阪神ビル見学会／気泡コンクリートと通気性吸音板説明会・千代田生命ホール／＊現代の探険総括座談会／伊奈製陶工場と名古屋方面見学会・1泊／第2回海外建築事情視察（欧州） ■7月—＊大都市の溢路と矛盾／軽量建築材料と新しい充填剤説明会・千代田生命ホール ■8月—新しい照明型式・鉄筋・化粧板説明会・千代田生命ホール／＊奈良のマスタープランを考える／五条の古建築と市庁舎見学会／キリンビール尼崎工場見学会／夏の会員懇親会・カジノ ■9月—新しい内装建材と新合板パネル説明会・千代田生命ホール／第6回建築写真コンクール・課題・街／一休寺と秋篠寺見学会 ■10月—ドッサ教授講演会・科学技術センター／新しい建材と防水工法説明会・千代田生命ホール／＊近畿のリクリェーション開発を探ぐる／第1回会員余技作品展・毎日ギャラリー／NHK大阪放送会館見学会／京大熊取原子力実験所見学会／西行庵と東西本願寺の茶室をみる会／近畿コカコーラ工場見学会 ■11月—H形鋼建築講演会・科学技術センター／＊明日のプレハブ放談会／＊団地コミューニティ／梅田地下街見学会／関西大学誠文館と体育館見学会／秋の室生寺と大野寺を訪ねる会／有田タイル工場と福岡市内新建築見学会・2泊 ■12月—新しい建築技術開発の集い・ガスビルホール／忘年懇親会・太閤園



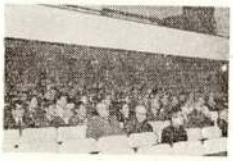


【39年】



■1月—建築団体合同新年交礼会・コクサイホテル ■2月—＊カナダ・スェーデンの住宅開発とその生活／西本願寺津村別院見学会／金盃酒蔵見学会 ■3月—＊計画上からみた神戸ポートタワー／創立記念講演と映画会・ガスビルホール／創立記念ビールパーティ・ガスビル食堂／千里ニュータウン見学会／セントラル硝子堺工場見学会 ■4月—新しい金属建材と溶接工法説明会／＊建築の評価／大阪府立大学体育館見学会／芭蕉庵・詩仙堂・曼珠院を見る会 ■5月—＊建築からの起点総括座談会 ■6月—新しい駐車場設備・塗料・気泡コンクリート説明会・千代田生命ホール／長居陸上競技場見学会／大阪南郵便局見学会 ■7月—＊都市再開発事業実現のためのシステムとプログラム・藤田邦昭／高張力ハックボルト・塗料・パーライト説明会・千代田生命ホール／大阪航空ビル見学会／永富邸・醤油工場・姫路城見学会／東海道新幹線大阪電車基地見学と試乗／新阪急ホテル見学会 ■8月—＊兵庫県庁舎・相楽会館・神戸市埋立事業現場見学会／夏の会員懇親会・ゴールデンミカド／サツポロビール工場見学会／東洋工業大阪支社見学会 ■9月—＊近作を語る・薬袋公明／大阪府庁別館見学会／OWS地下工法見学会 ■10月—地震と超高層建築講演会・科学技術センター／新しい内外装材・混和剤・接着剤・塗料説明会・千代田生命ホール／＊建築と社会とのつながり・佐野正一／富国生命ビル見学会／大阪証券会館見学会／サントリー山崎工場見学会 ■11月—大阪市清掃局西淀工場見学会／建築と色彩講演会・千代田生命ホール／淡陶タイルとメンソンリイセメント工場見学会・1泊・淡路／＊建築計画の中の構造・高橋慶夫／国鉄新幹線新大阪駅見学会／奈良の訪ねるを茶室つどい ■12月—忘年懇親会・太閤園





＜＊は若い会員の集い＞

出版委員会

これからの『出版委員会』

出版委員長　田中良太郎

1. 結　　論

最近まで建築協会では「建築と社会の編輯刊行」と「見学会その他のいわゆる事業」を二大事業と考えられていた。本年からはそれに出版を加えて，編輯委員会・事業委員会・出版委員会を三大事業と考えてもらうように発展させることになった。陣容，予算，規模，構想を拡大しようというのである。もとより，外にある各種の委員会をさしおいて，勝手ないい分と思われるふし，なきにしもあらずであるが，これは本年度委員の心構え，あるいは抱負であるとお採り願いたい。スローガンは

「建築技術の進歩・発展に寄与するため，実務に重点をおいた建築技術図書を刊行する。企画に際しては会員を中心とした有益で廉価な図書，非営利を主旨とした図書を基本とする」

要は出版屋になり切っていままでより以上に有用な図書を積極的に沢山発行して，より多く，より有用な会員への奉仕をしようということである。それがうまくいくかどうかは，今後の活動によって批判されるのであるが，そのために従来よりはうんと多数のメンバーによって委員会を編成した。多忙の方々に，またまた奉仕的な加重をかけることをおそれるが，心よく引受けて下さった委員各位に感謝するとともに，協会としての使命感を一層痛感するものである。

結論から先に述べたが，出版委員会をこういう改組にまでもってきたことには，相当の理由といきさつがある。それを次に述べることにするが，決して私の弁解ではないことを了解していただけるものと思う。

2. いきさつ

運営審議会答申のこと

理事会の諮問機関として運営審議会が設けられたことはご承知のことと思う。私自身もその一員に加えられていろいろの問題についてまことに熱のこもった討論がつづけられ，過去から現在への反省・批判と将来への発展の方法について一応の答申書が提出された。この集りはそのため当分存続の必要ありとして企画委員会という名で活動している。その答申書の中で出版委員会に対して指摘されたことは

1. 従来からの出版委員会としての性格が曖昧であったから，この際出版のルールを確立する必要がある。
2. 従来の出版物については，その売行きがはなはだよいもの（実は講習会のテキスト）と悪いものとがある。図書出版という事業によって収入を図り，協会の経理にプラスすることを正道と考え，表面は赤字となっても有益な図書を出版することもまた協会の使命として考慮すべきことであるが，ケジメをはっきりさせたい。

要約するとそんなふうな答申であった。この二つは今後の出版委員会の運営の「方針」を定めるのに大へん参考になる。ただし出版事業は「ミズモノ」だから，計画と実施の結果についてはかならずしも一致しない場合があると私は思っている。また黒字にすることは読者数を考えてみると，またなかなかにむづかしいことである。会員以外にも売れる時代がくればまた別であるが，会員の職種や専門業務も多岐にわたっているし，年令も20才以下から61才以上まで変化が多いので万人向きのものはほとんど不可能である。売上部数が少なければ出版経費のうち紙代の占めるウエイトが少なくなるのは自明である。

しかし答申書中の会員の傾向分析をみると，本部正会員中35才以下が約60%，40才以下が68.6%を占めることまた建築に関する種々の団体があるが，本会のみに入会しているものが，全会員の約3分の2におよんでおり，とくに30才以下では75%に達していることは，読者層を想定する上にわれわれを勇気づけてくれるのである。

3. 建築技術の変遷のこと

日本建築協会も創立以来50年になろうとしている。その間，社会自身もいろいろと変わっていった。また建築の社会的立場，建築家の社会的役割もいちじるしく変遷している。それから建築の技術面においては，一般の技術あるいは工業の進歩とともに，否科学の進展につれて想像もつかないほどの自由さと複雑さを獲得することができた。したがってその結果，技術の専門分化は，建築の綜合性をますます困難ならしめている。

協会および会員の社会的使命も，それにつれて変遷しているにちがいない。会員の職種もいまでは「建築に関係のあるあらゆる職種」にまで拡大されている。またいろいろの学会や協会などが誕生して，それぞれの分野において活躍をしているが，そのことも「建築協会は如何にあるべきか」すなわち協会の使命を複雑にしている。簡単ではない。歴代の各会長および役員の諸先輩が，よく時代を洞察して今日の協会の隆盛を進めてこられたのであるが，科学の進歩の速度が次第に早くなっていくとき，ますます事業の使命が複雑になっていく。

議論をはし折るが，こういうときには，コミニュケーションの方法として図書がはなはだ重要な役目をなすことになる。しかも多くの市販の学術専門書から，自分の必要とする問題を明快に自己のものとすることが，なかなかむずかしい。この辺にもまた「協会の出版図書」の意義がありそうである。つまり「会員の望む図書」を知って，厚さも値段も手頃なものを出版して会員の手元にとどけること，である。

4. いまやっていることと，今後のお願い

出版という業務そのものを分割してそれぞれの委員に担当してもらうという案を最初考えていたが，数回にわたる検討の結果それをやめて，専門分野を構造・意匠計画・設備原論・施工の四つにわけ，各々を部会と称し，部会長と幹事にまとめ役をお願いすることにした。もちろん図書の内容によっては二つ以上の部会にわたる問題もあるであろうし，また各部会で立案された仕事の議決は，全委員で行なうことになっている。

各部会毎に，それぞれ二つ以上の企画を進めてもらっている。前年度からの継続計画も進んでいる。具体的には「建築と社会」に予告発表をしているから注意していていただけばわかるが，遅々とした進行状態なのでご迷惑をかけているようであるが，むしろ執筆者の責任感と熱の入れ方のためといえるので，ご寛容を乞う次第である。

最後に会員の皆さんにお願いしたい。初めて述べた通り，この出版委員会は出版屋であって，執筆者の集りではない。したがって，出版業務はわれわれがやるけれども，会員全員が積極的に出版事業に参加していただくことを切望する。出版に対するアドバイス，批判，その他どんな形でもよい，委員が好かれると思ってやっていることでも，多才な皆さんからみれば，いろいろと意見もあると思われる。素直な声が聞けたらと思う。

出版事業は最近どの学会や協会でも重要度が認識されて盛んになりつつあるようである。われわれもまた，安い出版物を速かに入手してもらうこと，しかしその内容は日本建築協会独特のものでありたい。実務の参考にしてもらう実例集，少し落着いて勉強してもらう技術書等々，抱負だけは大きい。

■部会別の出版企画図書・一覧表■

【設備原論部会】

部会長　田中良太郎
幹　事　富吉志乃武
委　員　江川好巳/清水寿栄次/前川純一

＜建築技術者のための設備関係図書3部作＞

■建築技術者のための 電気設備

編集委員長　羽馬栄夫
幹　事　清水寿栄次/鈴木俊男/渡辺信昭
川内正巳/鳴尾源蔵/藤井　肇

■建築技術者のための 給排水衛生設備

編集委員長　田中良太郎
幹　事　富吉志乃武/谷川丈夫/三村　胖
（以上二件は，編集作業に入り，5月頃刊行予定）

■建築技術者のための空気調和設備

編集委員長　前田敏男
幹　事　前川純一/三村胖
（原稿執筆依頼中）

■建物および設備の保全・改訂版

（第1版29年～第3版35年に刊行して好評を得ている。今回は 全面的な改訂とするため，研究を進めている）

× × ×

【意匠計画部会】

部会長　小林清
幹　事　木村喬夫/片山金市/長沢徹夫
委　員　池田有隣/市川　宏/樫原章雄/水谷勇/原桂一郎/武藤倫男

■木造建築のデテイル集

■コストに応じた建築のデテイル集

（以上二件は，デテイル集のシリーズ出版として企画する。内容の検討から――編集委員会設置へと進めたい）

■建築基準法および関係法規早見一覧表・追録

（31m を超える建築物の法令に関する項目を中心に原稿執筆中）

× × ×

【施工部会】

部会長　寺沢一夫
幹　事　池　保/大井弘治郎
委　員　天津　勇/竹内　孝/藤岡　駿/武藤藹吉

■建築基礎工法と実例

編集委員長　山肩邦夫
委　員　寺沢一夫/池　保/大井弘治郎/天津　勇/金子　稔
森　堅/吉中　清/多々見市蔵/前川　陽一/稲村数矢
（構造設計と施工との関連性を中心にした内容をねらっている）

■左官工法指針・改訂（1965年版）

（谷口尚武・山田幸一両執筆者に原稿を依頼した）

× × ×

【構造部会】

部会長　野中三郎
幹　事　前川陽一/森　堅
委　員　芦田弥直/乾　亮三/稲村数矢/岸本正介/力武利夫

■続・鉄骨構造計算と実例

（34年8月に刊行し，好評を博した“鉄骨構造計算と実例”の続編を新たに企画することになつた。編集委員長鷲尾健三氏）

■特殊構造実例集

（立体トラスなど特殊構造を対象に調査・研究に着手する）

住宅委員会

住宅委員会の分担		
住宅相談所小委員会	主査	黒谷俊一他6名
（住宅相談所設置の企画）		
小冊子発行小委員会	主査	野々村五四男他7名
（住宅に関するパンフレット発行の企画）		
見学会小委員会	主査	小林　清他4名
研修会小委員会	主査	竹内さく他4名
プレハブ小委員会	主査	沖田誠一他7名
総務小委員会	主査	福永　薫他4名



住宅委員会活動のあれこれ

住宅委員長　海上静一

△日本建築協会における住宅委員会の誕生は昭和4年度に始まったのであり今年で36年になりますが，この古い歴史をもった住宅委員会の活動もときの流れに応じた波と変化の記録を残しているのであります。この活動を記録の上から大きく分類し別表のように集計してみたのでありますが，振りかえってみたこれらの記録を参考として今後の委員会活動に資することができれば幸せであります。

△住宅委員会の目的とその活動については各年度の委員会によって実動しているのでありますが，活動に伴う経費の大小は明らかでありませんが，極めて地味な予算範囲であることは想定できるのであり，戦後の多難な住宅問題に対しては日本建築協会として，また住宅委員会としてこの問題に対する関心が低調であったことは認めざるをえないのであります。

△戦災国である，わが国の苦難な住宅問題は，国をあげてその解決を続けているのでありまして，ことに庶民住宅の建築を重点に処理されておりますが，住宅委員会活動も庶民住居の研究を基盤として，現実をとらえた歩みを進めることが急務でありまして，そのためには強い指導力と組織が要求されるのであります。

△今年度の住宅委員は33名にたっしておりまして，（総務）（小冊子発行）（研修）（見学）（住宅相談所）（プレハブ）などの小委員会にわかれており，総力による活潑な活動組織に組替えておりまして，各委員のスタミナと熱によって指導力を結集できるのであります。

△また，39年の6月には阪神デパートにおける（住宅よろず相談所）を主催いたしまして，8月には高島屋デパートの朝日新聞主催の（くらしの夢新しい住い展）住宅相談コーナー，10月には国際見本市会館の大阪建設業協会主催の（建設資材展）住宅相談コーナーにも招聘をうけて委員会全員による下積みの活動にも大きく協力していて，つとめてポピュラーな面にも活躍しているのであります。

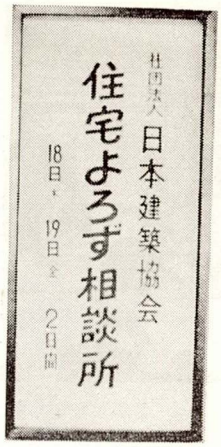
△（建築と社会）誌は数多い発刊の年度を重ねた古い歴史をもち，また誰にも知られた建築雑誌でありますが，協会員の機関誌としての使命のみに限定せず，建築と社会を結ぶ一般性を組入れてはという声があるときいています。許されるならば住居欄をくわえて，新しい時代にアピールできる内容のある市販性をもつ建築誌として発展できないものかとひそかにおもうのであります。



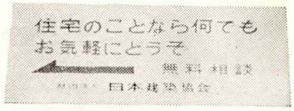
住宅委員会活動分類表

昭和4年～昭和39年

年度	委員数	委員会	摘　　要
昭和4年	9名	5	研究方針検討
5	19	14	4分科（平面，外観，構造，材料）（採光，通風，暖房，衛生）（設備，装飾）（実行の促進）
6	24	19	研究（暖房，放熱，曲線，消費，燃料，気象年報）
7	15	6	研究，「実用小住宅」発行，座談会
8	7	4	研究（防鼠，防湿）
9	6	不明	記録ナシ
10	12	8	研究（床，床下，通風）
11	7	7	研究（家相）文献蒐集　住居読本刊行協議
12	9	8	研究，見学，住居読本刊行協議
13	6	7	研究（住宅防護室）住居読本完成
14	6	不明	記録ナシ
15	7	6	研究（満州移民住宅）住宅2,600年史編纂協議
16	7	2	研究（応急住居）小委員会設置
17	6	6	研究（集合住宅基本案）
18	不明	6	研究（組立住宅試作）
19～23	〃	不明	
24	12	4	研究（住宅金庫設置運動，新工法育成，水準向上，改善）
25	9	3	研究（農村）
26	6	2	新聞掲載PR・事業企画協議
27	10	不明	防火に関する映画開催，住宅パンフレット発行
28	13	2	研究，住宅見学，住宅問題座談会
29	12	14	研究（住い方小委員会住い方文献インデックス作成，ローコスト住宅）
30	15	9	研究（資料インデックス作成）新聞発表の啓蒙企画
31	15	12	研究，カラースライド（家のできるまで）上田委員担当
32	13	9	研究，住宅資料の国際的蒐集と交換協議
33	16	8	研究，住宅のテレビ放送企画
34	12	10	研究，テレビ放送実施（テレビ委員会と協力）
35	16	7	研究，毎日放送テレビ実施（〃）住宅問題座談会
36	19	9	研究，住宅問題座談会住宅小冊子企画，毎日テレビ実施
37	15	13	研究（プレハブ住宅）創立45周年講演会座談会，見学会協力，ハウス，コンサルタントセンター企画，住宅設計コンクール実施
38	23	14	研究，見学（ホテル紅葉，日本プレスコン工場）（新住宅設計コンクール作品図集発行）
39	33	1月迄20回	研究（住宅）住宅よろず相談所開設，住宅相談コーナー招聘2回，見学会永富邸7階建アパート，小冊子発行企画，総務小冊子，研修，見学，住宅相談所，プレハブ6小グループ設定



昭和39年6月
18日，19日（2日間）
於　阪神百貨店　7階



住宅よろず相談所開設の成果

大都市を中心に，国鉄，私鉄沿線をとわず，放射状に都市は拡がり，工場や，倉庫，住宅がどんどん建てられて，住宅地域が遠くえおしやられ，アメーバーのように拡っていく。いまもコンクリートがねられ，木材がきざまれ，鉄骨が建ち，屋根が葺かれ，壁が塗られて大きい団地ができているかと思うと，木造の共同アパートや建売の長屋住宅，個人住宅と，色とりどりに，みた目に華やかに家は作られている。人間が住み，その中に家族の団ランが営まれる家が建ち，建てられつつある。

しかし，その反面，家を求め，安息の屋根の下えの渇望に目を血走せている人がゴマンといる。人はこれを政治の貧困という。過度の人口の都市集中で，農村から，村から，街から，大都会えと人が集まる。そして一番に必要とするものが，住むための家となる。

政府の長期住宅政策が発表されても，マスコミが住宅不足をとり上げても，家の需要は減らない，公団や公営住宅の入居募集に，申込者は年々増える一方である。

民間の建売住宅や，アパートが建てる尻から，アッという間に詰ってしまう，建てても建てても追っつかない家，家，家

とぼしい月給，僅かな手持資金で，何とか家をと求めている多くの人たち何処え，誰に相談してよいやら，悩める問題を抱えている人々に，何とか解決えの足掛りを作ってあげられるならば，建築に関係し天職とする，私達が腕をさし延べ，親身の相談に乗ってあげるべきではないか。

このような願いから住宅委員会では，住宅相談所を，日本建築協会本来の目的である，建築と社会との繋りをもつ意味においても意義があることでもあり，相談所開設を決定した。





しかしながら如何せん，先立つものは何とやらの譬え通り，とにかく最少限度の資金枠で最大の効果をあげることが大切，幸い相談員には住宅委員が当ってもらえれば，無料奉仕で，各分野それぞれのエキスパートの方がおられるので，分担して当ってもらうことにして，理事会での承認を得て，大急ぎで開設準備をすることになった。

さあ，相談所を開こうというので，まづ最初に決めねばならんことは，日程と場所の問題，協会としても初めての試みであり，一体何日位いがよかろうということで色々と意見が出たが，ともかく，2日間位いで反響をみて好評ならまた何遍でも開催したらよかろうということで最終的に2日間開催に定め，さて会場である。人が集り易い便利なところとなると，どっこい費用の問題があり中々見付からない。今回は北のターミナルがよかろうということで，阪神百貨店の一隅を借りることになった

日程と会場が定まったので，いよいよ準備万端ととのえることにして，宣伝だ，ターミナルデパートの一隅とはいえ，周知方法がまづければ人が集らない。P.R の時代である。ポスターを刷り，大阪市バスの車内吊り広告や，阪神電車と国鉄の駅に掲示広告を出した。また委員にはそれぞれ枚数を割当て，団地の集会所や，学校，町内の掲示板に貼って歩く，風呂屋や喫茶店、パーマネント屋さんえ依頼して貼ってもらったり，各新聞社え発表し記事にしてもらい，ラジオに2回にわたりながしてもらうなどした。

たった2日間の相談所開設に各委員方は大童の活躍が続く，その間にも各部会に別れて，たびたび打合の委員会が何遍となくひらかれ，資料を集めたり，会場のデスプレー等準備に忙しい日が続いた。

いよいよ，ときは昭和39年6月18日，会場準備も万端前日迄に整い，家に悩める人々の来場をまつばかりである。

しかし果して，あのポスターが幾人の人の目にとまっただろうか，流石に幕あけ前の一と時を担当者のそれぞれが心配してみたりしながら……

その心配も杞憂/ 午前10時のデパートの開店と同時に，相談員の各委員が到着するより早く，お客さんの方が早くどっと入場，受付係が転手古舞のうれしい悲鳴をあげる朝の状況となり，引続いてつぎからつぎえと相談者がつめかけて，どちらをむいても相談を目的にこられた人達で真剣な内容の質問に，お答する委員も熱をおびて，一と休みのお茶すら飲まず応答が続く，閉店の6時迄，つぎからつぎえと人の流れはきれず，昼食もゆっくりできなかった委員，2～3時間もねばられた相談員，家の図面を持参であれやこれやと相談されて，プランニングをさせられた委員等，うれしい悲鳴をあげながら，盛況裡に2日間の相談所の幕を閉じた。

ちなみに相談件数は，

第1日　250件　第2日　224件　計474件

その内訳は，次表のとおりである。

	第1部		第2部		第3部	
	公企業住宅及び電鉄会社等分譲住宅		自力建設の相談		維持・管理の相談	
イ	公営の賃貸住宅	69	設計及管理	56	保全	5
ロ	公営の分譲住宅	44	法規	6	増築	23
ハ	電鉄等の分譲住宅	60	構造及材料	31	改築	23
ニ	宅地分譲	40	建設費	21	模様替	6
ホ	公庫融資	59	工事及工事委託	6	台所設備の改善	6
ヘ	その他	5	立地条件	3	住まい方	0
ト			公祖公課	6	防災	1
チ			プレハブ住宅	63	設備一般	1
リ			その他	4	その他	8
計		277		196		73
				総計	546	

われわれ相談員として，家の悩みごとをきく立場になって，やはり一番大きく感じられたことは，家に困っている人が如何に多いかということをあらためて，ひしひしと感じさせられた。そして家を建てたい，少い資金で些かな家でもよい，何とか安く建てて住みたいと思っている人達があり，そして実際家を建築するに当って，相談に乗ってもらえる建築家なり，専門家が身近にない人が多い。安心して何でも相談してもらえる人をもとめている。この現実に対して，今回日本建築協会が住宅相談所を開催し，いろいろの問題に対して親切に回答をし悩める人達えの指針ともなり，建築を通じて広く社会に貢献し得たと確信している次第である。

最後に本相談所開催に当って，府，市，公庫，公団より後援を得て，係員を派遣していただいたこと，また協賛を得ました各社に対して誌上をかりて厚く御礼申上げます。

（山本　茂記）

教育委員会

教育委員会の事業概況報告

教育委員長　橋本忠保

■教育委員会の抱負

大都市のほとんどが焦土と化してから20年，日本がどん底の貧困を克服し，現在の復興をみていることはまことによろこばしい。大都市の中心街はめざましい速さで高層ビル化されつつあり，その近郊や地方都市にも鉄筋の建物が数多く目につくようになった。

国民全般の衣食と消費生活はすばらしく豊かになり，世界の先進国に比して一番遅れているといわれる住宅も除々に不燃化され，戸数と規模が年々増加しつつある。また，公害問題等生活環境についての問題点が，大きな社会問題として取上げられ活潑に論議されている。これらは著るしい経済成長と共に一歩一歩と高度の福祉社会建設へと脱皮しつつある日本の姿であろう。一方，経済成長率が世界第一といわれながらも，こと個人の生活水準は未だ後進国の域を出ないで，国民1人当りの所得450ドルは米国の20%にもたっせず世界の22位である。天然資源が非常に乏しく山嶽地域がおおく，そのうえ社会資本の蓄積の極めて貧弱な日本が世界のレベルにたっするには，より大きな努力と衆知を結集しなければならないと思う。日本の経済の弱さや所得水準の低さは，社会資本の蓄積の貧弱に起因しており，またそれに対する投資に追われているからでもある。高度の福祉国家建設——健康にして文化的な社会，各人にうるおいのある人生を約束する社会——はまだまだ遠いが，すべての人々の願望でもある。美しい健康的で能率的な市街，うるおいのある緑と光の住宅地，楽しく労働のできる安全で高能率な工場，何ごとも忘れて明日への英気を約束するレヂャーやスポーツ施設等々，全ては福祉社会へ条件であり，国の経済成長に見合って一歩一歩と理想に向って蓄積を計ることであろう。

以上のような社会資本の蓄積のため直接的な業務にたずさわる建築関係技術者の責務は，まことに重大である少ない予算を合理的に運用し，計画し，設計し，施工することは，社会に対する当然の義務であろう。

最近の建築技術はめざましい速さで多方面にわたって，計画面から施工面までのすべての分野が日々に，広く，深く，進歩し，発展し，躍動しつつある。

教育委員会は主として，若い技術者や，学生を対象に建築技術の不足をおぎない，有能な建築技術者を育成することによって，建築界と社会の発展に寄与せんとしている次第である。

□教育委員会の目的，組織など

目的　建築教育についての調査研究ならびに講座などの企画と実施を担当する。

組織　委員長（1名）副委員長（若干名）幹事(若干名)委員（若干名）を構成員とする。

事業　後述の事業概要のとおり

運営　（1）委員会は毎月定例日に開催する。
委員会では各小委員会の企画および事業の進捗状況の報告と意見の交換を行なう。
（2）事業に応じて担当の小委員会を設けて，企画・調査・研究を行う。

□事業の遂行に伴う小委員会の構成（39年度）

副委員長	岩下久哉	小西卿
①講習会関係	幹事	辛木貞夫
②工高生デザインコンクール	幹事	清水和弥
③工高生の施工教育	幹事	篠原太郎
④現場主任講習会	幹事	谷口尚武
⑤新しい事業	幹事	前川敬蔵

■各小委員会の事業概要

（1）講習会関係

（a）現場実務講習会

（目的）学校を卒業し新規に採用された建築技術者を対象とし，学校教育における一般知識の不足を補い，現場実務において直ちに役立つ実際的な知識を，各方面のそれぞれのエキスパートによる一連の系統的講習によって会得せしめんとするものである。これによって従来の長期間を要した経験的知識の習得期間を短縮し，かつこ



現場実務講習会会場風景

れを確実に把握せしめ，より有用な技術者と養成しようとするものである。

（実施）39年は，第10回，第11回の2回を，6月4日から11日まで，6月12日から19日の間に，おのおの42時間の長時間をかけて延 320名の受講生につぎの講習を実施した。　　会場：大阪科学技術センター

講義科目	講師（敬称略）
建築工事の着工から竣功までの業務総論（契約，支払などの事務手続を含む）	大阪府営繕課主幹　高津　啓二
労務管理と安全管理	鹿島建設(株)大阪支店総務部長代理　岸田　成計
仮設材料	政岡土地(株)社長　政岡　基次
現場に関する諸法規とその手続	大成建設(株)大阪支店作業所長　種村　恒夫
材料の検収とその管理	(株)鴻池組工事監督　近藤　史郎
工事機械と工器具類	(株)大林組大阪機械工場長　依田　潔
施工計画	大成建設(株)大阪支店作業所長　松岡　照夫
現場製図	(株)大林組工務部長　吉川　剛夫
地下工法	(株)竹中工務店技術部技術課長　近藤　幸雄
土工事，基礎工事，排水工事	(株)間組大阪支店建築課長　渡辺　勇
鉄筋コンリート工事	清水建設(株)大阪支店工事主任　安井　猛
積算，木工事，屋根工事，金属工事，雑工事	鹿島建設(株)大阪支店　技師長　岩下　久哉
石工事，タイル工事，ブロック工事	(株)藤木工務店工務部長　矢野　豊作
防水工事，左官工事，塗装工事	(株)銀高組建築課長　武藤　藹吉
設備工事	(株)竹中工務店設備部設備課長　玉田　健

（d）建築技術者のための設備講習会

一般的に建築関係技術者の欠点である，設備関係技術の向上を計るため，つぎのような講習会の企画をもっているが，いずれもテキストにする本の改訂または編集中で，出版され次第実施する予定である。

- 給排水衛生設備講習会
- 電気設備講習会
- 空気調和設備講習会

（c）設備技術者を対象とする建築講習会

設備関係技術を対象に，建築の概要とその設計，施工上の問題点を講習し技術力の向上をはかる予定である。これもテキスト内容について検討中であり，出版され次第実施する予定である。

（b）左官工事講習会

左官工事は，若い建築技術者が現場に従務したとき，最初に担当する業務であるが，一般に不得手とする技術である。本講習会は第1回を昭和31年に開催してより毎回盛況であった。39年は9月19日（延7時間）155名の受講生を集めつぎの講師により開催した。

左官工事総論　　山田幸一氏　（大阪市立大学助教授）
洋　　壁　　谷口尚武氏　（大林組技術部長）
日本壁・特殊工法　山田幸一氏　（前場）

40年2月に岡山，広島で講習会を開催する。ほかの支部所在地を中心に講習会も予定している。

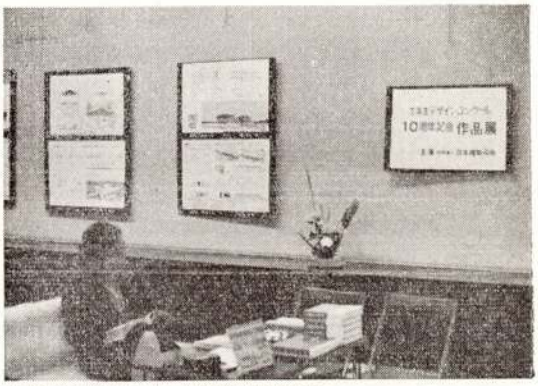
（2）工高生デザインコンクール

（目的）全国の工業高等学校建築科生徒の設計技能向上と奨励のため。

（実施）39年は第10回コンクールをつぎの要領で実施した。応募作品は年々数質ともに向上している。

課　題　　市民のためのスポーツハウス
設計要件　　敷地，建築面積，所要室および設備，構造および階数などを提示した。
所要図面　　平面，断面，立面，透視図，設計要旨
締切期日　　昭和39年9月20日
応　募　　108点 29校（全国の工高より応募あり）
審　査　　10月14日　渡辺委員長外8名の審査委員

※「詳細は，建築と社会40年1月号に掲載」



工高生デザインコンクール10周年記念作品展

■工高生デザインコンクール10周年記念作品展

本会が昭和30年第1回のコンクールを催してより，39年で第10回を数えることとなり，10年間に総数 900点におよび，入選作品は 100点になった。この度10周年を迎える機会に下記により作品展を開催して，工高生の建築設計製図技能を紹介するとともにコンクールの意義を深めた。尚会場の都合もあり，第1回～第5回の入選作品は，「工高生デザインコンクール入選作品図集」のパネル構成とし，第6回～第10回の入選作品50点の図面を展示した。

- 日　時　　11月19日～24日（6日間）
- 会　場　　丸善画廊（梅田・阪神百貨店2階）
- 来会者　　学生から老人まで層が厚く，女性も含め多数が観覧し盛況をきわめた。

（3）工高生の施工教育

工業高校建築科生徒の施工技能の向上をはかるため「昭和31年より毎年現場実習指導要領」を作成し，関係者に配布し夏期実習の効果を一層意義づけている。

（目的）建築の現場および工事現場の実態にふれさせ実際の業務または作業を体験させる。設計製図，材料，工法等の実際を理解させる。建築についての興味と関心をもたせ，今後の学習に刺戟をあたえる。

（指導担当者）現場主任または適当な人が専任

（指導の方法）体験を通じて教える。関連あることを教える。日誌を書かせ毎日点検する。等々

（教材の例）設計製図，材料，積算，構造，施工，測量設備

＊（詳細は，建築と社会39年7月号に掲載）

（4）現場主任講習会

本講習会は，38年度に採上げる予定であったが，39年にいたり谷口幹事のご尽力および担当委員のご協力をえて第1回を開催することになった。

（目的）工事現場を担当する主任技術者は，建築の成果を左右する重要な任務をもっているにもかかわらず，繁忙な日常業務に追われて広い視野から綜合的に体系ずけた思考をもとめる機会がほとんど与えられない。この点を補い組織管理の基本的な考え方や，最近の技術革新に対応する手法について講習し，現場主任の手による現場管理の合理化，近代化に資しようとするものである。

日時	講義科目	講師
第1日 8月21日	ミドル・マネージャとしての現場主任の任務ついて	竹中竜雄氏
	トップより現場主任に望む	竹中錦一氏
	現場管理の近代化について	小中真氏
	予算管理について	森口徹弥氏
第2日 8月22日	工程管理（PERTを含め）について	橋本良介氏
	工事設計者より現場主任に望む	塚本猛次氏
	安全管理について	大沢徳吾郎氏
	人事労務管理（H・Rを含め）について	中村謹吾氏
	監督官庁より現場主任に望む	恒岡俊行氏

（対象者）

1．建築現場の工事主任技術者またはこれに準ずる者。



現場主任講習会風景

2．建築現場の工事監理担当の技術者

3．現場管理部門の担当者

（会期）8月21日（金）22日（土）　＜1泊・2日間＞

毎日午前9時→午後5時

1日7時間×2日＝14時間講義

（会場）摩耶観光ホテル

（定員）30名（各社より1名に限定）

（受講料）12,000円（宿泊料・食事費を含む）

（5）新しい事業の企画

- パネルデイスカッション又はシンポジウム方式による講習会
- 二級建築士受験者をふくめた，実務に直結した製図講習会（長期にわたる実技教育）
- 中堅技術者の実務講習会

以上3件は，懸案事項として40年度開催を目途に担当小委員会を設けて企画を検討している。

おわりに

本会に教育委員会が設置されたのは，昭和初年であり毎年新しい事業と継続事業により，年々遅々ながらも充実をはかり，先に述べたような現況である。これは，全会員の深いご理解と，今までの会長や幹部の方々のご後援ならびに先輩各委員のご協力によるほか，当事業にご関係いただいた方々のご協力によるものでその労に対し深く感謝している。

教育委員会の活動は建築に関する基本的な問題から，社会事情の変遷にともなう諸問題まで極めて巾の広いもので，やらねばならないことが非常に多くある。しかし本務だけでも多忙な委員の諸氏が，事業の企画，調査，実施にいたるには，当人の大きな犠牲のほかに雇用者の深い理解が必要である。したがって新しい事業テーマが提案されてもそれが実施までには大変な業務をともなうものであり，委員諸氏のご努力にもかかわらず，会員諸氏の満足をえるに到らないことが多いものと思われる。

委員一同よりハッスルして建築の実務教育の面を通じて，建築技術の向上，発展につくしたいと念願しているので，ご叱声，ご鞭撻，ご指導の程をお願いします。



現場主任講習会での講師・聴講生

法規委員会

法規委員会

法規委員長　佐野正一

この委員会は建築法令の理解普及を出発点として，その整理改廃の建議および違反防止対策の樹立などを活動目標としているが，関与する法令は所管官庁の点でも規定している内容の点でも誠に複雑多岐であるばかりでなく，法令の適用を受ける側の反応も立場立場によって微妙な得失あるいは濃淡の相違をみせるのが常であって法規問題を取扱うことの困難さはここにひそんでいる。

そこでこの委員会では建築協会という各種各様の立場を含みながらも社会に対して一本化されている観点に立って，直接関与度の高い法令にしぼってその改正を検討し，また違反建築という具体的な社会悪を対象としてその防止策を練ることに重点を置いて進めてきたものである。

昭和39年度には法令中の基幹をなす建築基準法および建築士法の改正の機運がでてきたこともあって，先年来この委員会で継続審議されてきた建築基準法の根本的な改正要綱を別項のとおりとりまとめ，7月建設大臣宛の建議となったことは御承知の方も多いと思うが，一方の建築士法に対しても同様建築協会の観点に立って公正かつ独自の意志表示を行いたい方針で慎重に審議をすすめている段階にある。

委員会の今後には尚緊急に処理すべき案件が多い。処理はかならずしも容易でないが，多数のベテラン委員の議を通じて着実に解決をすすめてゆきたいと思う。協会会員諸氏の鞭撻を期待したい。

建築基準法改正に関する要望

建築基準法は，大正8年公布の市街地建築物法を基として昭和25年公布され，その後部分的修正を加えて今日に至ったものでありますが，今日の活発な建築活動に対しては全面励行の上で多くの困難と矛盾に直面している実情にあります。

思うに，建築活動は国民生活上の切実な欲求に根ざし個人生活から事業行為，社会生活のあらゆる面においてその向上をめざして広範且複雑に展開されております。しかるにその法的規制の基幹たるべき建築基準法は，規制と技術基準を併せ包含しているために法文は難解且羅列的であり，その後修正されたとはいえ却っていよいよ複雑化し，重点の欠けたものとなり，これを適用するにおいては，確認，検査の渋滞，不徹底の点が多いのみならず，違法不適格に対しては遡及して規制できないための矛盾もすくなくないなど，到底今日の社会情勢，技術の進歩に即応したものとはいい難く，はなはだ遺憾とするところであります。

これが打開については，単に建築基準法の改正にとどまらず，建築士法その他関連する諸法令の改正および関係官庁の職制の改正など，多岐にわたって対応しなければなりません。

本会としてはかねてから法規委員会を構成してこれら諸問題を考究してまいりましたが，当面急を要する建築基準法の全面的改正について別紙の改正要綱をとりまとめました。

つきましては充分御検討の上，早急の改正措置を講ぜられたく要望する次第であります。

建築基準法改正要綱

I　改正を要する問題点

（1）現行法では，建築計画の規制と建築物の敷地，構造，設備についての最低基準を定めるいわゆる単体規定を羅列し，前者については合理的な都市計画が確立されていることを前提として，市町村ならびに農地，消防等の関連行政の協力によって適用すべきであるにもかかわらず，不明確，不徹底な点が多い。後者については技術進歩の現実に合わない点が多いのみならず，ほかの法令との競合，矛盾もみられる。

（2）現在の行政職員だけでは法の完全励行は難かしく一方に建築士の制度があるのに活用されていない。

（3）不適格および違反についての処理が明確でなく，罰則についても不徹底に終っている。

（4）現行法の建蔽率，用途地域制，空地地域制，容積地域制を充分検討し，全国的に適用した場合の矛盾を解決したい。

II　改正要綱

（1）規定内容を三部に分割する。即ち，

A．地域・地区の指定，道路と敷地，道路と建築物等都市計画に関するもの，および建築物の集団に関する規制条項

土地利用計画の観点から街路，用途地域，容積地域，空地地域の指定ならびに建蔽率の指定を合理的に行ない，また都市開発，再開発の助成に関し

て積極的な方策を加える。

B. 学校，病院，集会場，百貨店，浴場，ホテル，共同住宅，事務所，工場，倉庫，車庫，貯蔵庫等不特定の公衆の使用に供される建物について，災害防止，公害防止の観点から敷地，構造，設備に対する規制条項
関係の他の諸法令，諸条令との矛盾，競合をさけて，すべてこの条項下に一本化して調整する。

C. 一般建築物の敷地，構造，設備についての最底基準を定めるいわゆる単体の規制条項，ならびに住宅について保健，安全の観点からの規制条項

（2）前項A・Bについては建築主事の認可制度，Cについては設計監理を担当する建築士の届出制度により運用するものとし，これによって建築行政の簡素化と建築士制度の改正活用をはかり，また地方の建築行政の自主的な充実を期待することができる。

（3）違反に対しては罰則を強化して，Bについては営業および使用の禁止，Cについては担当建築士の処罰ができるようにする。

（4）法文は平易なものに改め，必要により図解を加える。

なお本会においては，目下，本改正要綱に則し，問題点として下記の事項を検討中であります。ご参考までに添附いたします。

建築基準法の問題点

Ⅰ 全般的問題

（1）市街地建築物法から建築基準法による確認制度となったが，その主旨が建築主，設計者，施工者に正確に理解されていない。

（2）確認制度によって建築の計画を確認すれば十分であり，個々の建物についての実体規定は別に行なうべきである。

（3）規定内容が羅列的にすぎる。重点がなく，しかも今日の技術レベルに合わないものもある。

（4）不適格な過去の建物に遡及し得ないため，そのまま違反の実体が残存しているのは弱点である。

（5）違反の処理について明確でない。

（6）建築士，建設業との関連に乏しい。

（7）法が大都市，地方都市，郡部等の区分なく，全国一律適用で実情に添わない点がある。

（8）農地や消防行政に関して市町村の協力が得られるような体系になっていない。

（9）法の運用が機関委任事務であるのに，国が責任をもつ態勢ができていない。

（10）現在の行政職員だけでは法の遵守はむづかしい。

Ⅱ 都市計画的問題

（1）都市計画自体に矛盾があり，行政職員の信念が立ち難い。

（2）都市計画の施設，特に細街路の実施がなされず，法の適用が困難である。

（3）用途地域の実情は，雑種，混合的なところが多い。土地利用の見地から新たに考え直すべきである。

（4）建蔽率を用途地域にはめて一律にしたことは不自然が多い。
容積地域制や空地制などを含め整理する必要がある。

（5）私道行政は再検討した方がよい。

（6）公聴会制には弊害が多く，廃止した方がよい。

（7）建築協定制は改善する必要がある。

（8）建物の隣接規定を民法に依存しているのは，不徹底である。

（9）都市開発，再開発について助成方策を充分に織込むべきである。

（10）都市計画上からは，設計図書よりも建築計画が重大であり，これを行政官庁が指導することが肝要である。

Ⅲ 特殊建築物の問題

（1）特殊建築物の定義をはっきりさせ，これを防災，公害防止の観点から規制を強化すべきである。
必要によって防災計画書の作成を規定したらよい。

（2）建物の種類別に規定し，他の法令との競合や矛盾のないようにできるだけ一本化することが望ましい。

（3）違反に対する罰則を強化，必要な行政処分を明確にしたい。

Ⅳ 建築物の一般基準の問題

（1）建築物についての最低基準を定めることがよい。この場合，保安上の基準に重点を置くことが重要で，設計上の基準などは法で規定しない方がよい。

（2）住宅については，保健衛生上の観点から一般の建築物とは区分した方が実際的である。

（3）設備，工作物，現場仮設物等についても，保安上の規制が望ましい。

（4）遊戯施設は，建築基準法の対象外がよい。

（5）これらの基準の運用は，資格ある建築士に委任してよい。

編集委員会

編集委員会のこと

編集委員長　片　山　光　生

本会誌「建築と社会」は長い伝統と歴史を有する会員雑誌でありますので，その伝統と歴史を汚さないように歴代の編集委員会の編集方針のいいところを継承していくことが大切だと考えます。それと同時に，新機軸も織り込んでいきたいと考えています。

昭和39年度・40年度編集委員会の委員長として，そうした方針で，委員・幹事のご協力をえてやってまいりました。ただこの一年間，雑誌予算が従来の年度よりかなり厳しくなっておりますので，赤字対策には相当苦慮いたしました。頁数を相当きりつめなければならない状態にもなり，また「工事別建築材料集成」も頁数が当初予定の2倍となって，3分割にせざるをえないことになり，苦労しました。以下編集の方法などにつきご報告いたします。

編集の内容としては，大きく三つにわかれます。
1.作品作風　2.特集本文　3.シリーズものの三つです。

1.　作品作風：これは毎号数点づつ，とくに関西に建った新建築をとりあげるものです。

2.　特集本文：特集形式として毎号，適当なテーマをとりだして企画するものです。これは本誌の中心的特色をなすもので，学会誌の純理論的な論文に対して，もっと実際的な実例による価値ある論文をとりあげて，学術誌としても高度な水準を保ちたいと思っています。会員の層が多岐にわたるので，それぞれの層が，満足するような企画はなかなかできにくいのですが，住宅，設備，構造，施工，歴史，建材，設計，都市計画，青年建築家，等々の諸分野のなかから今日的な問題の焦点をひきだしていきたいと思っています。昭和39年度編集委員会がとりだした特集テーマはつぎのとおりです。

8月号：宅地開発特集
9月号：オリンピック競技施設特集
10月号：交通施設特集
11月号：工事別建築材料集成（上）
12月号：工事別建築材料集成（中）
1月号：尾崎久助特集
2月号：委員会特集
3月号：工事別建築材料集成（下）予定
4月号：内部空間特集予定
5月号：人間工学特集予定
6月号：社会開発特集予定

なお，この特集の企画については，編集幹事会で企画原案をつくるわけですが，担当幹事には，編集委員のほかに，委員以外の方に特別幹事として企画に参加してもらう場合もあります。

3.　シリーズもの：現行のシリーズものには，つぎのものがあります。「建築の眼」「技術の頁」「職人シリーズ」「近代建築調査委員会報告」

「建築の眼」は昭和29年12月より始めたもので，10年以上の歴史をもちます。「技術の頁」は（以前にもこの形式のものがあった）今回2月号で第30回になりますが，設備原論，施工，構造，材料などの技術的な問題点で，専門の人にはわかりきったことでも，他の分野の人々が知っておいてよいと思う事柄について紹介しています。「職人シリーズ」は第26回目になりますが，その道に生きてきた職人さんの人となりの紹介を通じて古い職種の技術の記録をいまのうちにしておこうということで始めたものです。3月号で一応うちきり，その後は「新しい技能工シリーズ」といったようなものをとりあげる予定です。また何か会員の皆さん方のお役に立つようなものを考えようと思っています。

「近代建築調査委員会報告」は，協会の特別委員会として設けられた近代建築調査委員会（委員長：滝沢真弓）でまとめられたものです。昭和35年1月号から始められたもので，今回の第62回をもって終ることになりました。

「職人シリーズ」「技術の頁」の企画にはそれぞれ小委員会でやっています。

そのほか「会員の頁」欄，「建材のしおり」「人と建築：若い会員の集い紙上ダイジェスト」「スケッチブック」等々があり，協会の事業報告として毎号「会報」をのせています。「会告」も協会の諸事業の企画の発表の場です。

表紙デザインについては，表紙デザイン小委員会とグラフィックデザイナーとの協同でデザインをしています。

なお，昭和39年中の総目録は，昭和39年12月号に収録してあります。

・技術の頁小委員（○印特別小委員）
　金谷英一・宮脇　毅・岸谷篤嵩・斉藤　昇・○日置興一郎
・職人シリーズ小委員
　長谷川哲之助・籔内幸雄
・作品作風小委員
　牧原敬典・伊東哲郎・深谷浩一・鈴木洋也・広瀬二郎・鈴木幹司
・表紙デザイン小委員（○印グラフイツク　デザイナー）
　西尾信広・好川忠延・高田　威（この4月号より深谷浩一）・○菅谷　淳

建材委員会

建材委員会について

建材委員長　岡本　弘

建材委員会の歴史は，大正10年に初代の会長片岡安氏が自ら委員長となって陣頭指揮されて以来のものでありその概略は本誌の昭和38年6月号に述べられたところである。終戦後，いろいろな新建材が誕生して，玉石混淆し，関係者はその選択に迷った。これらの事態に鑑み，昭和24年に「建材審査委員会」を設けて関係者の申請により審査して優良な建築材料を推奨することによって，いかがわしい建材の排除や改善への協力に当ってきた。

時代も移り粗悪な建材も漸次姿をひそめ，かつ「審査」を行なうことの困難性がますます増加してきたので「優良証明書」を「優良認定書」に変更して，委員会も「建材委員会」と改めた。しかしながらこの「優良認定書」発行も昭和35年で打切り，委員会は「建材に関する技術上の相談に応ずる」との追加規程によって「一般建材の改良進歩のために，コンサルタント的に検討などをして斯界の向上発達をはかることに努める」こととした。爾来この方針ですでに委員会の発意として「衛生陶器」「建築金物」をとりあげ，その結果は，昭和38年6月号に記述した。

これらは委員会側からメーカーに呼びかけて問題としてとりあげたところで，逆にメーカー側から問題をもちこむ場合もある。

問題の検討に当っては，メーカー，使用者なども委員会に出席して，相互活潑な意見の開陳，希望の提案，批判，反省などを行なって進めている。建材の改良あるいは新型の作製などについても，従来は使用者側の意途を汲んでのものもあろうが，メーカー側が主動であり，一般的には「こんなものだ」「これしかない」的の考え方で，不便あるいは不具合をかこちながら，一般は案外漫然と過ごしてきたともいえよう。この点を反省して，使用者側として，施工上はたまた使用上の現実の事柄から始めて，心付いた事柄を提案あるいは批判して，メーカー側としての考え方，改良の能否，使用者への希望などをきくなどの方法によつて検討を進めている。以上の方針によって従来行なったものに対しては，あまり表面化しないかとも思われるが，かなりの成果をあげ得たと信ずる。

すでに記した「衛生陶器」「建築金物」については，報告したが，引続いて「鋼製足場」について検討し，一応の結果を得ているが，いずれまとまれば誌上に報告したく，現在は「プレハブ住宅」について引続き検討中であることを報告する。

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・
耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工
株式会社 奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町六〇番地
電話北(34)四一三一～四

杭
株式会社 武智工務所
取締役会長　福留並喜
大阪市東区瓦町3ノ11(井心筋)旭洋ビル3階
電話 (202) 3233・3234



●特許吹付タイル・内装・外装用化粧材
セラスキン
●建造物の外壁面に!!陶器の壁紙
セラクロス
山本窯業化工株式会社
大阪市東淀川区西淡路町3－176　TEL (322)4851～4
東京出張所・東京都中野区朝日ケ丘12　TEL (362) 8667
瀬戸工場・愛知県瀬戸市大字山口字南山138



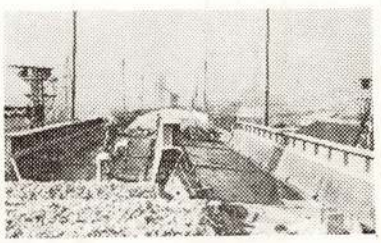
超高層建築にも使われた完全防水材（ブチルゴムシート）

三ツ星ベルト株式会社の

ネオルーフィング

三ツ星ベルト

本社／神戸市長田区浜添通り４丁目
ＴＥＬ(67)5071(大代表)
支店／東京・神戸・名古屋・福岡・
大阪・札幌



東海道新幹線の橋梁防水工事。
その他長軀軽量建築、変形建築の屋上、厨房室、地下室、プール、トンネル、貯蔵庫等の防水にその威力を発揮しています。

●三ツ星ベルトの技術陣が独創開発。伸縮性、耐キレツ性、耐候性、耐薬品性にすぐれ、いままで難問題だった完全防水処理もこれで解決。
●北海道立寒地建築研究所において材質のご検討ずみ。
●お問合わせは本社・支店へ。

近代建築調査委員会報告
—解散の辞を兼ねて—

近代建築調査委員長
滝沢真弓

本委員会が始めて会誌にまみえたのは，昭和35年（1960）1月号であった。すでに四ヵ年余を経過したわけである。その間における成果は順次各月の会誌に発表してきたところであり，委員会の仕事も要するにこの一事につきるのであるから，いまさら報告として云々するにはおよばぬわけであるが，あえてここに若干の蛇足を加えたい。

委員会の発端は，おもて向きには頭書のとおりだが，実際の仕事はそれ以前において政岡君の発案から出発した。また調査に当っては委員のみならず，ひろく諸方面の協力と助言を求めてきた。また委員としてもとくに尽力してくれたのは，近藤・林野・坂本の三君である。ここにあらためて謝意を表する次第である。なお，委員の発表したものの中には後に重要文化財に指定されたものもあり，発表それ自身としても，昭和36年2月号の「居留地建築特集」の如きはすでに斯界稀有のドキュメントとして珍重されている。本委員会の仕事もようやく斯界のみとめるところとなったことは外部の情報ないし記録によっても知ることができる。が，いわゆる汐時ということがある：本委員会はこの報告を以て解散の辞とすることにした。

委員会は解散することにしたが，委員の間にはまだ相当の資料が保留されている。他日あらためてそれらが日の目をみる機会の与えられることを念願してやまない。大方のご眷顧を希う次第である。

ここに，いわば総決算の意味で，成果の総目録を添付することとした——これは近藤委員の手によったものである。

近代建築調査委員会発表建造物·件名目録

はしがき

1. この目録は過去5年間に発表した建造物と件名の略目録である。
2. 配列の順は建造物名（件名）·所在地略称·竣工年月·発表年月（西暦）とした。竣工年月は大または慶の字をつけたものは大正，慶応，字のないのはすべて明治年間で月の不明なものは年だけとしたが，大体を示すに止まるものもある。（ ）内は西暦である。
3. 現存しない建造物は左端に *印をつけた。最近消滅したものはこの限りでない。
4. 発表した建造物全部を網羅し得ないので適当に扱った。

（近藤記）

あ　行

建造物名または件名	所在地略称	竣工時期	発表年月
朝日新聞社大阪本社	大阪市北区中ノ島	大5.10(1916)	64. 1
異人館（鹿児島市）	鹿児島市吉野町磯	慶3. 3(1867)	61. 1
江崎灯台（淡路島）	淡路島	4. 4(1871)	64.10
*大阪駅（国鉄）駅舎…初代	大阪市梅田	7. 5(1874)	60. 6
*　〃　〃…二代	〃	34.7(1901)	60. 6
大阪帝国座	大阪市東区北浜	43.2(1910)	62. 8
大阪府立図書館	大阪市北区中ノ島	37.1(1904)	60. 9
尾山神社神門	金沢市	8.11(1875)	62. 9
オリエンタル·ホテル	神戸市海岸通	40　(1907)	61. 5

か　行

建造物名または件名	所在地略称	竣工時期	発表年月
柏原高校記念館	兵庫県柏原市	30. 2(1897)	64. 5
階段（細部）			64.12
鹿児島刑務所	鹿児島市永吉町	40. 3(1907)以後	64. 6
金沢大学理学部本館（旧四高）	金沢市	23.4(1890)頃	63. 2
*川口（大阪）居留地の各建築			61. 2 特集号
河原町カトリック教会堂	京都市河原町通三条	23. 5(1897)	63. 5
*京都銀行旧本店（旧高島屋本店）	京都市烏丸通高辻	45. 5(1912)	60. 7
京都国立博物館	京都市東大路七条	28.10(1895)	61. 7
*京都市の明治初期小学校（柳池·有済·梅逕校）	京都市内	11～12(1878～9)	62.11

建造物名または件名	所在地略称	竣工時期	発表年月
京都中京郵便局本館	京都市三条通烏丸東	35. 8(1902)	63.11
京都ハリストス正教会	京都市堺町通二条下	36. 5(1903)	61.11
京都府庁庁舎	京都市堀川丸太町	37.12(1904)	63. 5
京都府立医大附属病院本館	京都市河原町広小路	大3.11(1914)	63. 9
熊本大学法文学部本館（旧五高）	熊本市	22.8(1889)頃	63. 2
毛馬閘門・洗堰	大阪市	40. 8(1907)	62.12
興雲閣	松江市松江城内	36. 9(1903)	64. 9
江商神戸支店	神戸市生田区浪花町	11 (1878)頃	60. 5
神戸居留地の各建築			61. 2 特集号
神戸市役所旧庁舎	神戸市生田区橘通	42.12(1909)	62.10
神戸地方裁判所	神戸市生田区橘通	37. 3(1904)	62. 3
* 高楼(明治の)建築【眺望閣・通天閣・今宮商業クラブ等】	大阪旧市内	21～45	61.12
小屋組（細部）			65. 2
コンドル博士関係図面（京大蔵）	(京大建築学教室)		62.4,5

さ　行

建造物名または件名	所在地略称	竣工時期	発表年月
佐賀県の明治建築【有田異人館・鹿島市役所・佐賀行政検査局舎・佐賀銀行鹿島支店・有田商工会議所】			64. 7
三十四国立銀行	大阪市高麗橋	31.11(1898)	63. 7
荘内文化会館（旧鶴岡警察署）	鶴岡市	17 (1884)頃	64. 3
白石公民館	宮城県白石市	15 (1882)	64. 2
仁風閣（鳥取県立科学博物館）	鳥取市久松公園	40. 5(1907)	64. 9
製鉄化学株式会社(旧日本貯金銀行本店)	大阪市東区淡路町	35. 1(1902)	62. 2
聖ヘンリコ聖堂	神戸市下山手	43. 9(1910)	63. 8
聖ヨハネ教会	犬山市明治村	40. 5(1907)	62. 8
泉布観	大阪市北区川崎町	4. 2(1871)	60. 1

た　行

建造物名または件名	所在地略称	竣工時期	発表年月
第一銀行京都支店	京都市烏丸通三条下	35. 4(1902)	60.11
*高島屋旧本店（旧京都銀行本店）	京都市烏丸通高辻下	45. 5(1912)	60. 7
辰馬力氏本宅	西宮市浜町	20 (1887)頃	63. 1
手摺（細部）			65. 1
天鏡閣	福島県耶麻郡猪苗代町	41. 8(1908)	64. 2
天井（細部）			65. 1
同志社の明治建築【彰栄館・礼拝堂・有終館・ハリス理化学館・神学館】	京都市烏丸今出川	17～25 (1884～92)	60.10
同和火災海上保険株式会社名古屋支店	名古屋市中区広小路通	大3. 3(1914)	60.12
友ケ島灯台	和歌山県	5. 6(1872)	64.10

な　行

建造物名または件名	所在地略称	竣工時期	発表年月
長浜駅(国鉄) 旧駅舎	長浜市国鉄長浜駅構内	15 (1882)頃	63. 4
奈良県庁庁舎	奈良市登大路町	28.12(1895)	61. 9
奈良国立博物館本館	奈良公園	27.12(1894)	60. 4
奈良国立文化財研究所本館	奈良公園	35. 3(1902)	61. 9
奈良ホテル		42.10(1910)	61. 9
新島襄旧邸	京都市寺町通丸太町上	11. 9(1878)	61. 3
二条駅（国鉄）駅舎	京都市千本通二条	37.6(1904)頃	64. 8
日本銀行大阪支店	大阪市北区中ノ島	36. 1(1903)	61. 6
*日本生命保険相互会社旧館	大阪市北区	35. 3(1902)	60. 2

は　行

建造物名または件名	所在地略称	竣工時期	発表年月
柏陵会館	兵庫県柏原市	19 (1886)	64. 5
柱（細部）			64.12
*八角議事堂（初代兵庫県会議事堂）	神戸市生田区下山手通	15. 4(1882)	60. 8
兵庫県庁旧庁舎	神戸市生田区下山手通	35. 5(1902)	61.10
*福島駅旧駅舎(国鉄)	福島市	36. 2(1903)	64. 8
富士銀行大阪支店	大阪市	34. 7(1901)	62. 2
宝山寺客殿(獅子閣)	奈良県生駒郡生駒町	15.11(1882)	60. 3
本願寺兵庫別院	神戸市生田区山本通	8 (1876)頃	63.10

ま　行

建造物名または件名	所在地略称	竣工時期	発表年月
三重県庁庁舎	犬山市明治村（移築予定）	12. 8(1879)	61. 4
三菱（運輸）倉庫	大阪市梅田駅構内	16.11 (1883)頃	60. 6
三菱銀行大阪支店	大阪市東区北浜	43.12(1910)	61. 8
三菱銀行神戸西支店	神戸市生田区相生町	32.10(1899)	61. 8
武藤山治氏旧邸	神戸市垂水区舞子	40. 6(1907)	62. 6
明治生命保険相互会社大阪総局	大阪市東区道修町	32. 6(1889)	63. 3

や　行

建造物名または件名	所在地略称	竣工時期	発表年月
*山形刑務所旧事務所	山形市八幡石	18 (1885)	64. 6
山形県田川地方事務所庁舎	鶴岡市	13.10(1880)	64. 3
山形市立病院済生館	山形市七日町	11. 9(1878)	64. 4

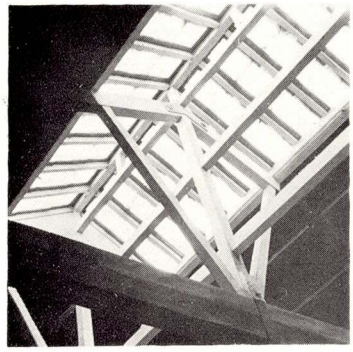
ら　行

建造物名または件名	所在地略称	竣工時期	発表年月
柳原学校旧校舎	滋賀県高島郡新旭町	8.12(1875)頃	63.12
竜谷大学本部の諸建築	京都市七条通大宮	12. 5(1879)	62. 1

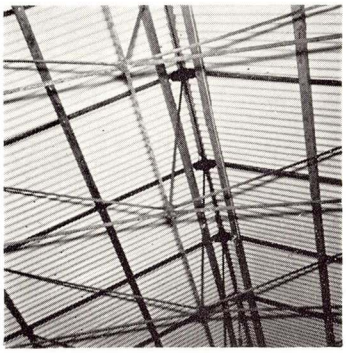
わ　行

建造物名または件名	所在地略称	竣工時期	発表年月
和田岬灯台	神戸市	5. 8(1872)	64.10

細部特集　6. 小屋組・窓，扉金具



55. 集古集成館
鹿児島市，幕末頃，重文（林野）



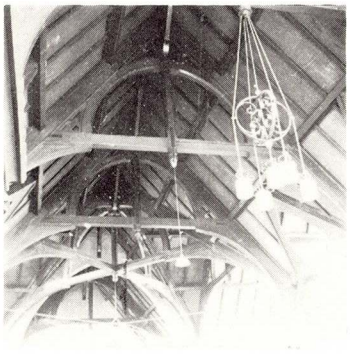
56. 小菅捲上機小屋
長崎市，元年（1868）
最古の鉄骨小屋組（林野）



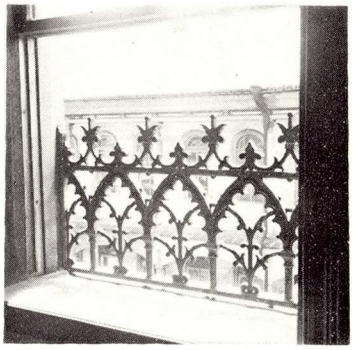
57. 三重県庁庁舎
犬山市（移築），12年（1879）
洋小屋部分は18年



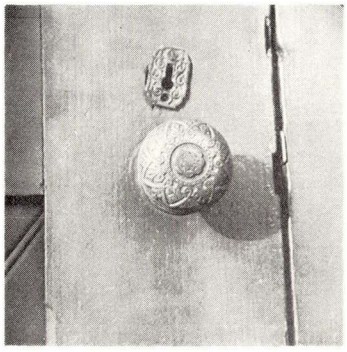
58. 同志社理化学館
京都市，23年（1890）
ハンセル設計



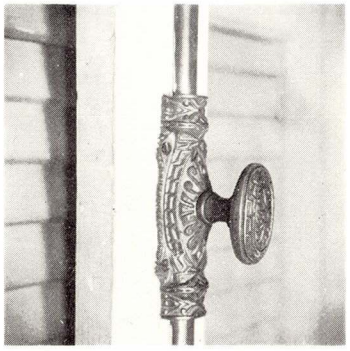
59. 旧聖ヨハネ教会
犬山市（移築），39年（1906）
ガーデナー設計



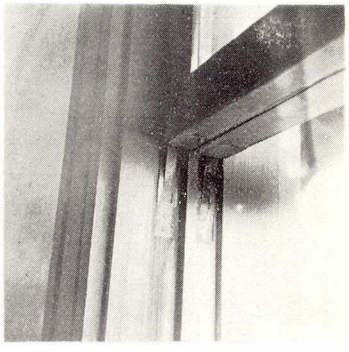
60. 竜谷大学本部本館
京都市，12年（1879），重文



61. 同志社礼拝堂
京都市，19年（1890）
伝グリーン設計，重文

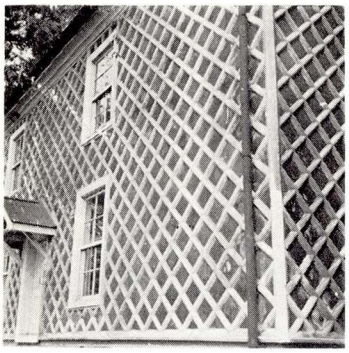


62. 旧ハンター邸
神戸市，明治後期
移築修理完了



63. 旧近江八幡東小学校
近江八幡市，10年（1877）
棟梁　高木某

細部特集　7. 壁隅の手法・扉・切妻



64. 三田演説館（慶応義塾）
東京都，8年（1875）



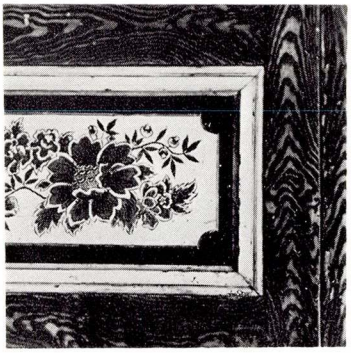
65. 柏原高校柏陵会館
兵庫県柏原市，18年（1889）



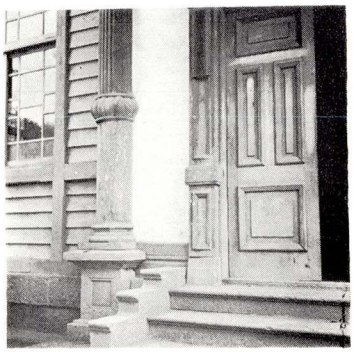
66. 近江八幡警察署安土派出所
滋賀県，19年（1890）



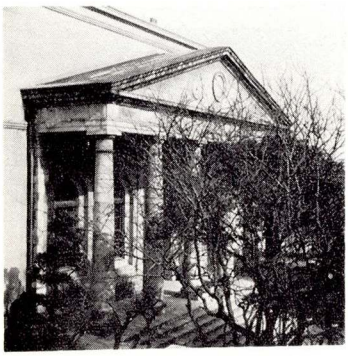
67. 成徳小学校旧校舎
倉吉市，20年（1891）



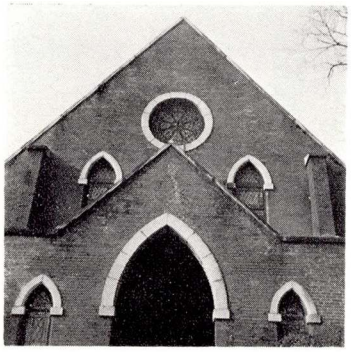
68. 開智学校本館
松本市，8年（1875）
棟梁　立石清重，重文（滝沢）



69. 柏原高校教室
兵庫県柏原市，20年（1891）



70. 桜宮公会堂玄関
大阪市，3年（1870）
ウオトルス設計，
旧造幣寮鋳造場玄関（重文）



71. 同志社礼拝堂
京都市，19年（1890）
伝グリーン設計，重文



72. 旧東山高校本館
京都市，42年（1909）頃
現存せず

ABCの建材

アメリカ・アームストロングマーク社の

アームストロングタイル

三次元模様の

テッセラ・コーロン（ビニール・シート）

2.29mm×182cm×21m

斬新なデザイン・耐久性に優れた

アスファルト・タイル　（厚 3.2mm）

エクセロン・タイル　（厚1.59mm）

クラシックなフンイキは

テラゾー・コーロン（ビニール・シート）

1.6㎜×182cm×28m

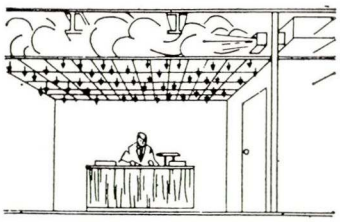
"ベンチ・レーティング"の登場!!

ダクト網と放散器のいらない

画期的な吸音板

不燃防水性鉱物質繊維の

経済的な吸音板



ABCコーキング

凡ゆる間隙から

永久に漏水の心配を根絶

永久に気密を保持する

コーキング剤

台座非収縮機

機械台座非収縮機

……ノンシュリンク

コンクリート

モルタルの接着剤

……クリートボンド

カラクリート

美しい床をあなたに！

床・階段・廊下に

ロビー・ガソリンスタンドに

どこにでも使える

カラクリート

耐磨耗性

耐水・耐潤性に富む

フェロコン

フエロコンは工場の

倉庫の床に

鋼板を張ったような

効果をあげます

繁栄する会社の良き伴侶

K·K ABC商会

東京都千代田区永田町2～77

TEL（581）1411（代表）～7

大阪出張所

大阪市西区京町堀1～18（京町会館ビル）

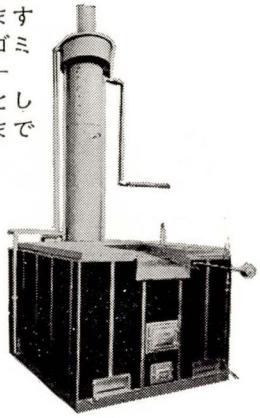
TEL（443）0731（代）

塵芥炉 Inciner

ゴミのない
美しい生活

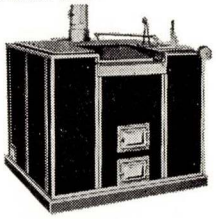
■日本人は、世界で一番衛生的な国民といわれますが、ゴミ処理に関してはまだまだです。家庭のゴミ街のゴミの完全処理はインシナーの塵芥炉から—インシナー工業は塵芥炉の総合トップメーカーとして、優秀な性能をもつ製品をご家庭から大工場まではば広くご利用願っております。

〈アフターサービス完全実施〉



TYPE HW
塵芥ボイラー

■ゴミでお湯を沸かす
塵芥焼却の熱を利用してお湯をわかし、浴場、シャワー、手洗に、給湯できる経済型。温水ボイラーの1年分の燃料費でHW型が設置できます。しかも、水で熱を吸収しますので炉の生命はぐんとのびます
●工場／事務所／倉庫

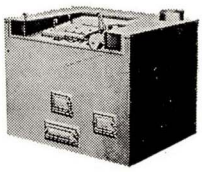


TYPE C
定置式

■多量のゴミ処理に
大型の機構をもち比較的多量のゴミ処理に適しています。空気利用貯芥籠・放熱板に独自のアイデアをとり入れた本格的塵芥炉の決定版。さらに大量の焼却には多基連結使用ができます。
●工場／病院／学校／ホテル

TYPE E
ポータブル

■コンパクトな小型炉
ゴミ箱程度のスペースで設置できるキャビネット・タイプ。湿度の高いゴミも完全焼却できる高性能をもっています。完全密閉式で火災の心配もなく。広い構内では本炉の分散設置が便利です。
●大工場の分散設置／アパート
中小事業所／食品店



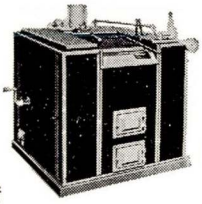
TYPE F
超小型
ポータブル

■スマートなデザイン
0.6(間口)×0.6(奥行)×1(高さ)の小型ながら、空気が外側を流れ炉の中心で燃えて熱のムダがまったくない高性能炉。しかも、外部へ熱の放散がなく、焼却炉とは思えない美しい外観は設置場所を選びません。
●小規模事業所／一般家庭



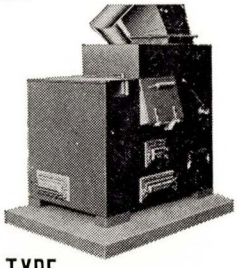
TYPE D
液状汚物
塵芥兼用

■液状汚物も同時焼却
C型と同じ機能によってゴミを燃却すると同時に、その熱で炉の中の液状汚物を完全処理します。そのための燃料費は不要。しかも、残物処理はハンドル操作なので衛生的です。
●伝染病棟／結核病棟／医学研究所



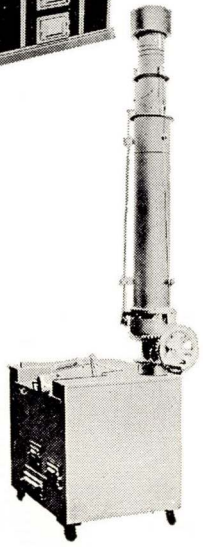
TYPE S
ダストシュート
直結型

■衛生的で絶対安全
構造・機能はE型と同じですが、近代高層建築などのダストシュートに直結できます。従って、目にも、手にもふれず、安全で、しかもハンドルのワンタッチだけ。画期的な設計でシュートへの引火の心配はまったくなくなりました。
●近代建築／高層建築



TYPE ES
スライド
チムニー式

■移動格納が自由
煙突の伸縮が自由で車輪付。固定した設置場所がない場合など、お好みの場所に移動させ、煙突を伸ばして焼却できます。焼却機能はE型と同じ。
●商店／小工場／事業所



〈代理店募集中〉

■ゴミ処理のコンサルタント

ゴミ処理相談
コーナー開設
312—7481

インシナー工業株式会社

大阪市北区牛丸町55　東洋ビル　電話(312)4571
本　社　東京都品川区北品川2～134　電話(491)3860(代)
名古屋営業所　名古屋市昭和区恵方町2～8　電話(84)5874
福岡営業所　福岡市春吉3丁目　春野ビル　電話(76)1880

地下鉄の温湿度測定について

大阪市交通局技術部　赤 松 義 夫

1. 温湿度測定の目的

地下鉄の空気温湿度は，建設当初は地中条件により快適であるが，電車運転をつづけるにつれて上昇する。これは電車運転電力の熱への変換と，電気照明などの付帯設備電力や乗客による熱量が加わって生ずる発生熱量が，隧道構築に蓄積されるからである。建設当初は周壁や柱などの構築の温度が低いため，発生熱量は換気により地上に排出される以外に，これらの構築に多量に伝達吸収されるが，構築の温度が上がるにつれてこの伝達熱量は減少し，空気温度は上昇する。構築の温度上昇を防ぐもっとも経済的な方法は，大量の換気を行なうことである。[1)]

したがって，地下鉄の温湿度上昇を防ぐ方法は，換気を充分行なう以外にないことがわかる。と同時に，発生熱量が換気によってどれだけ除出されており，構築にどれだけ吸収されているかをはあくして，温湿度上昇を未然に防ぐ必要がある。また，1号線の梅田——天王寺間のように温度がいちじるしく上昇してしまっている部分については，今後さらに温湿度上昇することを防ぐばかりでなく，積極的に涼しくなるようにはからなければならないが，そのなりゆきも充分はあくして対処しなければならない。

以上のように将来を見通すための現状はあくの目的で隧道内の空気温湿度を測定し，その結果を解析するのである。解析方法はつぎの2つの方法をとる。

（1）空気温湿度測定による解析

地下隧道を停留場と駅間隧道部に細分してその区分の空気温湿度を測定し，同時に換気量を測定して，外気条件をいれて換気による除熱量を求める方法である。発生熱量から換気除熱量と空気エンタルピ変化量を引いたものが，構築の吸熱量としてでてくる。

温湿度はアスマン温度計により，区分空気中の定められた測定点の乾湿球温度を毎時測定して一昼夜の記録をとる。各時刻の各測定点の測定値の平均をその時刻の空気平均温湿度とする。換気量は空気出入口断面の平均風速をサーミスタで測定し，断面積を乗じて求める。

（2）壁体温度測定による解析

前項の区分について，壁体に熱電対を埋込み，熱起電力を読んで壁面と壁中の温度を知るとともに，壁面からの入熱を解析計算する。各測定点について毎時測定値を記録し，36時間連続してそのなかから適当な一昼夜サイクルをとって解析する。つぎに解析方法を述べる。

2. 空気温湿度測定による熱量解析方法

一昼夜を24時間帯にわけ，各時間帯の熱量の平衡式をかくとつぎのようになる。[2)]

$$3600\,Q_{sr}-H_{vr}-3600\,q_{sr}=\frac{V}{v_a}(i_r-i_{r-1}) \qquad (1)$$

Q_{sr}，q_{sr}：r時間帯の発生熱量と吸熱量 Kcal/s

H_{vr}：r時間帯の換気による除熱量 Kcal/h

i_r，i_{r-1}：r時間帯末期と初期の空気エンタルピ Kcal/kg

V，v_a：区分空気の容積と平均比容積 m^3，m^3/kg

換気による除熱量 H_{vr} は，微少時間における熱量平衡式を解いて，次式が得られる。[2)]

$$H_{vr}=3600\frac{v_s}{v_a}(i_r-i'_r)-\frac{{}^{1}V}{v_a}(i_r-i_{r-1}) \qquad (2)$$

v_s：毎秒換気量　　m^3/s

i'_r：r時間帯平均外気エンタルピ　Kcal/kg

換気量測定で v_s を知り，乾湿球温度測定で i_r，i_{r-1} および v_a を得，気象台の観測結果から i'_r を知れば，V は既知であるから，（2）式より各時間帯別換気除熱量が求まる。

各時間帯別の発生熱量 $3600\,Q_r$ は，列車ダイヤから車両延べ帯在時分（car—sec）を求め，一日の運転電力消費量記録から帯在時分比に按分して計算し，これに付帯電力によるものと，毎年実施の乗客量調査結果から求めた乗客発生熱量を加えて求める。（1）式から q_{sr} が求められる。

構築の吸熱には，側壁，床のように半無限固体の非定常熱伝達によるものと，中階のある天じょうのように平板の非定常熱伝達によるもの，さらに柱，ホームなどのように大部分が蓄熱になるものとの3種があり，q_{sr} はこれらすべての合計したもので細別はでてこない。

3. 壁体温度測定による熱量解析方法

q_{sr} の細別を求めるためには，構築の各部分について表面と内部の温度を測定して解析する。

半無限固体部分の壁体について，表面温度を一昼夜につき毎時測定した結果を Fourier 級数に展開して示す。

$$t_0=f_0(\tau)=\frac{\alpha_0}{2}+\sum_{n=1}^{11}(\alpha_n\cos n\omega\tau+\beta_n\sin n\omega\tau)+\frac{\alpha_{12}}{2}\cos 12\omega\tau \qquad (3)$$

t_0：壁面温度 °C，　τ：時間 h

ω ：温度波の伝播速度$=\frac{\pi}{12}$rad/h

α_n, β_n は t_0 の実測値 A_q から次式で与えられる。

$$\left.\begin{aligned}\alpha_n &= \frac{1}{12}\sum_{q=1}^{24} A_q \cos\frac{qn\pi}{12}\\ \beta_n &= \frac{1}{12}\sum_{q=1}^{24} A_q \sin\frac{qn\pi}{12}\end{aligned}\right\} \quad (4)$$

（3）式を境界条件として熱伝達の基礎方程式を解くと，壁中温度 t_x として次式を得る。[3]

$$t_x=f_x(\tau)=\frac{\alpha_{0x}}{2}+\sum_{n=1}^{11}\left\{\alpha_n e^{-x\sqrt{\frac{n\omega}{2a}}}\cos\left(n\omega\tau-x\sqrt{\frac{n\omega}{2a}}\right)-\beta_n e^{-x\sqrt{\frac{n\omega}{2a}}}\right.$$

$$\left.\sin\left(n\omega\tau-x\sqrt{\frac{n\omega}{2a}}\right)\right\}+\frac{\alpha_{12}}{2}e^{-x\sqrt{\frac{12\omega}{2a}}}\cos\left(12\omega\tau-x\sqrt{\frac{12\omega}{2a}}\right) \quad (5)$$

式中，a は壁体の温度伝播率（m²/h），$\frac{\alpha_{0x}}{2}$ は t_x 実測値の一昼夜平均値で aは（3）（5）両式に実測値を入れて試算する。

壁面の入熱は，（5）式を x について微分して $x=0$ とおいて得られる温度勾配から次式で求められる。

$$q=\lambda F\int\left(\frac{\partial t}{\partial x}\right)_{x=0}d\tau$$

$$\left(\frac{\partial t}{\partial x}\right)_{x=0}=\frac{\frac{\alpha_0}{2}-\frac{\alpha_{0x}}{2}}{x}+\sum_{n=1}^{11}\left\{\alpha_n\sqrt{\frac{n\omega}{a}}\cos\left(n\omega\tau+\frac{\pi}{4}\right)\right.$$

$$\left.+\beta_n\sqrt{\frac{n\omega}{a}}\sin\left(n\omega\tau+\frac{\pi}{4}\right)\right\}+\frac{\alpha_{12}}{2}\sqrt{\frac{12\omega}{a}}\cos\left(12\omega\tau+\frac{\pi}{4}\right)$$

表1　空気温湿度測定結果の一例

測定項目 ＼ 測定年月・場所		10年8月 渋谷橋	10年11月 渋谷橋	39年3月 梅田	39年5月 梅田	39年8月 梅田	39年11月 梅田	39年11月 梅新本町
乾球温度 ℃	ホーム平均	23.4	21.0	16.8	26.9	31.9	19.4	11.2
	中階平均	——	——	15.0	25.8	32.3	17.6	11.2
	外気平均	26.6	11.9	8.8	23.2	30.0	9.9	9.0
	ホームと外気の差	−3.2	9.1	8.0	3.7	1.9	9.5	2.2
	中階と外気の差	——	——	6.2	2.6	2.3	7.7	2.2
不快指数	ホーム平均	73.4	68.9	62.0	74.0	82.3	64.0	55.0
	中階平均	——	——	60.0	72.8	82.9	62.1	56.0
	外気平均	76.6	56.2	52.3	69.3	79.5	52.8	52.0
	ホームと外気の差	−3.2	12.7	9.7	4.7	2.8	11.2	3.0
	中階と外気の差	——	——	7.7	3.5	3.4	9.3	4.0

表2　空気温湿度測定による熱量解析実績

測定場所 ＼ 測定年月		1号線 梅田							4号線本町
		37.4	37.8	38.7	39.3	39.5	39.8	39.11	39.11
発生熱量 A 10^3 Kcal		10,666	10,666	11,867	11,867	11,867	11,867	11,867	1,001
換気除熱量 B		8,304	7,648	7,977	8,879	8,795	8,984	14,882	−117
同上比率 B/A %		78.4	71.7	67.0	75.0	74.0	75.7	125.0	−11.7
壁体等吸熱量 C 10^3 Kcal		4,722	4,551	4,349	5,006	4,635	4,807	1,811	1,715
〃 通過量 D 〃		2,360	1,532	482	2,028	1,580	1,903	4,834	599
通過率 D/C %		50.0	33.6	11.0	40.5	34.2	39.6	287.0	35.0
換気量 m³/s	外気導入	——	——	——	13	17	——	30	0
	還気導入	——	——	30	——	——	30	——	——
	中階空気導入	80	80	5	77	103	35	80	32.6
	合計	80	80	35	90	120	65	110	32.6
外気条件	乾球温度 ℃	5.8	28.5	27.7	8.8	23.2	30.0	9.9	11.2
	相対湿度 %	59	76	70	82	54	64	68	75
	エンタルピ Kcal/kg	3.42	18.36	16.74	5.59	11.41	17.74	5.49	5.28
ホーム壁熱取込エンタルピ		8.40	20.04	17.83	8.73	13.27	19.48	8.99	7.14
ホーム外気のエンタルピ差		4.98	1.68	1.09	3.14	1.86	1.74	3.50	1.86

λ：壁の熱伝導率 Kcal/mh°C,

F：壁の表面積 m²

積分を各時間帯ごとに行なえば，時間帯別の表面入熱が得られる。一昼夜の入熱総量は初項のみの積分となる。

4. 実測結果

（1）空気温湿度

一例を表1に示す。昭和10年当時は夏の営業時間以外は換気設備を運転休止していたため，8月と11月の差が僅少である。この換気不足が積り積って今日の暑さを招いた。最近は換気を設備強化し，さらにこれを年中無休運転しているため，徐々に改善されつつある。

（2）空気温湿度測定による熱量解析結果

一昼夜の熱量解析を梅田停留場について行なった結果を表2に示す。壁体などの逆流熱量Dは，換気により構築から空気に逆流したもので，（1）式の $3\,600\,q_{sr}$ が負になるものの合計である。逆流率は39年11月が最大で，秋から冬へかけて壁体が換気によって如何に顕著に冷却されるかを示すものとして貴重な結果である。4号線の本町は今年の冬はホーム送風をとめているが，来年秋からはホームが寒いという苦情で送風停止すれば，壁体の冷却ができず，将来に禍根をのこす。表2の最右欄に付加した同じ39年11月の新本町の数字をみていただければご理解

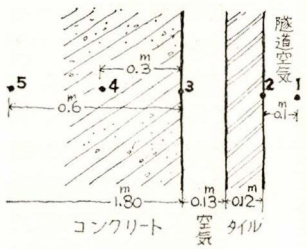


図1　側壁の熱電対埋込（・1～5）

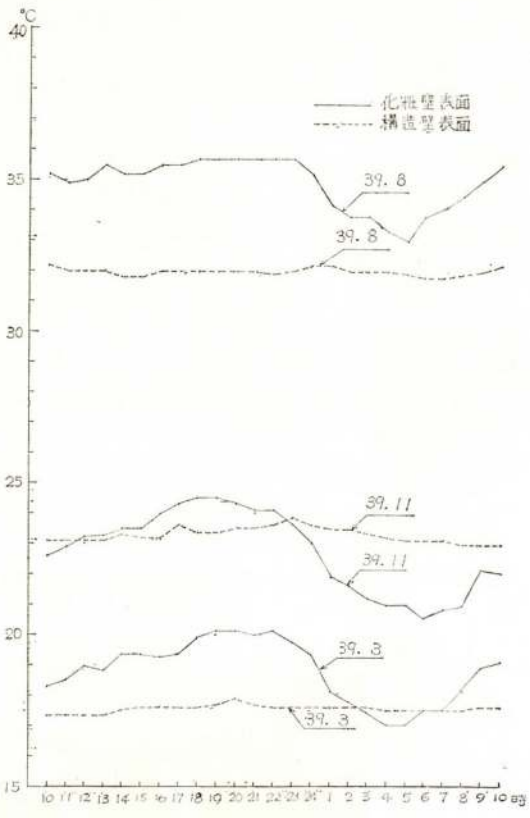


図2　1番線側壁温度（梅田）

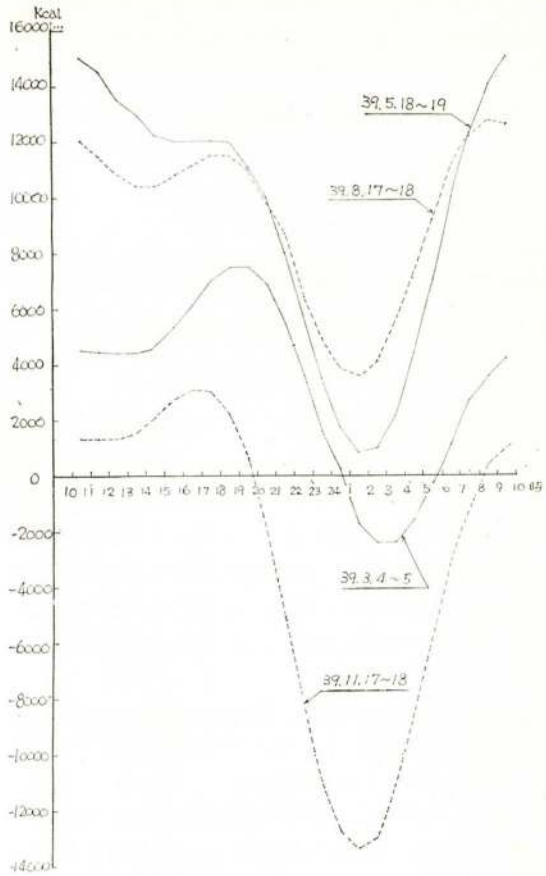


図3　側壁表面の入熱壁（梅田）

いただけることと思う。

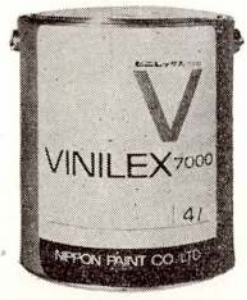
（3）側壁の温度

梅田停留場の側壁は図1のような構造になっている。これに図の位置に熱電対を埋込み5点の温度を測定した。図2は1番線側の化粧タイル表面と構造コンクリート壁表面の24時間変化を，39年3月，8月，11月について比較したものである。本測定は3月からはじめたので，年間変化はまだつかめていない。

（4）側壁の入熱解析

図3に梅田停留場の側壁入熱量の時間帯別変化を4回の測定について比較した。8月は冷風のため緩和されているが，冷風がなければもっと大きくなる。11月が入熱最低で一昼夜合計でも負となり冷却されている。

1）Soper　：Air and Ventilation of Subways, 1908
2）宮本，赤松：地下鉄の温度上昇解析，科学と工業，昭39.8
3）川下研介　：伝熱工学概論，昭27



● たいへん塗りやすい。
● 仕上りが美しい
● いつまでも美しい色を保ちます。

日本ペイント

〈SB系エマルション壁塗料〉

ビニレックス 7000

大学の教育·研究について

松井昭光

▶大学は，北京の清華大学と南京の南京工学院のふたつを訪問した。いずれも建築系がおかれている大学である。

清華大学は500年の歴史をもつ。当初は，アメリカ留学への予備学校で，ここを卒業すればアメリカへ留学するという具合いで，アメリカの政治経済を専攻するために設立されたものだという。しかしながら，1918年頃から革命的な伝統をもち，帝国主義に反対する学生運動が盛んになったという。その頃から，当初の予備学校から大学に昇格し，文科，理科，工科，農科，法律の五つの学部があった。学生は一番多いときには，2,400人ぐらいだった。しかし，解放後，1952年に中国の大学は全面的に調査・再編成をされ，現在は工科の総合大学であり，機械，電子，土木・建築などの十学部がある。学生は全部で12,000名。土木・建築は6年制で学生は1,200人。教授，助教授などは100名。土木・建築（この場合，土木というのは engineering のことで，日本でいえば，構築と訳すほうが適切）は五つの学科にわかれる。①建築系②建築構造系③建築材料系④暖房・換気系⑤上下水系，の五つ。①の建築系は公共・住宅建築，工業建築，都市・地方計画の三つの専門があり，学生は6年制で450人とのこと。②，③，④，⑤は四つ合せて750人だとのこと。この土木・建築系には14の教学研究室がある。工業建築設計，公共建築設計，都市計画，建築物理，美術，理論歴史，構造，換気，給水，施工，下水，測量等々……の研究室がある。研究室の研究内容は①教学（国家の科学院の指示によるもの），②専門の研究（教師の必要と認めるもの），③生産の協力（生産過程で提起された問題）の三つである。

▶卒業生の就職状況をきけば，つぎのようである。国家政策の立場から，経済建設の割りふりについて，たとえば，建築技術者をどの方面に必要とするか，がだされる。学生も意見をかいて，どの方面に志願・協力したいなどあらゆる条件をかいた紙を提出する。この政策の面と学生の希望する面との両方を比較して，できるだけ両方を満足させるように配置して就職をきめる。全部満足することができない場合は，第1次試験，第2次試験をしてきめるとのことである。現在，卒業生の大部分（50%以上）は各地の設計院に勤めており，約30%は建築工程公司（施工会社）に勤め，残りは教育，工場等へいっているということである。

この建築系を訪問したとき，梁思成主任教授，汪坦教授らにいろいろご案内していただいた。また，この清華大学は清華園という公園のなかにあり，文字通り，緑の中の学園といった感じである。

▶南京工学院は七つの学部——1.建築，2.機械，3.動力，4.ラジオ，5.電子工学，6.土木，7.技術科学——を有するやはり工科大学である。5年制で，学生総数6,000名，うち女子学生は6分の1の約1,000名あまりだとのことである。最近では，労働者，農民の子弟の比重が多くなり，65%以上を占めている。

▶教育養成方針は，教育と政策と労働の三つが結びついていることに特徴がある。教育は労働者階級に服務するためのものであり，教育は生産と結びつき，国家の政策を遂行することと結合しているし，社会的な労働ときりはなしてはいない。1年間に4週間，各専門別に現地で実習労働する。たとえば南京工学院の土木系では，5年間で18週の実習労働がある。もちろんこの労働には報酬はない。学生は月16元（一般の労働者の賃金は70元ぐらい）の奨学金をもらっている。



南京工学院の構内

それから強調されることは，理論と実践との結合である。わかりやすく例をあげていえば，58年の北京駅を設計するときは，北京工業設計院とこの南京工学院の建築科，土木科が一緒にやった。教師・学生が50人この設計に参加し，調査，研究，設計ならびに建設，労働，検証にも参加したということである。南京の玄武湖のほとりに建設予定の美術館計画の模型もあって，研究と実施設計との関係についてなみなみならぬものがうかがわれた。学生の設計作品が廊下に展示してあって一覧したが，住宅団地，公共建築といったものが多いのは当然であろうが，形態は50年代の中国的な屋根のついたものでなく，「近代建築」風なデザインを駆使しているものが多かった。これも「機能，経済に留意し，できるだけ美観にも注意する」という建築主張の反映であろうか。ちなみに卒業設計期間は半年とのことである。

▶上海同済大学は建築工学部直属の建築大学だそうであるが，ここでは六つの学科がある。建築学，建築工程，建築材料，建築機械，都市計画，数学および力学の六つ。

そのほか，建築工程部直属の大学としては，北京建築工程学院やハルピン建築学院がある。なお，天津大学，重慶建築工程学院，中央工芸美術学院，鄭州工学院，西安冶金建築学院，太原工学院，華南工学院，合肥工業大学等がある。

第26回・畳職



近畿畳商工業協同組合理事長

岩脇松次郎氏 70才

「"葦原のしけこおき小屋に菅畳いやさや布きて我が二人寝し"と神武天皇の御製があるくらい神世の昔から畳という名はありました」と畳の古事来歴からお話し下さったのが，今回訪問した畳屋の名門，岩脇家を継がれた岩脇松次郎さんです。更に「聖徳太子の時代になると薄縁（裏に筥付）となり，表は琵琶湖畔でできた近江表が使われ，これが日本最古の表です。岡山のものはその後になります。足利時代になると，ほぼ現在の畳の姿となるとともに，身分による縁の規格ができ，皇室用は繧繝縁，公家用は高麗縁，士分以上は麻縁，庶民は木綿織と決められました。もっとも当時これは近畿だけで，関東は阪東ものといって無縁でした。その後これが明治の前まで続いたのです」と学のあるところを聞かせて下さいました。これも畳が日本人とともに生きてきた歴史の古いものだからでしょう。

岩脇さんは，養子さんで，生家は徳島県板野郡，いまから約50年前に，徳島市古物町の畳屋へ弟子入りしたのが，この道への初まりです。その後，大阪へでて，よい職人になるには，よい店にと，岩脇の店に入る機会を待つていたそうです。当時大阪市は四区で，各区に畳職の取締り役の店があり，職長とか帳元とかいつて，地方からでてくる季節職人への畳組合の臨時鑑札の発行と，その差配をしていました。南区では岩脇の店がそれにあたり，入るのには，だれか職人がやめないと入れず，やつと入つても，他の店で一人前でも，ここでは中年級だつたそうです。なお，大阪の畳職の組合は明治時代からあり，日本人の海外進出につれて畳が輸出されるので，重要物産となり，組合法による同業組合が大阪にのみ認可され，組合長，評議員などの組織もりつぱにあつたそうです。

さて岩脇の店へ入って2年，仕事上で恐いもののなくなった26才位のとき，世話役である手先に，150人位の職人さんの投票で選ばれたそうです。当時は，米騒動のあった頃ですが，畳職人の日給が70銭というのに，米が一升50銭になったので，岩脇さんは世話役でありながら，賃上げ交渉の中心になり，ストライキ前までやったそうです。結局1円50銭に上ったのですが，同時に主謀者として大阪から追放されそうになったとのことです。それも何とか納まり，今度は機械床がでだしたので，金沢から機械を買ってきて会社を造り，その支配人になり，一方岩脇家に聟入りもされ，それが大正14年だったそうです。

その後変転があつたが，御堂筋ができることになり，店は立退きになり，得意先も300軒位なくなつたので，昭和7年に現在の東成区中浜町へ移つたのだそうです。それから昭和9年の室戸台風にあい，また再建され，戦争中は，統制で組合もなく，もつぱら町内会長で活躍されたそうです。戦後また畳屋を再開し，現在は敷物も扱つておられます。組合の方は，戦後新たにできた大阪市畳商工業協同組合から，現在の近畿畳商工業協同組合まで引続き理事長をしていられます。組合員は大阪府，奈良県，神戸，姫路，和歌山県の業者約700軒が加入し，大阪では全体で600軒の内，約500軒が加入しています。

畳職人は大阪で300人位，仕事をする人は全部で1,000人位いるが，一人親方が多いので，純然たる職人さんは不足気味だそうです。この社会も他と同様若手が入ってこず，また上手な人には引抜きもあるようです。またその気質も他と同様に時代の流れとともに変ってきているそうです。割りつけ（寸法取り）ができるようになるのが1年位，その方法は各店でしきたりがあるようです。庖丁がうまく動いて一人前になるには3年位かかります。また道具としては，待針，縁下引き，縁引き，針，くわえ（縁と厚みの巾をそろえる一種の毛引），小差，鉋，鋸，錐，槌（敷込に使う），庖丁，針筒，油壺などです。

岩脇さんが仕事の上で印象に残っているのは，割りつけでは，戦前に中に五角形の柱のある隅切りの陳列に高麗縁の畳を敷いたときで，ずい分苦心されました。また寸法取りで感激したのは，やはり戦前に，3年掛りでできた西宮の別荘で計ったら，しみず（対角線）も，本間（内法寸法）も少しの狂いもなかったことで，こんなことは後にも先にも一回だけだったそうです。普通15mm位はあるそうで，ひどいのは6帖で60mm位あるそうです。

その他に岩脇さんから，縁では光輝縁は大正の中頃にでてきて，当初はつやがあって下品だときらわれたこと，麻縁は，強さでは劣るが，張りついたように仕上ること，しかし，その仕事のできる職人は大阪市内で5～6人だろうとのこと，表は備後物が耐久力，ねばり，つや，やけ工合がよいが，現在は流通機構が発達したので，名称と産地が一致しないものがあり，専門家でも見分けにくく，信用のある店で買うこと，上等な仕事では，目乗り（縁が目の中にかかること）がないように，畳の寸法に合わして表を選ぶこと，床は，機械床の出初めはいろいろと批判されたが，昔のものに比べ固くなり，安くて程度があがっていること，手縫床の程度はいろいろあり，高級品の15目，100建て床は2人役かかること，いまはそれのできる職人のいないこと，などいろいろとお聞きし，最後に手縫の表つきの床をみせていただきました。

そして，今回お聞きした岩脇さんの生涯は，庶民の生活に直接結びついた職人さんの，大阪という町の変転と織りなした，歴史の姿をみせていただいた感を深くしてお別れしました。（長谷川哲之助記）

新刊紹介

大阪工業高等専門学校教授　堀口甚吉

近時建築学書のよいものが数多く発刊されているが，この紹介が十分でないので，筆をとった次第である。

（1）**棚橋諒**博士著　**鉄骨構造講義**　本文　A5判　154P.　付表 112P.　索引 4P.　1500円　山海堂　昭和39年11月発行。本書は棚橋博士の京都大学における講義案によったもので，Ⅰ編　序論，Ⅱ編　鉄および鋼材編，Ⅲ編 材の結合編，Ⅳ編 部材編，Ⅴ編 細部編，Ⅵ編 計画編からなり，簡明に鉄骨構造の大学程度の教材について述べられたものである。編の組成は昭和12年版の**鉄骨構造学**と殆ど同じであるが全部新しく鉄骨構造学の進歩によって書き替えられている。本文154頁の少いページ数であるから，あらゆる問題を網羅的に記したものでない。主要点とお考えのところ，ほかの本に書いてないところ，ほかの本に書いてあっても簡単なところを詳しく説かれている。上級学生，上級技術者必備の本である。

（2）**斎藤謙次**博士著　**建築構造力学**　本文　A5判　508P.　参考文献　3P.　索引　3P.　2500円，理工図書株式会社，昭和39年9月発行。本書は斎藤博士が多年日本大学で講義された講義案をまとめられたものである。第1章　力の釣合，第2章　静定骨組の応力，第3章　静定骨組の変形，第4章　応力法，第5章　撓角法，第6章　固定モーメント法，第7章　変形法，第8章　異形ラーメンに対する機械的作表法，第9章　建築物の構造計算となっている。記述の方法は，大変わかり易く書かれていることで，初学者が思い違いをするような点には懇切な注意が述べてある。上級，中級の学生，技術者の良参考書である。

（3）**浜田　稔**博士著　**建築材料学**　本文　A5判　922P.　索引　10P.　2500円，丸善書店，昭和39年11月発行。本書は昭和6年版の**建築材料学**を全く新しい見地から徹底的に改版されたのである。内容は第1章　石材，第2章　骨材，第3章　セメント，第4章　コンクリート，第5章　石灰など，第6章　粘土製品，第7章　ガラス，第8章　金属通説，第9章　鉄鋼類，第10章　非鉄金属，第11章　木材，第12章　アスファルトなど，第13章　合成樹脂・プラスチック，第14章　塗料，第15章接着剤とコーキング材，第16章　繊維類，第17章　ボード類，第18章　防音材料，第19章　保温材料，第20章　防火材料，第21章　床仕上材料，第22章　屋根仕上材料第23章　壁仕上材料と，建築材料のほとんど全部を網羅して，親切に記述がしてある。前著と異なる点は，第18章以下の工事別に各種材料の検討がされていることである。カタログによる新材料の性質がややもすれば手前勝手に広告的に記述されているものが多いのに対し，本書には新材料の本質的な点に記述がしてあるので，大いに参考になる。上級，中級の技術者，学生の必備の参考書であろう。

（4）**仲建築研究室**編　**鉄骨高層建築の構造設計**　本文20.5cm×21cm　172P.　定価　1,800円，彰国社，昭和39年10月発行。本書は新しく計画される超高層建築の東京都庁の設計の基本的事項である構造設計について仲博士の研究室の13氏の研究をまとめられたものである。内容は1.耐震設計，2.鉄骨構造，3.接合，4.鋼製軽量床，5.実験からなり，現在問題になっている超高層鉄骨建築の理論的考察について述べられている。いづれ近い将来においては，日本建築学会において超高層建築に対する計算規準として略算式のものがでようが，この略算式の意味の理解には本書の熟読が必要であろう。記述は平易にされているが，事柄がむつかしいことであるので，私にはわからぬ点が数多くある。将来の構造計算者たらん人々は，本書によって大いに勉強されんことを望む。

（5）**村松貞次郎**博士責任編集　日本技術史大系17巻　**建築技術**　日本科学史学会，本文　B6判　599P.　年表10P.　参考文献　8P.　索引 5P.　定価　3,500円　第一法規出版株式会社，1964年7月発行。本書は**日本建築技術史**　昭和34年版　B6判　本文　280P.　索引19P.　年表9P.　350円　地人書館発行の著者が加藤安雄氏を編集協力者として江戸幕府末から，今日までの日本建築技術史をB5判，600P.あまりの大冊にまとめあげられたものである。内容は序章　総説，第1章 幕府および雄藩の西洋建築技術導入，第2章　明治政府の殖産興業にともなう建設，第3章　居留地設置とそれにともなう建築資料，第4章　明治初期の大工棟梁関係文書，第5章　木造建築技術の近代化，第6章　煉瓦の生産とその建築，第7章　鉄骨および鉄筋コンクリート構造の導入と定着第8章　関東大震災と耐震構造理論，第9章　造家から建築へ，第10章　近代建築運動の展開，第11章　建築史・建築家および戦争への傾斜，第12章　復興，と日本近代建築史を構造技術を主にしてのべられたものである。今日，日本の建築の学会においてもっとも注目をひき，最も活発な活動をしている分野に日本近代建築史の研究がある。20数年前は日本近代建築史や技術史の研究は，日本建築学会の研究発表会や大会でも異端視されていたこ

とを考えて，昭和39年の日本建築学会の大会歴史部門の発表の約½が日本近代建築史，技術史の発表になっていることを考えて，今昔の感にたえない。村松博士の本書は日本近代建築史研究のいままでの集大成であり，金字塔である。まだまだ日本近代建築史には広大な分野があり未発掘の史料もあろうが，これらはようするに本書の増補の形になるであろう。建築史を学ぶ上級，中級の学生構造を専攻する上級，中級の学生，一般実務に従事していられる技術者必読の本である。本書の日本科学技術史大系の一冊であるが，分冊でも書店に註文すれば入手できる。是非座右に備えられんことを希望する。

（6）**斎藤　暢**氏著　**骨組の力学**　わかりやすい建築講座　第13巻，A5判，本文 185P. 付録表　26P. 参考文献 1P. 索引 4P. 定価　850円，彰国社，昭和39年8月発行。著者は大阪市立工芸高等学校教諭である。

彰国社が10数年かかって**建築学大系全40巻**を発刊したことは，日本に建築学科をもつ大学を十数校開設したのと同じ価値がある。建築学大系の発刊によって日本の建築学教育の水準が向上したことははかり知るべからざるものがある。学者の研究，および研究論文は価値において最高のものであるが，その影響する範囲はせまい。それに比較すると，このような叢書によって一般知識の向上をめざすということは，大いに世の中の利益となる。**建築学大系**が，高級，中級の技術者，学生を対象としたに対し，同じ書店から出版された**わかり易い建築講座**は，中級，初級の技術者，学生を対象にしたもので，建築学大系の全40巻に対し，わかり易い建築講座は全21巻で，一巻のページ数も約½，定価も約½になっている。本書の内容は1．構造物の設計と荷重，2．力，3．骨組の力学的分類，4．反力と部材の応力，5．静定トラス，6．静定ばり，7．静定ラーメンとアーチ，8．部材の設計，9．基礎の設計，10．不静定トラス，11．不静定ばり 12．不静定ラーメン，13．骨組の設計，となっておって，工業高等学校で一通り構造力学を学んだ人々がさらに力学を復習しようとする時に読むのに適当している。

（7）**斎藤暢**氏　**崎山宗威**氏著　**店舗と劇場**　わかり易い建築講座第7巻　A5判，本文 158P. 参考文献 2P. 索引 6P。本書の著者はともに大阪市立工芸高等学校の教諭である。斎藤氏が店舗の分担で 52P. 崎山氏が劇場の分担で 116P. となっている。店舗の内容は1．店舗のあらまし，2．店舗の計画，3．各部の設計，4．商店群とショッピングセンターで，劇場の内容は1．劇場と演劇の関係，2．劇場・映画館の環境，3．動線と客関係の諸室，4．オーデトリアム，5．舞台，6．映写室，7．音響調整室，8．舞台照明，9．楽屋・その他の舞台裏の諸室，10．日本の劇場の歴史，11．実例となっている。建築計画の講義はいずれの学校においても時間少く各個の建築物について細部の議義は，粗になりがちであるが，このように親切な手引ができると学習者は大いに助かる。店舗，劇場とも関西の実例を多く取り入れられているのは東京の著者の本にみられない特色である。崎山氏は劇・舞台に対して熱心な研究家で，10．の日本の劇場の歴史には，氏の研究が表われていて我等を啓発する点も多い。

（8）**日本建築学会**編　工業高等学校建築科　**建築用語集**　A5．216P. 定価　500円，日本建築学会発行。本書は日本建築学会の教育委員会工業高等学校部でながらく研究した結果をまとめたもので，工業高等学校の建築科で教える各学科につき，どうしても徹底的に教えなければならぬ術語，教えておく術語，参考におしえておく術語と三段階に分けて術語をならべたもので，工業高等専門学校，大学の建築科でも参考におしえておく術語までを，徹底的におしえればその機能ははたしたことになるであろう。学校卒業者は，この術語集で，術語をみてその意味を直ちにいいえるにいたれば，二級建築士，一級建築士の試験に合格すること請合である。また会社，設計事務所での入社の採用試験の問題を作成せられる方々にも，是非本書によって入社試験を作成していただきたい。本書によって入社試験問題を作成すれば「今頃の卒業生はなんにも知らぬ」というお小言が少なくなるであろう。二級建築士の試験委員も本書の熟読が望みたい。工業高等学校の専門学科の基準であるからである。

（1964.12.27—29）

三和建設株式会社

代表取締役　森本多三郎

本　社　大阪市東淀川区加島町四三一　TEL (301) 代表 6636～9
東京支店　東京都港区芝田村町三一　TEL 東京 (431) 2720・6814
京都営業所　京都市右京区西大路五条上ル　TEL 京都代表 (84) 8897
東京工場　川口市仁志町一～二四一　TEL 川口 4100
高槻工作所　高槻市大字唐崎九九　TEL 高槻 (5) 6013

会員の頁

投稿を歓迎します。ハガキでお寄せ下さい。
けいさいの分には粗品進呈

□災害委員会に望む□

地震だ，颱風だ！被害が大きく広範囲にわたったとき，災害委員会は活躍をするという，委員会のいままでの在り方に疑問を抱いています。

医学界では，臨床医学に対する，予防医学をやかましくいい，力を入れているように，建築界も災害調査の報告書作成だけでなく，その報告書を生かせる，予防に対する活動，被害防止の普及宣伝などを行なう必要があるのではないでしょうか。

災害にも，最近のニュースに報じられている，大都市のスモッグ渦，地下街の空気汚染・鼠の問題・油虫など害虫の繁しょく，団地住宅の防犯……等々，いうなれば「都市災害」とも称すべき，都市の集中過大化によって起ってくる諸問題がある。日常われわれの周囲に起りつつあるこれらの問題を対象として，調査，研究をし，改善すべき問題を提起し一つ一つ改良し，住みよい都市への体質改善に寄与することに，災害委員会の使命があるのではなかろうか。そして「建築を通じ広く社会に貢献する」という，建築協会本来の在り方に強く結びつくことになるのではないでしょうか。（Y.S.）

☆　☆　☆

□絹谷裕規さんのこと□

絹谷さんの訃は9月12日の朝日新聞の夕刊だったか，小さな囲み記事だったが，通勤の車中で知って，その夜はくらい気持ちになって，私は日記帳に絹谷さんの思い出をいろいろ書いていたのであったが，絹谷さんとの初対面はもう10年前だっただろうか，京大学生の名刺をもって，私の勤めている国鉄を訪ねてこられたときである。私はその当時，労働組合の仕事などを若気のいたりでやっていたのだが，絹谷さんは「建築インター」といって建築労働者の世界的なつながりをもつために交流の必要さを説き，国鉄で働らいている建築関係の人もぜひ協力してほしいという申入れをされにこられた。それからしばらくして，ソ連やその他の共産圏の人を迎えて歓迎会が京都市内でひらかれたのであったが，絹谷さんはそのときも名司会者であり，あまり話上手ではなかったが，自分の信念をもって，人をひきつける人であった。その歓迎会があってからも私は絹谷さんと何回も逢っている。先年は，京都市の建築ゼミナーの講師であった。私は忙しかったがその講演会を聞きにいった。京大の助教授という肩書で，でっぷりと太り気味の体躯をもてあますようにときとして笑っておられた。その笑い顔が忘れられない。

（滋賀県草津市渋川町
久保和知）

☆　☆　☆

□設計事務所より□

白杉嘉明三さんが正月4日建設六団体年賀会で私は60余年建設に従事しているが，建設業者の地位がおどろくほど向上したと壇場から申されました。これに引きかえ建築家の地位は近来とみに沈下していくといわれています。1月号の「建築と社会」の作品写真をみていましたところ設計施工あるいは施工○○建設K.K.と太く大きくでて，設計○○事務所は虫眼鏡でないとみえないくらい小さい。協会の編集方針はどうなっておりましょうか。

いよいよ影がうすくなるように感ぜられますので，よろしくご協力を願います。

（大阪市東区横堀2—38
日建設計工務株式会社社長　伊藤鑛一）

1月号の作品写真とは「昭和39年中に竣工した新建築」欄（23頁～40頁）のことを指しておられますが，この欄は，特別広告の欄です。したがつて，広告掲載料をいただいた業社の名が大きくならざるをえませんでした。通常の作品作風欄では，設計者と施工者とは平等に掲載しております。—編集—

✳特許
小俣式
防火シャッター全般
●設計
●製作
●施工
小俣シヤッター工業株式会社
大阪支店
大阪市北区若松町30　電話（341）9004．9016．4825
本社　東京都北区田端町　事務所及本工場　埼玉県与野市

盛会裡に建築協会忘年懇親会

アデュー1964・於 太 閤 園

恒例の日本建築協会の 忘年会は去る12月18日太閤園で 開催された。定刻の午後6時，大ホールは満員。増井事業委員長の開会のあいさつ。東畑本会々長のあいさつで年忘れの宴はいよいよスタート。 出席者 521名

司会は三国純さん。軽妙で笑いをさそうダテ男。ライトで 光るのをきけてか，レンズなしの 眼鏡をかけていた。「下町譲とその 楽団」はまあまあのでき。日本調歌手の早川まきさん は五月みどりモノをこなして，おいろけがにじむ。ジャグラーは東京ラツキートリオ。若さと健康ムードがいっぱい。何といってもオンナノコの特権か，びつたりはいたスラックスが躍動するたびに男性衆の 目をひきつける。ジャズマンガは木川かへる。邪心をもつてみつめる会員の気持の裏をかいて 拍手カツサイ。しかも希望者にはマンガを 呈上というわけで，若手会員の人気をあつめる。

さて，このところ毎年，人気の焦点はセミヌード。踊るはキテイ島さんとマヤ富士さん。鼻下長族が舞台下に押しかける。写真をごろうじろ，会員諸氏の熱い 視線は踊り子の顔にあらず某所に集中する。記録写真担当のM氏「だれも顔を見てないので 首から上をトリミングした」と写真引伸の意図をひとくさり。

ところで，もうけかしらはH君。舞台しも手の 芸人控室に偶然？にもすわつていた。見ようと 思つたわけではないそうだが，衣裳のつけかえのあいだに生れたままの姿の彼女をみたという。（だれです。あとで残念がつているのは／）

舞台にウツツを抜かす 連中をしりめに，がつちりとホステス相手にメートルをあげる実利第一組もある。キタ・ミナミのキヤバレー数軒からの精鋭が2次会のカモを求めてサービス満点。名刺を配つて あいきようをふりまく。テーブルにはオードブルや巻き寿司など。模擬店の 引換券が今年から凸形のマンガになつたのもおもしろい。

景品の抽せんにはいると 忘年会も最高潮。灰皿から 電気カミソリまで総数 280点。フアツションモデルの 卵たちが抽せん券を箱 からとりだす忘年会小委員がてんてこ舞いで景品をさばく。番号の発表のたびに 小さな吐息がもれる。高額景品の当せん者は舞台にあがつての贈呈式。思わずほころぶ顔・顔。

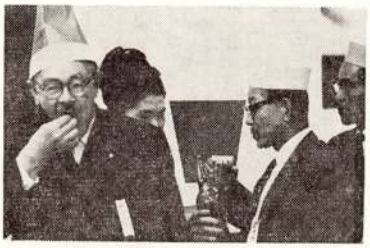
岡本事業副委員長が善意の 募金を発表。大阪ガスの関係者に渡される何ぜか舞台がまぶしい。

最後に事務局Mさんほかの作になる忘年懇親会の うたを全員で 合唱。松本儀八氏（名誉正会員）の発声で万歳三唱。政岡事業副委員長の閉会のあいさつがあつて 建築協会忘年会は幕をとじた。アデュー1964年。

（文責：岩本尚三，写真：村尾一彦）



東畑会長あいさつ



建築界の大御所寿司をくう



忘年の宴：いまやたけなわ



増井事業委員長あいさつ



どうでした今年の景気は



爆発的？ 人気



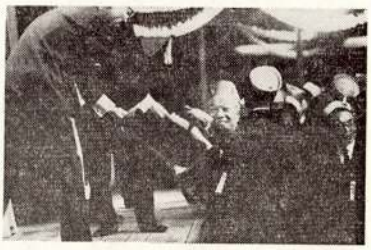
舞台めがけて押せ押せ



抽せん開始委員は汗だく



はいガス炊飯器の大当り



エンギがよいぞ笑いがとまらん



おでんでもいきましようか



善意の募金を発表します



皆なで歌おう忘年会の歌

第1回日本建築祭の概況

1964年10月25日～11月4日

オリンピック東京大会を記念して建築8団体連合の第1回日本建築祭は，オリンピック大会の直後いまだ余情漂う東京において挙行された。

全体の行事に魁けて10月25日（日）10時から国立屋内総合競技場本館（屋内水泳場）を会場にあてて，国際スポーツ施設展を開幕し，11月1日（日）からは，早大理工学部新校舎を会場に研究発表会が終日に亘って行なわれた。翌2日午後からは代々木の国立屋内総合競技場附属体育館で日本建築祭の中心行事である大会を盛大に開催した。その夕はホテルニューオータニで祝賀懇親会を催し，3日（祭）にはふたたび会場を早大理工学部に移して，午前は総合研究協議会を，午後は研究討論を主とした専門別研究協議会，つづいて初めての試みとして設けた「自由発言の場」では8主題に対する所信意見の発表と討論が交わされた。最終日の4日（水）は4班にわかれて，オリンピック主競技場および駒沢の第2会場を高速道路でつなぐ見学会を催し，その夜，朝日講堂における記念講演会をもって，4日間に渉るすべての行事を終えることができたのである。以下各行事の概況について記す。

大　会

日本建築祭の中心行事であるこの大会によって，参加8団体共通の目的が打出され，これには参加登録の有無にかかわらず8団体会員が参加出席した。

正午頃から続々つめかけた会員が，一応地域別に示された席を埋めつつあったが，前夜来から残こんの雨気はやや出足を鈍らせたかの感があって，参加者は，最高4,500名を数えられた。

午後1時からの開会に先立ち，東京消防庁音楽隊41名が岡英男隊長指揮のもとに数々の曲目を演奏し，定刻，司会者の中島副委員長が開会を宣すると，全員起立し，会衆が正面の国旗に視点を合わせるうちに，厳粛な国歌の演奏をもって開幕した。まず実行委員会古茂田委員長の力強い「開会のことば」，つづいて日本建築士会連合会石井会長が「オリンピック東京大会施設の完成をたたえて」と題して，称賛のことばをおくり併せて建築人の所信表明が行なわれた。それをうけて古茂田委員長が職責遂行に対する熱意を高揚した決議文を上程し，全員の賛同をえて採択した。

ここで来賓の祝辞となって，小山建設大臣，愛知文部大臣（代理前田体育局長），東都知事，オリンピック組織委員会安川会長，そして参加外国人を代表した英国王立建築学会から派遣のコリンズ氏の順で行なわれた。つづいて I.O. C. ブランデージ会長と日本建材協会々長の祝詞，祝電の披露があり，式は引きつづき「建築施設の建設関係者への感謝」に入り，日本建築協会東畑会長から列席の関係者へ叮重なねぎらいのことばが贈られ，全員の拍手をもってその労をたたえて謝意を表した。今日の建築産業の発展と隆盛とをもたらしたわが建築界の先覚者として，実行委員会が選定した清水喜助清矩先生（遺族清水康雄氏，代理清水正雄氏），辰野金吾先生（令孫辰野高氏），横河民輔先生（嗣子代理中村傅治氏），中條精一郎先生（嗣子中條国男氏），佐野利器先生（未亡人佐野ませ氏）の5氏に対して日本建築学会棚橋会長から，遺徳をたたえる顕彰状と記念品とを贈り，式は滞りなく終った。

つづいて記念講演に移り，司会者は野生司委員に交代し，東京大会の政府側元締役の文部省前田体育局長による「オリンピック東京大会の施設」の題下に報告講演があり，また，当会場の設計者であり，I. O. C. からディプロマ・オブ・メリット賞（功績章）受賞の栄誉を担われた東大丹下教授が「生活環境の今後のあり方」についての所説がそれぞれ30分に渉って講演された。

折から神田囃子につれて江戸消防記念会25名が纏を先頭にうち振りながら揃いの半纏に花笠を冠り，無形文化財の「木遣り」をねりながら場内を一巡，参加外国建築家もこの日本的なアトラクションに拍手をおくることをおしまなかった。

ここで一応の催しを終ったので，全国建設業協会大島会長の発声で万歳を三唱し，全国建築士事務所協会連合会織本会長の「閉会のことば」で午後3時50分に大会を盛会裡に閉じた。

祝賀懇親会

超高層第1号白亜の会場に灯る頃，続々と会員，来賓が参集，午後5時30分には控室は満員の盛況振りであった。会場は東京一の収容力を誇号する芙蓉の間も5時50分扉を開くるや堰を切って落とされたようにまたたく間に埋めつくし，ブルーコーツ・オーケストラの軽音楽に早くも懇親気分は横溢し会衆は耳を傾けて交歓のときを過した。

午後6時15分司会者中村副委員長の進行のもとに，古茂田委員長の「開会のことば」，主催団体を代表して石井会長が挨拶，これをうけて，来賓祝辞に小山建設大臣，

日本商工会議所足立会頭（本田副会頭代読），外国建築家を代表して，A.I.A. ハワイ支部バウアー前会長，中華民国台湾省技師公会林理事長が交々立って祝詞を述べられた。中馬大阪市長，自民党中村総務会長の祝電などの披露も加わって祝賀懇親会を各方面の慶祝の波の中に浮かびあがらせた感があった。

ちょうど翌3日の文化の日に建築界から20余年振りで2人目の文化勲章受章の栄誉を担われた吉田五十八氏が参加されていたので，司会者に乞われて壇上の人となって祝意に応えられたことは，ときとところを得て祝賀会の雰囲気を多彩なものとした。この頃からパーティがはじまり，日本学士院会員内藤多仲博士の音頭で杯があげられるや，会場は交歓のるつぼと化した。一方ステージでは，茨城県建築士会提供の磯節保存会連中による「水戸ニ上リ」，「磯節」の踊りと唄が華やかに繰りひろげられた。つづいて会員有志による「相川音頭」は清田，伊藤両司会，長谷川プロデューサーの担当ではじまり，建築家の相川音頭の会十数名による2章節の合唱がすむと左右にわかれ，せり上りステージには唄方として黒紋付姿の中田，吉田，岸田の諸先生，立方伴奏の新潟代表芸妓連が，三味・鼓の音につれて豪華絢爛たる編笠の武者姿を現わし，壮麗な踊りと豪壮な歌調とは，満場を魅了してやまなかった。つづいて鏡味小仙社中によるご祝儀の獅子舞でアトラクションを結び，建築業協会戸田相談役発声の万歳三唱をもって会を閉じたのは，8時ちょっと前であった。

研究発表会

早大理工学部新校舎2，3号両館10室を会場にあてて，最近の研究成果の自由発表が次表のように部門別によって行なわれ，適時質疑討論もあって，研究の交流に寄与した点は少なくなかった。なお，数名が病気のため欠講となったが「材料・施工」「環境工学 A」の午後5時20分終了をもって無事盛会裡に閉会した。

部門別	室	題数	部門別	室	題数	部門別	室	題数
材料・施工	1	56	設計・計画	1	49	歴史・意匠	1	41
構造	3	181	都市計画	1	56			
環境工学	2	95	防災・経済	1	19			
						計	10	497

研究協議会

早大理工学部新校舎第7号館で午前9時から開催の総合研究協議会の開会に先だち，日本建築学会棚橋会長が，研究者を中心とした会衆に挨拶を行なったのち，横山不学君が司会者となって，午前中を「軟弱地盤における計画・構造・施工」を主題に，主として，実務家の研究所見発表を中心に研究者との意見交換が行なわれたが，結論としては，技術的に対策の可能性はあるが，これを妨げるものに経済の問題があることに見解の一致をみた。

つづいて午後1～3時，8部門別にわかれて真摯な研究討論がつづけられて，研究協議会の目的を達しえたものと思う。

自由発言の場

職能に関する当面の諸問題を主題に全国から参加の会員に，自由かつ率直に意見発言ができる機会を提供するために設けたもので，結論は期待しないでも，今後各自に研究課題を提起するところにその意義があるとして試みたものである。各共催団体からの提案を参考に8題目を選んで行なったものであるが，参加者の協力によって一応期待の成果を収めたものと思う。

見学会

折からの好天に恵まれた見学会ではあった。大会と国際スポーツ施設展で代々木会場は自由に見学の機会はあったし，選手村は5日まで開村中のため明治公園第1会場競技施設と駒沢の第2会場施設を軸に高速道路でつないでの見学ではあった。しかし，4,000名を超える尨大な見学には受入れ先の都合と見学班統御上の困難から，参加者の期待に添いえなかった点のあったことは遺憾であったが，空前絶後の大見学会とならざるをえなかった事情をご推察いただきたいと思う。ともかくも予定の見学スケジュールが見学先のご厚意で，ひととおりすませることができて，建設関係者の苦心と努力のあとを偲べたことは，見学者各位のご理解とご協力とがあづかって大きな力があったことである。

公開記念講演会

今回の行事は，8団体会員に公開の原則にたっているが，日本建築祭の目的に照らして対社会的に公開する行事として，朝日新聞社後援のもとに同社講堂で午後5時45分から開会した。入場者は往復はがきによる事前申込のみで抽せんによる定員数だけであるから，定刻にはほぼ満員状態となった。

司会者には藤田副委員長が当り，日本建築家協会坂倉会長の「開会のことば」にはじまり，菊竹，高山，棚橋の各講師がそれぞれの専門について，抱負，所信を広く社会に訴える有益な講演であったので聴者に多大の感銘を与えた。

講演につづいて，清水建設 KK 製作提供の「国立屋内総合競技場建設技術記録」と大成建設 KK 製作提供の「栄光のメインスタジアム」を映写し，オリンピック東京

大会のための競技施設の建設に際しての建築人の苦心を詳細に画面を通じて，理解せしめるのに役立ったと思う。

最後に全日本建築士会竹内会長が「閉会のことば」で前後4日に亘る全行事を終了したことを述べられ，無事閉会した。

国際スポーツ施設展

U.I.A.（国際建築家連盟）のスポーツ施設委員会の決定にもとづいて，オリンピック開催地で催すことになったこの展覧会は東京大会を第1回として，今後も開催されることになる。したがって，日本ユネスコ国内委員会を通じて，政府が経費の一部を補助する約束をしているものではあるが，U.I.A. 日本支部である日本建築家協会が加盟国に呼びかけて，結局オリンピック既開催国，次回のメキシコなど22ヵ国からとわが国も加わり，290点の出品をえたので，朝日新聞社後援のもとに10月25日～11月4日まで国立屋内総合競技場本館水泳場スタンド上部回廊を会場にあてて展覧したのである。

開会式は25日（日）午前10時から，展覧会入口で行なわれたが，安田委員が司会を務め，村田展覧会委員長の「開会のことば」にはじまり，日本建築家協会坂倉会長の挨拶，文部大臣祝辞（清水管理局長代読），オリンピック東京大会組織委員会与謝野事務総長の祝辞，U.I.A. 会長，事務局長，スポーツ施設委員長の祝電披露がつづき，三笠宮殿下のおん手によって紅白のテープは切られて式を閉じ，来賓が場内一覧ののち長蛇の列で開場を待つ人々を入場させた。会期中に飛び石連休もあって，来観者は連日予期以上の盛況ぶりで，招待を含めて約7万1千名にのぼった。

外国建築家の参加

この日本建築祭は，当初から国内集会として催す計画ではあったが，オリンピックを機会に来日の外国建築家に参加勧誘状を世界83団体におくった。いろいろの経緯もあって結局来日参加されたものはつぎの6ヵ国48名となった。

中華民国11名，アメリカ22名，カナダ4名，イギリス8名，インド1名，オーストラリヤ2名。

もちろん，大会，懇親会には全員参加して国際建築社会間の相互理解を深めた。11月3日は正午から午後2時まで高輪プリンスホテルで歓迎パーティを開催，主客とも53名が出席して和かな交歓を行なった。

PR事業とその効果

日本建築祭の目的の一つには，建築活動に対する社会の認識を高めることにあったので，計画全体にその点について注意を払った。直接PR事業については，ジャーナリズムが若手であったことは，彼らが乗ってくるような素材を欠いたことにあることを自認し得なかった。

a. ポスター

8月上旬　会員対象に参加勧誘のスポンサーつきのポスター（図案：光藤俊夫君）を主催団体，地域団体を通じて全国的に配布した。

10月中旬　対社会的効果をねらって，亀倉雄策氏に図案を依頼したポスター1,800枚を建築関係職場を含んで広く建築界外の耳目にふれる各方面へ配布した。

b. 新聞・雑誌

専門紙はときどき報道したが，一般紙はその性格上至難が予想されたので2行事に対して朝日新聞社の後援を依頼する消極策をとった。

しかし，会期切迫につれて，広告業社と新聞社とがタイアップで，日経には11月2日および4日付に一面広告として日本建築祭の意義を高揚した一文を掲載した。

c. テレビ

11月2日午後9時のNHKニュースには大会の模様を相当詳細に紹介報道している。

○　感謝とお詫び

第1回日本建築祭が予定どおり一応の成功を収めて盛大に行なえたことは，文部省，厚生省，通商産業省，労働省，建設省，科学技術庁，東京都，首都高速道路公団日本ユネスコ国内委員会，オリンピック東京大会組織委員会，東京商工会議所，朝日新聞社の後援と関係団体の協賛ならびに業者，顧問，参与にお願いし陰に陽にご支援下さったことによるところと深く感謝している。

その他に，行事の遂行を扶けられた東京都オリンピック準備局，国立競技場，清水建設，大成建設，大林組，熊谷組，早大理工学部，講演者，司会者がまた総合カタログ刊行に協賛掲載された建材設備関係各社，その他に事業を援助されたものに，日本建設材料協会，日本建材協会，日本科学防火協会，寿商店，新建築社，技報堂，日大芸術学科などがあり，アトラクションの提供またはご協力下された各位などのご支援によったことは申すまでもないことである。

主催団体自体としては，地域組織をはじめそれらの所属会員各位のご協力を深謝申上げたい。

また，会員の方々に対しては，参加申込期限を過ぎ，オリンピック切迫に伴い参加申込みが激増したため，準備品の制限や，消防署の指示，見学先の都合などで相当多数の方々のお申込みに添い切れずお断りしたことについてまことに申しわけなく思っており，事情をご推察のうえご容赦願う次第である。

なお，終りに，長期に亘りこの事業に献身された実行委員各位と各会事務局員の非常な努力に対して，この欄をかりて心から深甚なる謝意を表するものである。

会　報（12月分）

理　事　会

10日　3時—5時　於会館会議室
出席者　東畑会長，塚本鷲尾両副会長外5理事，山内兵庫支部長，稲垣監事

議　事（1）企画委員会より報告の件
（2）建築団体合同新年交礼会開催の件
（3）新年午餐会開催の件
（4）「講演と映画の会」後援の件
（5）事務局職員下期賞与支給の件
（6）入退会者承認の件
（7）報告事項

企画委員会

10日　2時—3時　於会館会議室
出席者　塚本委員長外8委員
議　事（1）経過報告
（2）理事会え提出の報告書案検討の件

住宅委員会

委　員　会
2日　5時半—7時　於会館集会室
出席者　海上福永正副委員長外18委員
議　事（1）「老朽アパートの雑排水管内部に付着するスケールの排除」に関する報告聴取
（2）各小委員会の状況報告
（3）その也

小委員会（住宅相談所）
2日　5時—5時半　於会館会議室
出席者　黒谷主査外2委員
住宅相談所の開設方針について協議

小委員会（見学会）
2日　5時—5時半　於会館集会室
出席者　小林（清）主査外4委員
H形鋼使用7階建アパートの見学について協議

見　学　会
12日　1時—5時
出席者　海上委員長外5委員
その他参加者6名

八幡製鉄K.K提供のマイクロバスで堺市金岡の現地に赴き，八幡製鉄村上氏，日本プレス・コンクリート工業伴野氏の説明によって，H形鋼使用の7階建アパートの建設状況を見学，

編集委員会

委　員　会
11日　4時—5時半　於会館会議室
出席者　生方委員外2委員
議　事（1）経過報告
（イ）正月「尾崎久助特集」号
（ロ）2月「委員会特集」号
（ハ）3月「工事別建築材料集成（下）」号
（2）4月「内部空間特集」号企画審議
（3）技術の頁の企画について
（4）職人シリーズの企画について
（5）5月号の企画と幹事について
（6）作品作風欄について
（7）今後のシリーズ物について
（8）投稿原稿の取扱いについて

ブロックの防水塗料！
ビニール・セメント・ペイント
ブロックタイト
刷毛又はスプレ塗り　常備淡彩12色
安　価・速　乾・美　麗
水谷ペイント

小委員会（表紙デザイン）

14日　11時半―2時　於会館会議室

出席者　西尾委員外2委員

正月号以降の表紙デザインについて協議

事業委員会

小委員会（委員会特集）

8日　正午―2時　於会館会議室

出席者　星野，山本，松村各委員

原稿の督促，作業工程等について打合せ

小委員会（忘年懇親会）

11日　5時半―8時半　於太閤園

出席者　平田主査外11委員

忘年懇親会の実施計画により予行作業

小委員会（忘年懇親会分科）

14日　正午―3時　於会館集会室

出席者　尾亀主査外3委員

受付，景品係の作業について協議打合せ

教育委員会

左官工事講習会打合会

10日　正午―3時　於会館会議室

出席者　谷口，山田両講師

岡山，広島における左官工事講習会開催並に左官工法指針改訂に関して打合せ

出版委員会

給排水衛生工事編集幹事会

14日　5時半―8時　於会館会議室

出席者　田中委員長，谷川富吉両幹事

原稿の調整と出版工程について協議

＝特許＝

氣光式通風器　製造販売

兩用式レヂスター

大阪市西区江戸堀下通2-79

田辺工業株式会社

電話土佐堀(441)7437 -9

会員忘年懇親会

18日　6時―8時　於太閤園

恒例により会員有志より多大の賛助後援を受けて盛大に開催。本年は寄贈景品が非常に多数に上って約半数の人に抽籤の景品が当った。余興も盛り沢山で，和歌山，京都，兵庫の各支部からも例年のように多数の出席者があり盛会を極めた。当日の出席者520名。

後援した会

「講演と映画の会」

1．主　催　　近代建築社

1．と　き　　12月9日午後6時より

1．ところ　　中央電気クラブ

編集後記

本会における委員会は，扉にも記したように，常設と特別の委員会があるが，今回は，常設の委員会（ただし災害委員会をのぞく）の活動報告なり抱負なりを紹介したものである。特別委員会としての近代建築調査委員会は，本号をもって終るので総目録を付して，解散のことばを集録したもの。長い間誌面をかざつていただいてありがたく感謝します。また，それぞれの委員長にもご協力をたまわり感謝します。

次号は，工事別建築材料集成（下）である。

法定不燃材を！

宇部波型スレート

宇部フレキシブルボード

宇部パーライトボード

宇部カラースレート

宇部スレート工業K.K.大阪営業所

大阪市旭区大宮町1の101　大阪（951）5594・9165・4271～3

本社　宇部　営業所　宇部・広島・名古屋・東京・福岡　出張所　熊本・小倉・岡山・姫路・滋賀・豊橋・富士・相模原・小山・高崎・新潟　工場　大阪・宇部

屋根浪板
谷樋には 大島化学のひふくてっぱんを
固定式通風器 連続式換気装置にも
耐酸スタンダードメタル
カラースタンダードメタル
PATENT Standard
大島応用化学工業株式会社
本社 大阪市城東区野江東之町4の104 (931)7071—3
支店 新居浜・東京・名古屋・四日市・広島・富山

田中式 スカイライト・ベンチレーター
スチールサッシュ・ドアー
スチールシャッター・オペレーター
TNK 田中工業株式会社大阪出張所
大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2～89
TEL 大阪(411)6341(代表) (411)6342
本社 東京第一工場 東京都墨田区錦糸町1～25
東京第二工場 東京都墨田区吾嬬町東4～122
小倉工場 福岡県小倉市赤坂上の宿37
川崎工場 神奈川県川崎市東渡田3～43
札幌出張所 北海道札幌市北大通東4丁目4
盛岡代理店 岩手県盛岡市木伏49・東北建設(株)
名古屋代理店 愛知県名古屋市西区桜木町308
米子代理店 鳥取県米子市祇園町2～93・吉田工務店
TEL 東京(623)代表0106～0108・(622)0790
TEL 東京(611)2118～9
TEL 小倉(52) 2833・2834
TEL 川崎 ② 7594～5
TEL 札幌 ③ 6762・0515
TEL 盛岡 ② 7642
TEL 名古屋 (57) 7641
TEL 米子 ② 4683

信用ある技術と伝統の
アスファルト工事
専業大店
株式会社久保商店
大阪市北区真砂町五番地
電話 大阪(三四一)二〇七～八・四八三六～七

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

高砂熱学

本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地
大阪支店　大阪市北区梅田8番地（新阪急ビル8階）
電話　大阪（312）4521（代表）

空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工

東洋キヤリア工業株式会社
大阪支店

大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
電話　大阪(341) 8356
本社　東京都中央区日本橋本石町4－2(三井第二別館)
支店　東京・名古屋　出張所　九州
工場　埼玉県北足立郡・東京都足立区

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 **大阪城口研究所**

代表取締役　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話大阪(371)局7575(代表)
京都市東山区大和大路正面上ル電話京都(56)局4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸(4)局　5892

電気・暖冷房
水道・衛生　設計施工

大阪電気暖房株式会社
（旧社名　株式会社　大阪電気商会　大阪暖房商会）

取締役社長　菅谷三郎

本店　大阪市西区江戸堀1－60　電話(441)8231 大代
支店　東京・名古屋・福岡
出張所　京都・神戸・岡山・高松・広島・熊本
札幌・仙台・新潟・富山・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並旋工
（旧斎藤久孝事務所）

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町11番地
電話　大阪（443）5041～5番
本店　東京都中央区新富町3丁目5番地（菊栄ビル）
電話（551）7450～9番

札幌営業所	札幌市南十条西十三丁目九六四	電話札幌㉓2959
金沢営業所	金沢市高岡町三五	電話金沢㉑2074
福井出張所	福井市城之橋下町一〇	電話福井②2436
高松出張所	高松南二番丁九	電話高松②5195
岡山出張所	岡山市大供松ノ木三八〇ノ一	電話岡山㉔5486

創業　大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 **斎藤省三商店**

東京店　東京駅前丸ビル6階676区
電話　東京(201) 3761・3762・3763・3764
大阪店　大阪市西区土佐堀通　大同ビル714号
電話　大阪(443) 3361～5
札幌店　札幌市北四条西16丁目1番地　高田屋ビル二階
電話　札幌②0010・0956・③4661
名古屋店　名古屋市中区南大津通一丁目　千代田ビル522号
電話　中局㉔1766　㉕3042

冷暖房
給排水、衛生水道
電気

金属製建具
環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業株式会社 大阪支店

取締役社長　山田熊男
取締役支店長　樋口勝栄

大阪市東区北浜2丁目22番地　電話大阪(202) 代表3071
本店　東京都千代田区有楽町1丁目10番地
支店　出張所　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山、金沢、静岡、高松、
工場　鶴見、相模、六郷、高槻、中山、古賀

須賀工業株式会社

空気調和　衛生設備

大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話 441—5171
支店—東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 **西原衛生工業所大阪店**

大阪市大淀区中津南通4丁目11　電話大阪㊽3531番

空気調和装置・塗装設備
設計施工

株式会社 **建材社**
大阪支店

大阪市北区中ノ島二丁目　（新朝日ビル5階）
電話　大阪㉓3721(代)
本社及東京支店　東京都中央区銀座西6丁目3
（朝日ビル8階）
営業所　名古屋市中区菅原町2丁目
（センタービル）
連絡所　広島・北陸

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀1丁目62　電話（443）代表 8161～9
出張所　東京都北区上十条1丁目10　電話（911）3941
名古屋市中村区牧野町1の6　電話（54）0966
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話（4）1778・4386
広島市中町2番地の4　電話（2）7575・7588

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃商会

本社　大阪市北区富田町16　代表(341)7031
支店　東京都千代田区小川町2丁目1桧ビル　代表(201)7751－3
福岡市大名1丁目8ノ12　(74)1158
出張所　名古屋市中区新栄町2丁目1　(95)6331
福井市西宝永町2丁目113　(2)1596
松江市東本町4丁目147　(2)5098
広島市紙屋町8　(21)4537

暖冷房・水道衛生工事
設計施工

株式会社 栄興商会

取締役社長　中山敏正

本店　大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話大阪㊾3391～5番
支店　東京都新宿区荒木町一九番地
電話（351）2177～8番
神戸出張所　神戸市生田区下山手通八丁目三番　電話元町④3035番
仙台出張所　仙台市東四番丁四五　電話②5136番

暖房・冷房・水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工

株式会社 朝日工業社

大阪市東淀川区加島町357　電話06(392)2271～9(代)

東京支社　東京都港区芝浜松町2－7　電(434)6171(大代表)
支店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30　電話大阪㊾　(代表)0977 / 0978～9・0970
本社　東京都千代田区丸ノ内3—2(新東京ビル)
電話（211）8511・8561（代）
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話 73 32
名古屋出張所　名古屋市東区東門前町3－6
電話 ⑨ 28 93

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役　市川繁雄

本社　京都市中京区両替町通り姉小路上ル
電話㉒（代表）7975・（夜間専用）5532
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋1-37(天満橋北詰)
電話㊾8829
四日市営業所　四日市市浜田西末広町　電話7503・3665
津営業所　津市栄町2－111　電話3610

暖冷房・空気調和・環境衛生工事一切
設計施工

日本熱学工業株式会社

社長　牛田正郎

本社　大阪市北区万才町50
大阪事業本部　電話　大代表（312）8671
東京事業本部　東京都新宿区三栄町18
電話(341)7171～5.1622.1624.5315
名古屋事業本部　名古屋市中区城代町7
電話（23）4690・3520
各事業部　京滋、下関、新潟、金沢

給水　衛生　空気調和設備
設計施工

平山工業株式会社

取締役社長　平山京平

大阪市西区江戸堀2丁目2番地
電話　大阪(441)代1994　(443)代0331

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区天満橋筋4－71
電話㊾2808・2809・2800・2134
本社　東京都文京区元町2丁目17番地
電話（811）（代表）6294
支店出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

温湿度調整装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪営業所　大阪市東区高麗橋5－45（興銀ビル別館）
電　大阪　代（202）7745番
本社・工場　東京都北区神谷3の10の3
電　東京　代(901)3191番
本社・分室　東京都港区芝佐久間町1の46（大同ビル）
電　東京　代(501)3156番
営業所　名古屋・仙台　連絡所　福岡

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

取締役社長　西村庄市

大阪市北区野崎町六九
電話・大阪(313)代表3456
東京支店　東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所　名古屋・神戸・岡山・広島・北九州

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

本社　大阪市北区老松町1丁目22
電話　大阪(362)8701
東京支社　東京都港区赤坂溜池町1
電話　(481)8621～4・3573
営業所　名古屋・札幌・旭川・福岡

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区永楽町8番地　(日産生命館)
電話　大阪㈹代表　1234～9
支社　東京・名古屋
出張所　舞鶴・広島・八幡・福岡・富山

電気工事設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長　今村騰

本社　大阪市北区梅ケ枝町五六番地
電話　大阪代表㈹　8131～7
支店　東京・名古屋・四日市・神戸・御
営業所　坊・新宮・松山・草津

空調衛生設備用各種自動制御盤
監視盤・グラフィック盤・指示計器盤
端子盤・高低圧受配電盤・分電盤
各種フロートスイッチ・其の他
各種自動装置用電気機器設計製作

森井電業株式会社

取締役社長　森井定勝
専務取締役　佐野春吉

本社　東京都港区芝三田綱町一番地
電話東京(451)代表9611
支店　大阪市北区常安町十六番地
電話大阪(443)代表8381・夜間(441)0502
出張所　名古屋・広島・福岡
工場　東京・大阪・福岡・名古屋

各種電気工事設計施工

株式会社　**ヤマト電気商会**

取締役社長　山本龍太郎

本社　大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(341)代3056
東京営業所　東京都港区芝田村町5－29　相馬ビル5階
電話東京(434)3848・(431)8435
出張所　大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　**嘉納伝三**

本社　大阪市北区絹笠町五〇　(堂ビル三階)
電話　(312)1471(代)
支店　東京都中央区明石町15(辻孝ビル)
電話　(542)5641
営業所　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話　(99)5131～3
出張所　小松市・堺市・高槻市・姫路市

電気工事・設計・施工

朝陽電気株式会社

取締役社長　山本博三

本社　大阪市北区中之島三丁目三　朝日ビル6階
電話　大阪局㈹9531(大代表)
7057(直通代)
営業所　大阪市西区土佐堀通り四丁目八番地
電話　大阪局㈹5201番(代表)－3
出張所　京都市中京区西ノ京中合町二十番地十一
電話　京都局㈹9296(代表)～7

電気工事設計施工

江東電気株式会社

取締役社長　猪飼幸次郎

本社　大阪市生野区勝山通9丁目72
電話　(716)4035(代)～8
支社　東京都新宿区淀橋533
電話　東京(371)6203
出張所　金沢・名古屋・高知・広島

電気工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話　大阪(931)代表7341～5
機器工場　大阪市城東区野江東之町三丁目一一　電話大阪㈹7004
資材倉庫　大阪市城東区野江西之町三丁目一一三　電話大阪㈹2193

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）
八千代電設工業株式会社
取締役社長　梶本秀尾
大阪市東区森之宮東之町
電話大阪 ㊶ 6531（代）～8
支店　名古屋
営業所　東京
出張所　岡山・北九州

電気工事設計施工
株式会社 **三興社**
代表取締役　林　敏夫
本社　大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話 ㊸ 3671（代）
支店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話 ㊶ 1478（代）
出張所　川崎・相模原・堺・福山

電気設備工事設計施工
東光電気工事株式会社
大阪支社
支社長　姉川正男
大阪市東区高麗橋五丁目二八番地
電話 大阪（202）0325～9番
本社　東京都千代田区西神田1丁目8番地
支社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山

エレベータ・コンベヤー・リフト
エスカレータ・ホイスト・クレーン
N・T・E型オートパーキングステーション
設計 ㊥ 製作
日本エレベータ工業株式會社
本社　大阪市大淀区天神橋筋6（天六阪急ビル）
電話（351）4927代表7071交換
東京営業所　東京都台東区上野3丁目10番10号
電話（832）5241代表
名古屋営業所　名古屋市中区宮出町58
電話（24）8416

電気工事設計施工
富士電業株式会社
取締役社長　田中　実
本社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪（541）0564～7・7148～9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

青写真とマイクロフイルム
株式会社 **内外写真**
製図・トレース・複写写真
大阪市北区堂島北町16　TEL ㊸ 9055（代表）

PAINTING CONTRACTOR
塗装工事請負
株式会社 **林塗装店**
TEL. 大阪 ㉕ 1756－7・東京 ㉙ 1335

社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
耐風雨緩勾配用瓦……大和瓦
美術建築内外装用タイル……大仏タイル
株式会社 **大佛**
本社　京都市東山区今熊野大仏池田町9の9　(56)3555 3725
大阪営業所　大阪市北区空心町1丁目28　(351)0703
名古屋営業所　名古屋市瑞穂区堀田通1丁目30　(88)2703
東京営業所　東京都渋谷区上原1丁目29の4　(467)1641

塵芥炉 Incinet
インシナー工業株式会社
大阪営業所　大阪市北区牛丸町55　東洋ビル
電話（312）7481・4571
本社　東京都品川区北品川2～134
電話（491）5649・3860
名古屋営業所　名古屋市昭和区恵方町2～8　電話（84）5874
福岡営業所　福岡市春吉3丁目　春野ビル　電話（76）1880

鉄骨・加工
設計・施工
新鋼建設工業株式会社
取締役社長　吉田信武
本社　大阪市西区立売堀北通1－76
電話（531）0609・6575・7418
（541）8166・8349
夜間専用（531）2053
工場　大阪府大東市三箇425

営業品目
●樹脂防水ゴーレヂン
●樹脂防水ゴーレックス
●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
●樹脂砂壁エバーサンド吹付

合同特許建材工業株式会社

本社・営業所・大阪市東住吉区駒川町3－54　電(791)代7814～6
代理店・広島市比治山本町1180　電広島(51)4967
・東京都品川区東大崎3の239　電東京(491)9698

木毛セメント板

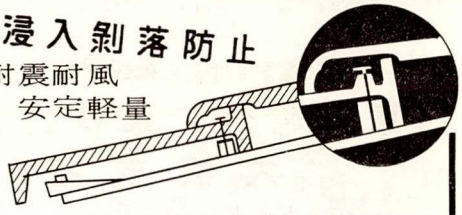


東邦商会
本社　大阪市東住吉区桑津町3丁目59
電話大阪(718) 1292～6
出張所　和歌山市新堀6丁目13
電話和歌山(2)0298・9435



陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール
株式会社
三幸商會
大阪市北区与力町一ノ一〇
電話　大阪㊿4032

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量

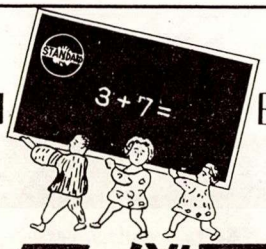


ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町一丁目壱番電話(641)五六五五
ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾配最適軽量水止付(空葺)瓦

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店

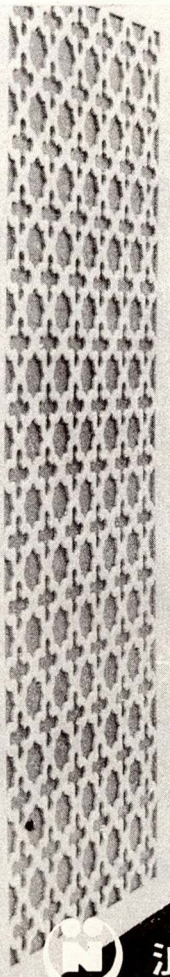


株式会社
吉田芳雄商店
大阪市北区南森町交叉点
電話大阪(341)2403・3904



Standard Board&Slate
フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地 電話大阪(717)4561~2

奉仕感謝の店
タイル 衛生陶器
㊿川 株式会社 川岸窯業商店
大阪市西区靱本町2丁目98　靱本町電停前
電話大阪・㊿8467～9番



素晴らしい花格子!!
三次立体加工の決定盤
クトクラッマー
クトク
の新建材

プリント合板
ビニオン
ビニライト
リズムウッド
美装パネル
九猿天井板
強力合成接着剤
ブルータイン

浪速合板株式会社
大阪市浪速区幸町通3の20　TEL (561) 2201(代)
東京出張所　東京都荒川区日暮里町8の618　TEL (807) 0250

広告目次 (50音順) 建築と社会 昭和40年 Vol. 46 No. 2

ア kk朝日工業社 …… 3
浅海電気kk …… 4
インシナー工業kk ……中挟・ 5
泉石綿工業kk ……11
岩住サッシkk ……16
岩元工業kk ……12
kkＡＢＣ商会 ……中挟
kk栄興商会 …… 3
永和工業kk ……前付
オリエンタルメタル製造kk……前付
小俣シャッター工業kk ……本文
大阪機工kk …… 8
kk大阪城口研究所 …… 2
大阪耐酸工業所 ……12
大阪電気暖房kk …… 2
大島応用化学工業kk …… 1
鳳工業kk ……前付
kk奥村重兵衛商店 ……本文
奥山化工業kk ……15
カ 柏原瀝青kk ……前付
kk川岸窯業 …… 6
川口ゴム工業kk ……前付
関西煖房工業kk ……13
関西ペイントkk ……前付
関西三星タイル会 ……前付
近畿工業kk ……前付
クマガイ工業kk ……前付
工藤電気kk …… 4
kk久保商店 …… 1
栗原工業kk …… 4
kk建材社 …… 2
kkゴール ……前付
江東電気kk …… 4
合同特許建材工業kk …… 6
kk神戸製鋼所 ……前付
サ 斎久工業kk …… 2
kk斎藤省三商店 …… 2
三栄建材工業kk ……前付
三機工業kk …… 2
kk三幸商会 …… 6
kk三晃商会 …… 3
kk三興社 …… 5
三宝電機kk …… 4
敷島金物kk ……前付
新鋼建設工業kk …… 5
kk新興建材工業所……14
須賀工業kk …… 2
kk鈴木シヤタア商会 ……12
住友金属工業kk ……表2
タ ダイケンサッシkk ……16
田島応用化工kk ……表 4
田中工業kk …… 1
kk田中風呂製作所 ……11
田辺工業kk ……本文
耐酸化学工業kk ……11
第一企業kk …… 3
第一工業kk …… 3
大日本硝子工業kk ……13
kk大　仏 …… 5
高砂熱学工業kk …… 2
kk武智工務所 ……本文
中央電気工業kk …… 4
朝陽電気kk …… 4
東京カーテンオール工業kk …13
東光電気工事kk …… 5
東芝商事kk ……本文
東邦商会 …… 6
東洋キヤリア工業kk …… 2
東洋シャッターkk ……10
東洋陶器kk ……前付
東洋リノリュームkk ……前付
ナ ナニワ瓦kk …… 6
内外建材kk ……12
内外工業kk ……13
kk内外写真 …… 5
中本電気kk …… 4
浪速合板kk …… 6
kkニッカナ ……前付
日本エレベータ工業kk …… 5
日本管工業kk …… 3
日本鋼管kk ……前付
日本サッシ協会関西支部 …前付
kk日本シヤッター製作所…表 3
kk日本セメント
防水剤製造所……表 3
日本電池kk ……前付
日本ドアーチエック製造kk……前付
日本熱学工業kk …… 3
日本ペイントkk ……本文
日瀝化学工業kk ……前付
西日本アスファルト
事業協同組合…… 9
kk西原衛生工業所 …… 2
ハ kk林塗装店 …… 5
kk日立製作所 ……表 4
kk美素工業所 ……本文
美素建物管理kk ……本文
kk平川鉄工所 ……前付
kk平田タイル ……11
平山工業kk …… 3
フタバ黒板 …… 6
富国交易kk ……前付
富士電業kk …… 5
マ kk三高製作所 ……10
三ツ星ベルトkk ……本文
水谷ペイントkk ……本文
室谷商事kk ……15
森井電業kk …… 4
ヤ kkヤマト電気商会 …… 4
八千代電設工業kk …… 5
山田工業kk …… 3
kk山本建材社 ……前付
山本窯業化工kk ……本文
kk油脂化工社 ……表 3
kk吉田芳雄商店 …… 6
吉野石膏kk …… 8
ラ 理研鋼機kk …… 3



大阪機工
OKKの
アルミサッシ

■サッシ・ドアー
■ルーバ
■カーテンウォール
■プレハブサッシ
■その他　特殊設計と製作

大阪機工株式會社
サッシ事業部

本　社　大阪市大淀区豊崎西通1の4
電話　大阪(371)0664－5
工　場　兵庫県伊丹市北村猪名川製造所
（福知山線北伊丹駅前）
電話　伊丹（大代表）5121

新しい時代の
燃えない建築資材

切らずにそのまま張り上げられる豊富なサイズのへり折り石膏ボード：
ニュータイガーボード

キレツがでない――あくがでない――施工が早い――塗りよい石膏プラスター：
YNプラスター

TIGER BRAND
吉野石膏株式会社大阪支店
大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
TEL（341）2556～9番
本　社　東京都千代田区神田司町2－13（和光ビル）
TEL（231）6681（代表）
支店　福岡　営業所　札幌・仙台・名古屋・広島
関係会社　菱化吉野石膏・チッソ吉野石膏
宇部吉野石膏・住鉱吉野石膏

（カタログ進呈）

強力 ギルソイドとアスタイト 防水

何よりも安心できる 年限仕様

西アス '63改訂

- 伸び率が極めて大きい。下地の亀裂や動きに順応する。
- 柔軟で折りたんでも丸めても損傷せず、裂けにくく、ねばりがあって、相当温度が下ってもこの性質がかわらない。
- 腐らない。
- 施工後変質や変形のおそれがなく長期間の防水効果を保証する。

地区	組合員名	住所	電話
近畿（順不同）	（株）久保商店	大阪市北区真砂町5	大阪(341)0207～8・4836～7
	（株）木下謹三商店	大阪市西区江戸堀5ノ5	大阪(443) 0115～8
	（株）井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1ノ7	大阪(441)8531～5
	（株）大和商会	大阪市南区高津町4番丁73	大阪(631)6221～4
	内外工業株式会社	大阪市阿倍野区旭町1ノ51	大阪(641)3434～6
	旭化建工業株式会社	大阪市北区茶屋町38	大阪(371)6555～7
	日本瀝青工業（株）大阪支店	大阪市北区富田町40	大阪(361)5496～8
	石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	神戸(55) 2140・2697
	（株）中出商会	神戸市兵庫区上沢通6ノ9	神戸(55) 4630・4650
	（株）タテバヤシ商店	京都市下京区四条大宮南入学校前	京都(81) 0871～2
	田島応用化工（株）大阪営業所	大阪市西区京町堀1ノ74	大阪(441)5951代表
東海	岡田建材株式会社	名古屋市西区桜木町3ノ8	名古屋(57) 7461～3
	（株）名建商会	名古屋市中区宮出町41ノ2	名古屋(26) 3671～3
	高橋建材店	名古屋市中区材木町1ノ12	名古屋(23) 3295
	日東物産株式会社	名古屋市中区東瓦町39	名古屋(26) 2501代表
北陸	北川瀝青工業株式会社	金沢市西側町8	金沢(41) 1131～5
	北川瀝青工業（株）富山出張所	富山市奥田新町23	富山(2) 2218 (3) 1014
	北川瀝青工業（株）福井出張所	福井市大和町404	福井(3) 1134
	（株）小島工務店	高岡市大坪旭町2丁目32ノ1	高岡(3) 2463
中国・西国	青盛建材株式会社	広島市鉄砲町108	広島(21) 2281～7
	青盛建材（株）岡山営業所	岡山市田町1丁目10番12号	岡山(23) 8285～7
	（有）小野甚商店	岡山市内山下30ノ10	岡山(22) 4272
	（株）浜原豊商店防府支店	尾道市吉和町新浜	尾道 2760
	（株）浜原豊商店防府支店	防府市大林寺	防府(2) 3611
	古市断熱工業株式会社	高松市宮脇町960	高松(3) 5034
	正和商事株式会社	松山市1番町21	松山(2) 8161～5
九州	青盛建材（株）福岡営業所	福岡市万行寺前町14	福岡(2) 5566～8
	高稲工業株式会社	長崎市大橋町138	長崎(4) 1726
	高稲工業（株）北九州営業所	北九州市小倉区熊本町同志通り	小倉(53) 6337
	石素産業株式会社	福岡市那の川1丁目4－1	福岡(53) 5761～2

建設省阪建22号認可

西日本アスファルト事業協同組合

大阪	大阪市西区京町堀一ノ七四	電話 (441)代表5951
東京	東京都千代田区神田岩本町一三（田島応用内）	電話 (866)代表6101
名古屋	名古屋市西区桜木町三ノ八	電話 (57) 6361
福岡	福岡市万行寺前町一四	電話 (2) 2807
広島	広島市鉄砲町一〇八	電話 (21) 2281
岡山	岡山市西古松二九九ノ五	電話 (24) 2692

東洋シヤッター

甲種、乙種防火シャッター製造施工

●品　種　　キングゴールド（特殊チタメート処理）・亜鉛メッキ樹脂塗料焼付仕上

■スプリングシヤッター　■重量スプリングシヤッター　■手動式電動式シヤッター　■特許自動シヤッター

建築業者登録番号（チ）第5807号　甲種・乙種防火戸

東洋シヤッター株式会社

本社・工場　大阪市西淀川区佃町4丁目33番地　電話（代表）471－8331

忠岡工場　大阪府泉北郡忠岡町字北出　電話　泉大津（2）4960

大阪営業所（928）4571・東京(771)－1171・名古屋(33)－6171・京都(35)－6591・神戸(22)－1489・福岡(3)－4103　其の他全国主要都

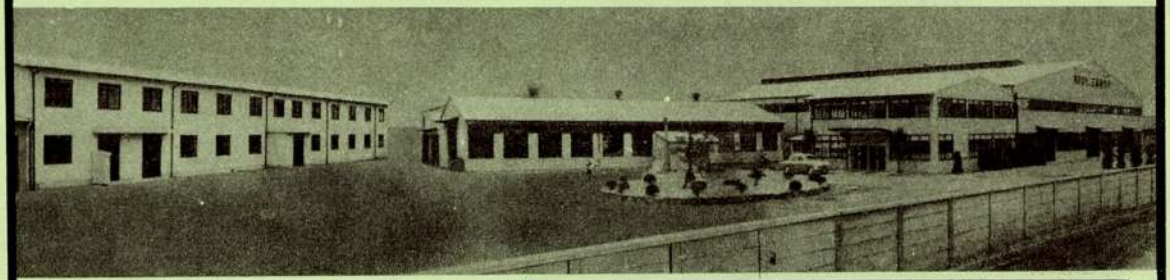
オートメーションでボンデー並びに完全焼付塗装に依る

錆びない● 三高式

スチールサッシ・ドアー・シヤッター

オペレーター・ドアーハンガー

ステン・アルミサッシ・ドアー



TRADE MARK M.T.K.S

株式会社 三高製作所

本社工場　尼ヶ崎市神崎五反田280 電話 大阪（401）6158・6159

9463・7939（491）3200

防水には

プルーフテックス
プルーフコートの併用を

何れも合成ゴム、合成樹脂系のエマルジョンで簡単に施工が出来完全防水の目的が果せます。
詳細説明書送呈

耐酸化学工業株式会社　大阪市北区高垣町80 電（361）0178



田中のガス風呂

ミリオンポリバス浴槽

各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂・温水鑵

大阪ガス会社指定

田中風呂鑵作所

大阪市浪速区元町1丁目742　(641)5313・8128

タイル

衛生陶器

エスロンタイル

サンウェーブ
流し台・調理台

株式会社 平田タイル

大阪市西区阿波座中通1
電話（531）1003～5（541）8731～3

泉

石綿セメントの
最高水準を行く!!

アスベストバリヤ

Asbesto. Barriev
（硬質石綿板）

建物内外壁、間仕切、天井扉、電気室
発電所、配電室、製鋼、ガラス工場
の壁、製糖、製油製薬工場の床スカ
ート壁などに最適

泉石綿工業株式会社

大阪市北区同心町1の11
電話㊿3442・4078

（呈カタログ）

鈴 木 式 防 火 シ ヤ タ ア

株式会社 **鈴 木 シ ヤ タ ア 商 会**

大阪市北区茶屋町33　電話 (371) 4151～6
北陸営業所　金沢市長田町119　電話 ㉑ 2287

特許 内外式 電動ベンチレーター

屋上強制換気装置のパイオニヤ
ご信頼におこたえできる
行届いた設計施工

内外建材株式会社

大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）TEL(441)3983・4396
工場　大阪市城東区天王田町1の141　TEL (962)1149

建築基準法にフリーパスのガラス屋根

内外式スカイライト
工場・プラットホーム・
体育館・アーケードに最適

内外式 連続採光換気装置
コンチニアスベンチレーター
筒型各種ベンチレーター
設 計　施 工

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

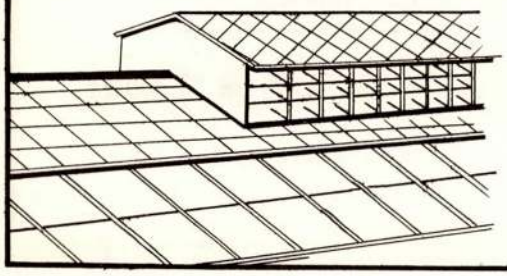
アスファルト専門工事

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各 種 床 工 事

大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地　電話大阪(371)1333番

岩元式 **スカイライト 並 固定筒型 コンチニアス ベンチレーター**



サッシュ、ドアー、シャッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工

カタログ進呈

岩元工業株式会社
本社　大阪市東成区東今里町4の40
電話(981)0616～0618



T
K K

アルミニウム
ステンレス　　カーテンウオール
ブロンズ

東京カーテンオール工業株式会社

（旧社名東京鋼板工業株式会社）

本社及工場　東京都荒川区尾久町５ノ１０００
電話（891）８１３１～８
大阪支店　大阪市北区富田町１８番地島根ビル
電話（361）９１５４～７
名古屋支店　名古屋市東区久屋町５の９（住商ビル）　2578～9
福岡出張所　福岡市橋口町15番地の1（サンビル3階）㉔８８２５

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N.G.C.インシュライト断熱材製造発売元

N.G.C.式

米国パブコ・コンパウンドアスファルト
米国バイヤライト・コンパウンドアスファルト
} 販売

内外工業株式会社

本社　大阪市阿倍野区旭町一ノ五一　電話(641)3434～6
工場　大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

網入光り波型ガラス（スレート小波／スレート大波）　長サ965㍉　1,818㍉

ダイニチ・アーモライト　波板・平板

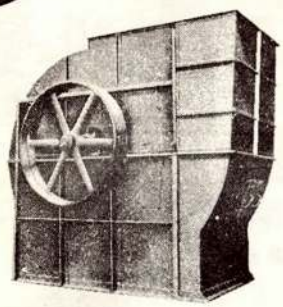
（硝子繊維強化ポリエステル板）各種波、寸法（長尺物有）

製造販売　**大日本硝子工業株式会社**

大阪支店　大阪市北区玉江町２ノ４（三菱倉庫ビル）　電話㊵1389・3389・3281
本　社　神奈川県相模原市小山字久保２２４　電㉗3101～4

KANDAN　煖冷房温湿度調整

設計　施工



各種送排風機

設計　製作

関西煖房工業株式会社

本　社　大阪市住吉区万代東６丁目３番地
電話大阪（672）1281（大代表）～９
堺工場　堺市浜寺石津町中２丁目200番地
電話堺　③７３０１（代表）～３
出張所　名古屋・福岡・徳島

DON'T DRILL IT
DRIVE-IT
JAPAN DRIVE-IT CO.

建設用鋲打銃ドライブイットが
軽量鉄骨業界に贈る新工法！

ドライブリベット工法

(PATENT. PEND)

御手持ちのドライブイット（三三〇型及四四〇型）にドライブリベット用アタッチメントを取付けるだけで電気も、ドリルも、コンプレッサーも使はずに薄鋼板金属板に、瞬間に、強固に経済的にリベット打ちが出来る特殊リベット法が完成致しました。

ドライブイット・ドライブピン
ドライブリベッター・ドライブリベット



製造元
日本ドライブイット株式会社
東京・大阪・名古屋
大阪市北区絹笠町11　TEL 341－6444
361－8709

・優美な繊維の京壁材 →
新日本壁
・塗りつける繊物壁材 →
錦上壁
・近代的な趣味の壁材 →
新いすゞかべ
・繊維の色土 ····· →

日本壁
← ・繊維の床砂材 ·····
パビロン壁
← ・パルプの日本座敷壁材
いすゞかべ
← ・吹付のできる京砂壁材
大和壁

SK
近代的上塗壁材
繊維塗料製品

製造発売元　株式会社 新興建材工業所 ■全国有名建材店にございます
本社　大阪市西局区内四ツ橋　電話大阪(541) 5756～9
営業所　明石市西王子町1丁目39　電話　明石　5852
営業所　福岡市上牟田八田町26番地の1　電話　福　岡(65)3245

内　装　資　材
専　門　店

建　材　の　室谷

室谷商事株式会社

本　社　神戸市生田区北長狭通４－１（英和ビル）
直通電話　神戸（33）0881～３
支　店　大阪市北区絹笠町50（堂ビル５階　502号室）
直通電話　大阪（312）2031～４
倉　庫　神戸市葺合区八幡通１－５（電話㉒2923）

陸屋根防水には
特許　絶縁工法を

OKUYAMA-KAKOSYO・WATER・PROOF・OAM

カッパー防水帯
コーパータイト

特許　奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

奥山化工業株式會社

●御申越次第カタログ進呈

東京都中央区銀座西８の３　電話（571）2703～4・2370・4064・0264
名古屋出張所　名古屋市南区若草町３３　電話（81）３６６０

Iwazumi

岩住のサッシ・ドア

アルミ
ステンレス
スチール

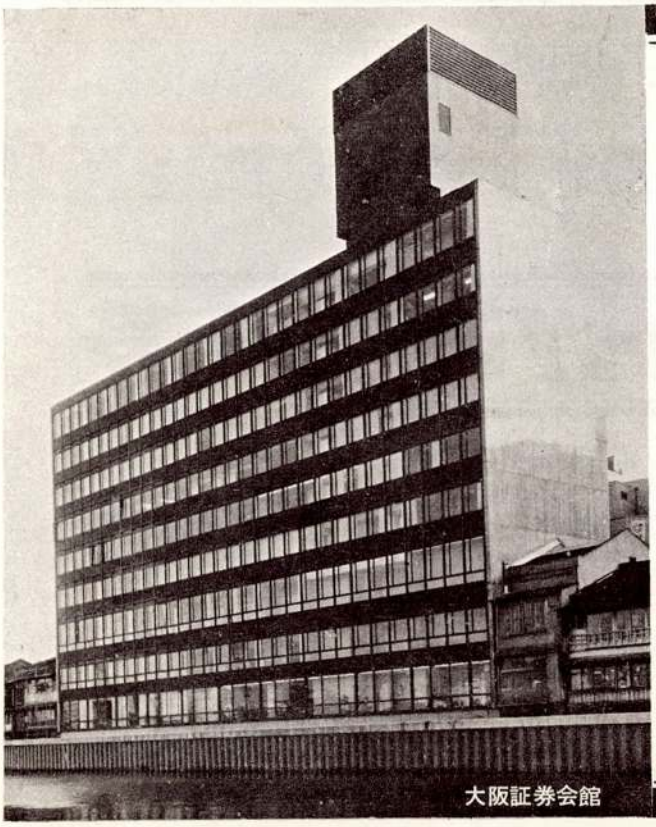
カーテンウォール
スパンドレル

スチール工場　尼崎市守部字下河原拾五　電話代表(401)6751

岩住サッシ株式会社

アルミ工場　大阪市西淀川区千舟東二丁目三一　電話代表(471)5123

岩住アルミサッシ株式会社


大阪証券会館

モダンな
都市美を
創る……

ダイケンの

カーテンウォール

▶米国ヴァリーメタル社と技術提携◀

◆営業品目◆

- アルミ
- ステンレス
- スチール

（サッシ／ドア）

- 防潮パネル
- アルミレディーメード サッシ／ドア

ダイケンサッシ株式会社

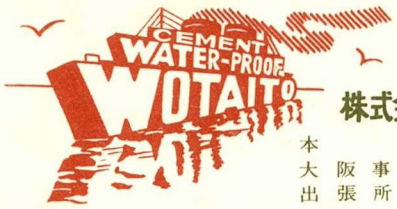
〈旧大阪建材工業株式会社〉

本社・工場	堺市松屋町1－6 TEL(38)1141
鳳工場	堺市平岡町48 TEL(7)1565～6
東京事務所	東京都千代田区平河町1－1 TEL(261)6641～
名古屋営業所	名古屋市東区東新町4(イースタンビル)9439 11
福岡営業所	福岡市博多区2丁目1の24 TEL(74)5406
金沢営業所	金沢市下新町13 TEL(31)3427～8
長野代理店	長野市吉田東町1251 TEL(3)2729

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

ウォータイトB号



仕様書型録贈呈

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝　塚（6）2153
大阪事務所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話（941）2626（直通）
出張所電話　東　京（431）8648・名古屋㉜1331
ウォータイト式防水工事代行店電話　大三工業 高松②8697 安藤工事　仙台㉓0721・札　幌⑤7171　福　岡③5765　豊永建材　広　島⑥6371

紫綬褒章に輝く

責任・施工・請負

JIS合格モルタルコンクリート用

特許 特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

株式会社 油脂化工社

取締役社長　矢中龍次郎

本　　社　東京都品川区二葉町1－441　電話東京(781) 1715
大阪営業所　大阪市東成区西今里町2－48　電話(971)4765・0063

防火シヤッター

甲種
乙種

パイプシヤッター

伸縮扉

電動式・手動式・バランス式

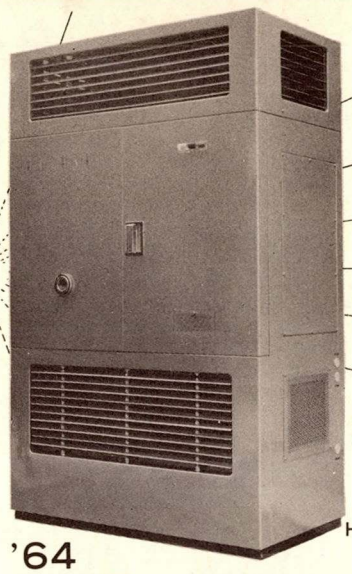
株式会社 日本シヤッター製作所

本社工場	大阪市東淀川区田川通6丁目38番地	電話(301)（代）3656～9
東京工場	川崎市新丸子東3丁目1159	電話中原 (0447)②6325～7
九州工場	福岡県粕屋郡粕屋町仲原釜屋2727	電話福岡 ㊺4779
千葉工場	千葉市汐見丘26	電話千葉 ②5544・4257
姫路工場	姫路市岡田249番地	電話 ㉒7173
名古屋工場	名古屋市中川区福川町1－1	電話 ㊱4351～2
岡山営業所	岡山市内山下77	電話 ③3524
高松営業所	高松市丸ノ内10番地（井筒ビル内）	電話 ②4008
高知営業所	高知市朝倉町96	電話 ②7349
徳島営業所	徳島市伊月町2丁目27	電話 ②1915
和歌山営業所	和歌山市万町4	電話 ②4932・8937
神戸営業所	神戸市生田区加納町3丁目2	電話 ㊴4646～7
北九州営業所	北九州市小倉区砂津町東本町558	電話 ㊷3673
北陸営業所	金沢市勝尾町28	電話 ③0619

錆びない

八幡製鉄製亜鉛引
ボンデ帯鋼使用

昭和二十四年三月十九日
第三種郵便物認可
昭和四十年二月二十日印刷
昭和四十年二月廿五日発行
（毎月廿五日発行）



■産業と暮らしに奉仕する■
技術の日立

HP－30

炎の力をフルに活用！

●熱効率は日本でトップ

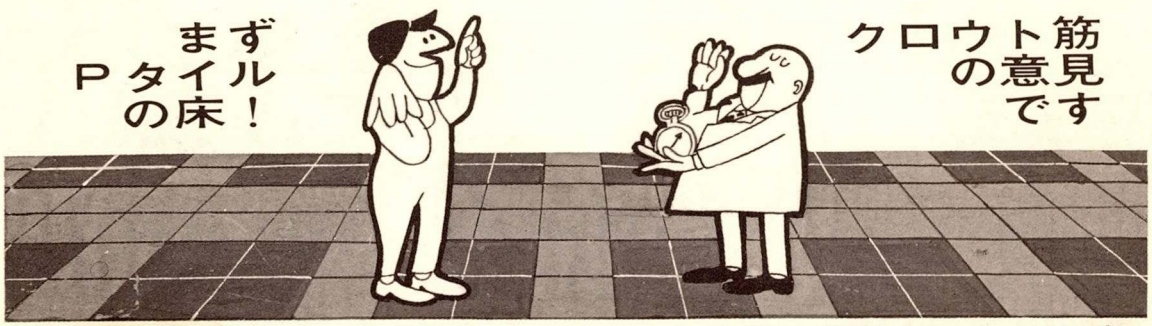
快適にしかも経済的に暖房を行なうのが日立温風暖房機の特色。湿気の自動調整，換気，空気浄化の機能と日立が独自に開発した熱交換方式で抜群の暖房効果を発揮します。

'64
日立温風暖房機

●室温に応じて自動的に着火・消火する全自動制御方式
●燃料には経済的な灯油・軽油（重油）を使用
●据付けが簡単，取扱い・保守も容易です

日立製作所　■お問い合わせは弊社汎用機械課へ
大阪市北区芝田町63（全日空ビル）
電話・大阪(341)8871(代表)

■304．8㎜×304．8㎜　厚さ2㎜■一面坪￥3500→4000■カタログ進呈



美しい！はがれない！傷がつきにくい――Pタイルに関しての一致した意見です　玄人筋からは『柔軟性で木やコンクリートの床にも馴み易く仮敷もいらぬスピーディな施工性』といわれます。Pタイルはどんな場所でも明るい環境をつくる床材〔製法特許品〕です！

三星プラスタイルP

田島応用化工KK★

東　京／東京都千代田区神田岩本町13　TEL（866）代6101
大　阪／大阪市西区京町堀1ノ74　TEL（441）代5951
名古屋／名古屋市西区桜木町3丁目8番地　TEL（57）6361
広　島／広島市鉄砲町108　TEL（21）2281
博　多／福岡市万行寺前町14　TEL（2）2807

売価　一部　金百八十円（送料共）

ご入会のお申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人日本建築協会 大阪市東区北浜3－37　電話大阪(231)9648・9649・9640
振替口座大阪39975番